

## 自然教育園の種子植物

萩原信介\*・倉俣武男\*\*\*・藤本沙由美\*\*\*・安部代始子\*\*\*・近田文弘\*\*

Flowering Plants of the Institute for Nature Study,  
National Science Museum, Tokyo

Shinsuke Hagiwara\*, Takeo Kuramata\*\*, Sayumi Fujimoto\*\*\*,  
Yoshiko Abe\*\*\* and Fumihirō Konta\*\*

### はじめに

国立科学博物館附属自然教育園は都心の港区白金台にある。面積は約20ha、標高は15.7–31.5 mの範囲にあり、全園が国の天然記念物(本田, 1957)に指定されている。江戸時代は松平讃岐守の下屋敷、明治時代には陸軍海軍廠所轄地の火薬庫、大正時代は白金御料地となっていた。現在はスダジイ、ミズキ、コナラ、クロマツ、ムクノキなどが優占する森林で覆われ、一部湿地や池があり大半が自然植生となっているが、また人為的に管理される樹木園、路傍植物園、水生植物園、武蔵野植物園などの教材園や休憩所、管理棟周辺は草地となっている。

自然教育園の高等植物について最初の報告は、御料地時代の1915年の東洋学芸雑誌に掲載された「東京市内植物学上の一景勝地」(筆者不明)と題して発表されたもので、オオハナワラビ、カリガネソウ、シュウメイギク、ミヤマカタバミ、ハンカイソウ、ツルカノコソウ、クマガイソウ、ヤマアイ等、都心では珍しくなった植物をあげている。その後のまとまった研究は濱島(1927)で、東京市内の数カ所で維管束植物を調査した植物リストを作っているが、自然教育園では462種の植物を報告している。中にはシャジクモ、イヌスギナ、ヒルムシロ、イヌノヒゲ、ホシクサ、ヒツジグサ、イヌハギ、フジカンゾウ、ツタウルシ、ヤマブドウ、ソバナなどその後記録されていない種を多数含んでいる。また牧野(1932)や山崎(1953)によって讃岐藩の平賀源内によって持ち込まれたと推定されるトラノオスズカケやハマクサギが指摘されている。開園前の1944年から1947年にかけて宮内庁生物御研究所の真田浩男氏が園内の調査をしたというがリストはなくまた標本の保管場所など詳細は不明である。また檜山庫三(1947–1965)は一連の武蔵野の植物に関する報告をし、自然教育園についても再三調査がされている。中でも武蔵野植物記(1953)には自然教育園に分布する種がすべて記されており、貴重な文献となっている。

1948年の開園にあたって本格的な調査が始まり、当時の植物研究部の奥山らが中心になって行っ

---

\* 国立科学博物館附属自然教育園, Institute for Nature Study, National Science Museum

\*\* 国立科学博物館植物研究部, Department of Botany, National Science Museum

\*\*\* 国立科学博物館教育ボランティア, Educational Volunteer, National Science Museum

た国立自然教育園植物目録(1954)ができ、693種を含むリストができた。その後奥田が作った自然教育園の植物(1965)には761種(変・品種含む)を含むリストが当時の全園を網羅したものと考えられる。しかし中にはすでに確認できなくなった種157種を含んでいる。自然教育園として開園した後数年にわたって各植物園に外部から導入植栽された種が多数あったと考えられるが、このリストには一部しか記載されていない。その後1981年、1984年に萩原によって修正され、植栽種を含み835種としたが、植栽種と旧生存種の区別が困難な植物が多数あった。また旧生存種の内238種が確認できなくなっていた。

今回は今まで曖昧だった栽培種の網羅、減少の一途をたどる自生種の確認、入れ替わりの多い帰化種、野生化種・逸出種の判定などに主眼をおいた。

### 調査方法

自然教育園内に生存するすべての種子植物について1998年秋から2000年春の間、主に倉俣、藤本、安部によって約1ヶ月間隔で園内を精査し、すべての生存種の標本を2部作製し、得られた標本は証拠標本として自然教育園標本庫と国立科学博物館維管束植物標本庫(TNS)に収蔵した。同時に行われたシダ植物以下の分類群については別の報告書を参照されたい。標本には採集地点を記載したメッシュ地図(図1)を添付した。さらに萩原によって調査期間前後に追加採集された標本も同様に作成された。採集地点名は図1に示すとおりである。備考欄には1954年、1965年、1984年のリストと自然教育園職員(含む旧職員)らによる過去の情報をつけ、個々の種の履歴がわかるように努めた。

### 結果及び考察

表1に亜種・変種・品種を含んだ種数の変遷を以下のカテゴリー別に示した。

1. 自生種：自然教育園内また周辺部の野生種で人為が加わらずに自然教育園に繁殖するようになった種。
2. 帰化種：江戸時代末期以後に日本に自然帰化した種。リストには新帰化種、旧帰化種、栽培・園芸からの帰化種の区別をしてある。
3. 野生化種：本来、自然教育園内また周辺に生育しない種・旧帰化種・野菜・果樹・園芸種だったものが人為的に園外から移入植栽、または、鳥類などによって種子散布され、その後開花結実して園内で自然繁殖するようになった種。
4. 逸出種：野生化種と同様の起源であり園内に生育しているが今後の繁殖定着がまだ疑わしい種
5. 栽培種：各調査年のリストで、前回リストと比較明らかに外部から導入植栽されたと認定される種で、いまだに野生化種・逸出種のように自然繁殖が認められない種。

以上の5項目に分けたが、各項目の判定は難しい。自然教育園内の各植物園には開園以来、園内に自生する種を移植し栽培管理を行ってきたが、園内で希少だった種に関しては開園初期の段階で同種の関東近隣の自生地からの導入、さらに業者から購入した疑いがある。栽培植物目録が作られたことがあったが(国立科学博物館附属自然教育園編、1967)、一時的なものであり、特に開園初期の時代の記録が残っていないために自生種と栽培種の区別は難しい。当時の植栽などの記録をたどると、おそらく木本・草本で200種以上の種が植栽されたのではないかと推察される。

以下主に1984年の調査と比較して検討してみる(表1, 図2, 図3, 図4)。

新たに記録された種は57種ありカテゴリー別に以下に示す。

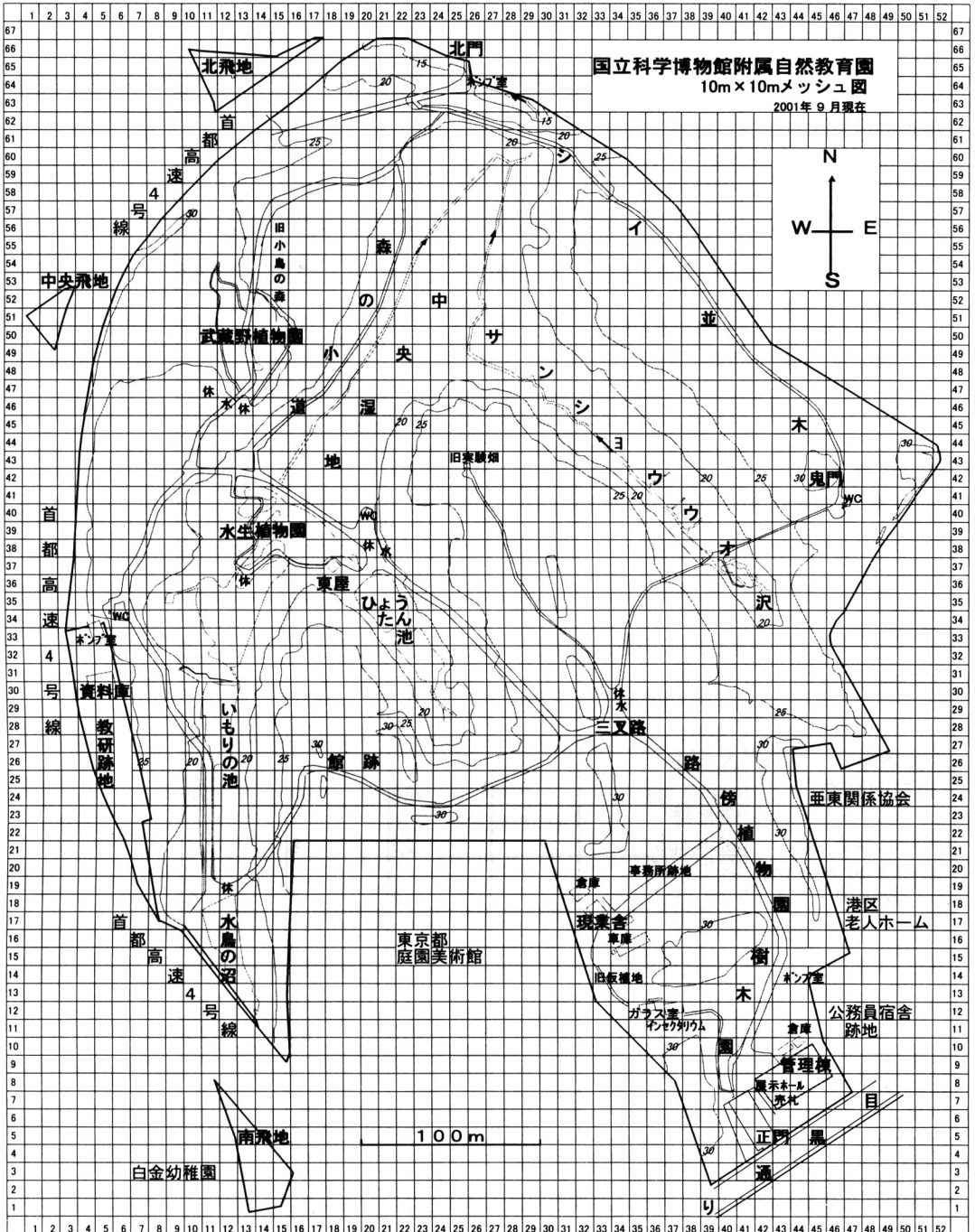


図1 自然教育園概略メッシュ図

表 1 国立科学博物館附属自然教育園の種子植物種数の変化

Table 1. Changes of the flora of spermatophyta in the garden of the Institute for Nature Study (included variety and form)

確認種 identified spp.	survey year	1954	1965	1984	2000
	自生種 native spp.	528	468	459	379
	帰化種 alien spp.	75	78	66	48
	野生化種 wild spp.	10	24	41	42
	逸出種 escaped spp.		20	16	22
	栽培種 cultivated spp.	86	49	266	148
	Total	693	619	835	632
新記録種 newly recorded spp.	自生種 native spp.		51	15	32
	帰化種 alien spp.		15	9	10
	野生化種 wild spp.		13	10	2
	逸出種 escaped spp.		9	4	7
	栽培種 cultivated spp.		12	175	11
	Total		98	204	57
未確認種 (対前回調査) unidentified spp. (compared with the last survey)	自生種 native spp.		84	60	92
	帰化種 alien spp.		25	8	27
	野生化種 wild spp.		2	1	3
	逸出種 escaped spp.		7	6	10
	栽培種 cultivated spp.		44	8	98
	Total		157	81	225
記載種計 total spp. of the list		693	761	1017	1079

\* 数字は種・亜種・変種・品種を含むが, 調査年により種以下の分類基準順は統一されていない

\* 未確認種には新記録種となったがその期間内に未確認となった種も含む

\* 帰化種の中には野生化種と逸出種が含まれる

\* 野生化種・逸出種・栽培種の判定は調査年によって異なる

\* 1954年の栽培種は逸出種を含む

\* 1965年の栽培種には開園直後の多数の植栽種を含まず

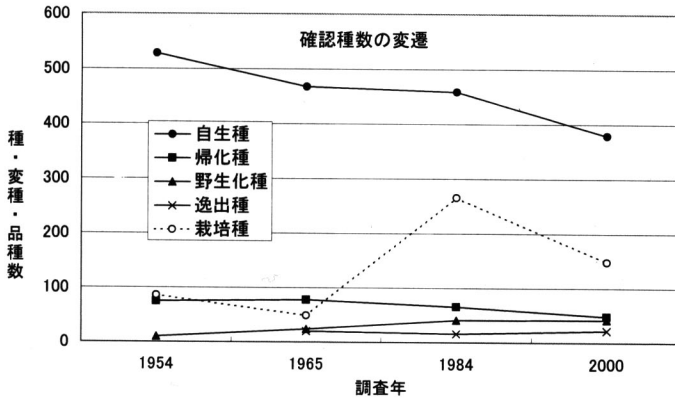


図2 確認種数の変遷

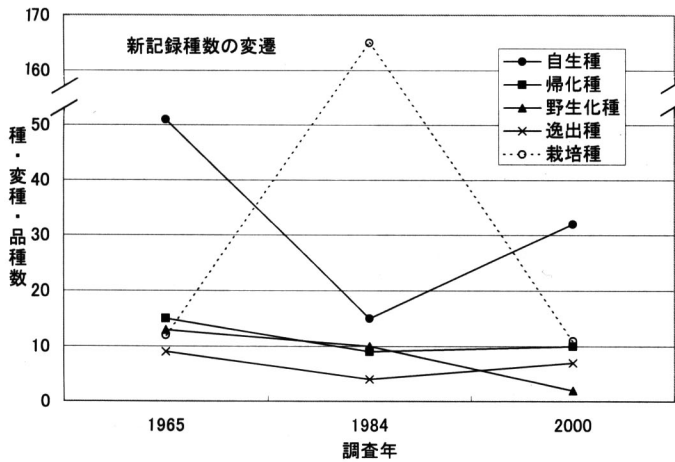


図3 新記録種の変遷

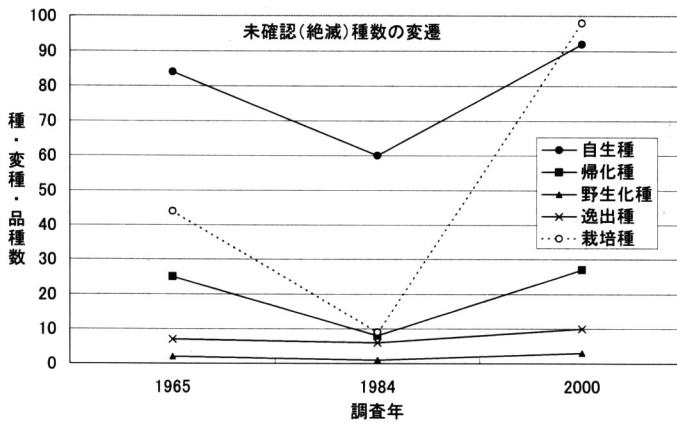


図4 未確認種の変遷

### 新記録自生種

この中には、ゴショミズヒキ、オオバタネツケバナ、ケナシアオギリ、アオジクユズリハ、ヤブハギ、オオバタンキリマメ、ヒメイヌビエ、ヒメアシボソ、イトアオスゲなど種や品種の分類カテゴリーの違いによるものがいくつか含まれ、これらは本来の新記録種とはいえない。

また一度未確認になってから再度新記録となった種としてはコケオトギリ、アカバナ、チョウジタデ、ハダカホオズキ、ウリクサ、ドジョウツナギ、ジュズスゲなどが含まれる。このうちドジョウツナギ、ジュズスゲは前回の調査時の見落としもあり得るが、他の種に関しては生育場所などの検討から一度消滅したが、土中に生きた種子が残っており、土壌の攪乱で再び地上に生育したと考えられる埋土種子起源ではないかと推定される。特に未確認の湿地の植物に関してはこのような種が他にも多数あるのではないかと推察でき、湿地を攪乱したときは出現種に注意を要する必要があると考えられる。

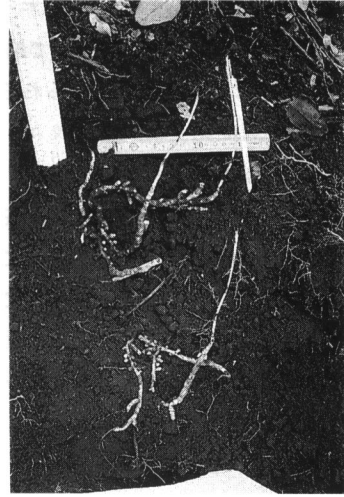
一方ナツフジ(萩原, 1995)、ベニバナゲンノショウコ、シュウブンソウ、ヒメガマ、ハナミョウガ、ウキヤガラ、サガミランなどが実際の新記録種と考えられる。このうちナツフジ、ハナミョウガ、ウキヤガラは鳥散布、シュウブンソウは車や人による付着散布、サガミラン、ヒメガマは風散布による新記録と考えられる。ナツフジ、ハナミョウガ、シュウブンソウ、サガミランはいずれも暖地性の種であり、近年の温暖化の影響により定着したものと考えられる。ゲンノショウコの関西型とされるベニバナゲンノショウコは生育場所が車道脇に限られ交通機関などの人為の影響も考えられる。

### サガミランについて

サガミランは本園新記録である。1998年に東京の井の頭公園でマヤランとサガミランが開花したニュースがあるが、東京ではいずれも新記録であると思われる。武蔵野植物園西側のイヌシデ林一帯に1993年に数株発見され、1996年には1000株近い開花を記録したが(図5)、その後減少が続き現在は毎年約数10株の開花が見られるに過ぎなくなっている。近縁であるマヤランが武蔵野植物園近くのコナラ林下で1979年に初めて記録され、数年後には50株程度の開花を見たが現在は数株程度に減少した経過と非常に類似している。サガミランはマヤランのアルビノではないかとの見解もあり、柳川他(1981)は*Cymbidium nipponicum* (Franch. et Savat.) Makino f. *nipponicum* の名を与えたが、今回は杉本の*C. nipponicum* (Franch. et Savat.) Makino f. *sagamiense* Sugimotoの見解を取った。マヤランがスタジイ、コナラ、クロマツの混合林の林床にあるのに対し、サガミランは95%以上がイヌシデの根圏内に出現し、明らかに両者に何らかの共生関係が推定される。しかし、井の頭公園や神奈川県内では両種は同所的であるという。またサガミランには若い果実にミバエの一種が多数寄生するが、マヤランには認められないなどの違いが本園では認められた。このミバエによって、結実率は大量開花した1995年-1996年には10%前後と低下したが、開花個体が減少するにつれて20%程度に落ち着いている。花被片は全開する個体は少なく、ほぼ全開するマヤランと異にする。初開花個体の根茎は花茎直下に塊根を球状に密集し(図5-③)、翌年からは塊根の一部が長く横に伸張し(図5-④)、地上に群生する花茎を立てる。根茎は独特の細毛で覆われ、その型態はマヤランのそれと細部まで酷似する。



① イヌンデ林下での群生1995Ⅶ26



③ 根元に成長した初開花個体の塊茎1995Ⅶ26



② 無葉の花茎上に半開する花1995Ⅶ26



④ 根茎を伸ばし群落を作る経年開花個体1995Ⅶ26

図5 自然教育園で新記録種となったサガミラン *Cymbidium nipponicum*  
(Franch. et Savat.) Makino f. *sagamiense* Sugimoto

#### 新記録帰化種

アメリカフウロ、ヒルザキツキミソウ、アイノコセイヨウタンポポ、キキョウソウ、ウラジロチコグサ、マルバフジバカマ、タチチコグサ、オオブタクサ、アメリカオニアザミ、ノハカタカラクサがあげれるが、園内に定着したマルバフジバカマ以外はいずれも分布が管理棟周辺に限られており、区内に普通に見られる帰化種でもある。このように新記録帰化種が少ないことは園内の全域が新規の帰化植物を受け入れるニッチがなくなりつつあると考えられる。

#### 新記録逸出種

逸出種で新しく記録されたものにはハゼラン、シナサルナシ、ユズ、センダン、クロガネモチ、

ハナトラノオ, タマサンゴ, キク, ニラ等が含まれる。シナサルナシ (キウイフルーツ), タマサンゴ (フユサンゴ), センダン は暖冬で越冬が可能になったことが原因と考えられ, 今後園内に定着する可能性も十分にあり得ると考えられる。

### 新記録野生化種

オシロイバナ, ナンテン, センリョウを新たに野生化種として認めた。ナンテンは1954年には栽培品として記録されたが以後未確認が続いていた。オシロイバナ, センリョウは今までのリストにもない新記録種であり, 最初は逸出種扱いであったが最近の5年間で急激に増加し, 自生状態になったために野生化種とした。新記録ではないが1984年には栽培種・逸出種としたものの中にも今回野生化種と認定されるようになったものにマンリョウがあり, やはり冬季の温暖化が原因と考えられる。

### 希少種から増加し今回普通種とした種

1984年には希であった種のうち今回個体数が増加し, 普通種としたものは約100種ほどである。自生種, 帰化種, 逸出種, 野生化種から主な種をあげると, チシマザサ, ミヤマカンスゲ, ハンゲショウ, ユズリハ, ミツガシワ, シモバシラ, ハグロソウ, モミジガサ, ノハナショウブ, ユキワリイチゲ, セキショウ, カキツバタ, ガクアジサイ, コクサギ, ハマクサギ, ママコノシリヌグイ, シロバナサクラタデ, ヤブニッケイ, ムベ, フタリシズカ, ヒトリシズカ, ツルマメ, タカトウダイ, オオモミジ, ツリフネソウ, テイカカズラ, コバノカモメヅル, カリガネソウ, クコ, ナガバハエドクソウ, ソクズ, キチジョウソウ, オギ, キツネガヤ, ウキクサ, ヒメカンスゲ, ムサシアブミとなる。このうち常緑性の種や暖地性の種が多く含まれ, これらは上記と同じ冬季の温暖化が原因と考えられるが, 植物園の管理方法により増加したと考えられるものにミツガシワ, シモバシラ, ハグロソウ, モミジガサ, ノハナショウブ, カキツバタ, ヒトリシズカ, ツルマメ, タカトウダイ, コバノカモメヅル, カリガネソウ, ナガバハエドクソウ, ソクズ, オギ等があげられる。

### 増加が著しい種

前回の調査で普通種とされた種の中で, 今回特に増加したと認められる種は以下の通りである。スタジイ, アカガシ, ムクノキ, エノキ, イヌビワ, ホソバイヌビワ, ツルドクダミ, サネカズラ, タムシバ, タブノキ, シロダモ, ナンテン, コオホネ, タマノカンアオイ, ヤブツバキ, サザンカ, ハナダイコン, ビワ, ダイコンソウ, クサイチゴ, ナワシロイチゴ, ユズリハ, マツカゼソウ, カラスザンショウ, ムクロジ, イロハモミジ, イヌツゲ, モチノキ, キカラスウリ, ミズタマソウ, カクレミノ, ヤツデ, キツタ, カキノキ, トウネズミモチ, ミツガシワ, アサザ, チョウジソウ, ハシカグサ, シロネ, ヒヨドリジョウゴ, ハグロソウ, チチコグサモドキ, コメナモミ, オニタビラコ, ウバユリ, カタクリ, コバギボウシ, ヤブラン, ノシラン, キンショウブ, ヤブミョウガ, ジュズダマ, カニツリグサ, マコモ, シュロ, オニスゲ, カサスゲ, ジュズスゲ, ナキリスゲ, ミヤマカンスゲ, ミョウガなどがあげられる。

この中で, 林の遷移の進行に伴う常緑樹林化の原因になっている種としては, スタジイ, アカガシ, サネカズラ, タブノキ, シロダモ, ヤブツバキ, サザンカ, ビワ, ナワシロイチゴ, ユズリハ, イヌツゲ, モチノキ, カクレミノ, ヤツデ, キツタ, トウネズミモチ, シュロ (萩原信介, 1983)



などの常緑性の木本種と、ヤブラン、ノシラン、ナキリスゲ、ミヤマカンスゲなどの常緑草本があげられる。この常緑化の現象は、希少種から普通種に認定された種と同じように冬季の急激な温暖化と林の遷移とが相乗効果として働いた結果と考えられる。

落葉性の種であるが、本来が暖地性種であるものの中には、ムクノキ、イヌビワ、ホソバイヌビワ、ツルドクダミ、ダイコンソウ、クサイチゴ、カラスザンショウ、ムクロジ、イロハモミジ、ハシカグサ、ヒヨドリジョウゴ、ハグロソウ、キシウブ、ヤブミョウガ、ジュズダマ、ミョウガなどが含まれる。この内イヌビワ、ホソバイヌビワ、ツルドクダミ、ダイコンソウ、クサイチゴ、ヒヨドリジョウゴ、ジュズダマなどは昔は冬季に完全に落葉していたものが半常緑で冬を過ごすことが普通になってきている。また同様に落葉はするが、春の開葉時期が早くなり、逆に秋の落葉が遅くなった種はミズキなどの他に多数あると考えられるが、著しく増加した種の中にはイロハモミジがこれに該当する。さらに、開葉の早期化は目立たないが、落葉時期の遅れが見られる種にはエノキ、カラスザンショウ、キカラスウリなどがあげられ、亜熱帯地域でこれらの種が半常緑化しているように、自然教育園でもこの傾向が進んでいると考えられる。

今回の調査で新しく未確認となった種は前回1984年の81種をはるかに上回り、225種に達した。以下にカテゴリー別に示す。

#### 未確認帰化種

帰化種の内、今回未確認になったのはイヌビユ、エゾノギンギシ、オオケタデ、コアカザ、ホソアオゲイトウ、アオゲイトウ、マメグンバイナズナ、アメリカネナシカズラ、ヨウシュチョウセンアサガオ、ビロードモウズイカ、ヤナギバヒメジョオン、アレチノギク、ヒレアザミ、オオオナモミ、ノボロギク、ブタナ、イヌキクイモ、ホウキギク、カモガヤ、イヌムギ、カラスムギ、コヌカグサ、オニウシノケグサなど27種である。このうち自然教育園周辺でも見られなくなったのは、エゾノギンギシ、コアカザ、アオゲイトウ、アメリカネナシカズラ、ヨウシュチョウセンアサガオ、ビロードモウズイカ、ヤナギバヒメジョオン、ヒレアザミ、オオオナモミ、ブタナ、カモガヤ、カラスムギ、コヌカグサなどで、共通種が多数ある。これは都心部の裸地・駐車場・地上げ地などが一時的に増加したのがこれらの帰化種の減少を停滞させていたが、最近マンションなど建築が進み開放裸地が急激に減少したことが大きな原因と思われる。一方イヌキクイモ、アレチノギク、ホウキギク、イヌムギ、オニウシノケグサなどは周辺街路や山手線敷地内にまだ多産するが、減少傾向は自然教育園独自の現象である。原因としては園内の開放裸地や耕作跡地の消滅・減少と草地の森林化が考えられる。

#### 未確認野生種

野生種はオカメザサ、サイカチの2種に止まりサイカチは枯死、オカメザサは林相の常緑化に伴い林床が暗くなったためと考えられる。

#### 未確認逸出種

未確認逸出種はオジギソウ、アオジソ、チリメンジソ、セイヨウジュウニヒトエ、ホオズキ、キ

クイモ、ヒメヒオウギズイセン、カナリークサヨシ、コウライシバなどである。このうちホオズキ、アオジソはかなりの個体数が見られた時期があった種であるが、開放裸地の減少が原因と考えられる。他の種は一時的に園内に繁茂した種でいずれも数年で見られなくなっている。

### 未確認栽培種

未確認栽培種は、未確認種中最も多く98種を数える。主なものとしてはウラジロモミ、ヒムロ、シラカンバ、ミヤマヤシャブシ、カシワ、ウワバミソウ、ヒメウワバミソウ、カワラナデシコ、シロバナサラサレンゲ、ダンコウバイ、シュウメイギク、ヤマトリカブト、シギンカラマツ、オキナグサ、ヤマシャクヤク、クサボタン、サラシナショウマ、レンゲショウマ、スハマソウ、オニバス、キソジノカンアオイ、ウmanosズクサ、ウスバサイシン、フタバアオイ、ガクウツギ、ノリウツギ、アカショウマ、モモ、マルバハギ、レンリソウ、カワラケツメイ、フジカンゾウ、タチフウロ、ヤマアイ、シラキ、ウチダシミヤマシキミ、ウルシ、ウリハダカエデ、トチノキ、ミヤマハハソ、オニシバリ、コガンピ、コスミレ、ヒカゲスミレ、シハイスミレ、エイザンスミレ、ナガバノスミレサイシン、ミズキンバイ、トチバニンジン、ミシマサイコ、スノキ、ハクサンシャクナゲ、クサレダマ、ツルリンドウ、フデリンドウ、ハルリンドウ、ハクチョウゲ、ホタルカズラ、オカタツナミソウ、ミカエリソウ、ミゾホオズキ、ムシクサ、オトコヨウゾメ、マツムシソウ、キキョウ、トウシャジン、サワギキョウ、ヤマホタルブクロ、ソバナ、センボンヤリ、オケラ、オヤマボクチ、カシワバハグマ、カセンソウ、オグルマ、リュウノウギク、タマブキ、オクモミジハグマ、シュロソウ、ミヤマエンレイソウ、エンレイソウ、ユキザサ、ヤマユキザサ、クルマバツクバネソウ、ツクバネソウ、ユウスゲ、シライトソウ、ミヤコザサ、タツノヒゲ、ヒメザゼンソウ、ミミガタテンナンショウ、カンガレイ、クマガイソウ、サギソウなどである。

これらの種の中には1980年代に導入後すぐに未確認となった種が多数含まれるが、古くからある栽培種で今回未確認となった種はシラカンバ、ミヤマヤシャブシ、カワラナデシコ、シロバナサラサレンゲ、ダンコウバイ、シュウメイギク、ヤマトリカブト、ヤマシャクヤク、レンゲショウマ、スハマソウ、キソジノカンアオイ、ウmanosズクサ、ウスバサイシン、フタバアオイ、マルバハギ、レンリソウ、カワラケツメイ、ヤマアイ、ウルシ、ウリハダカエデ、オニシバリ、フデリンドウ、ハルリンドウ、ホタルカズラ、オトコヨウゾメ、キキョウ、トウシャジン、ソバナ、オヤマボクチ、リュウノウギク、シュロソウ、シライトソウ、ミヤコザサ、ミミガタテンナンショウ、クマガイソウなどであり、カワラナデシコ、シュウメイギク、ヤマトリカブト、マルバハギ、レンリソウ、カワラケツメイ、フデリンドウ、ハルリンドウ、ホタルカズラ、キキョウ、トウシャジン、ソバナ、オヤマボクチ、リュウノウギクなど草地性の種が多数含まれている。

未確認になった原因は、種によりそれぞれ異なるが、路傍植物園や武蔵野植物園を取り巻く林地の樹木の樹高が高く成長したことによる被陰が最も大きなものと考えられる。水生植物園では草党性の種の減少がほとんどないのは、昔と変わらない陽光の確保ができているためであろう。一方シラカンバ、ミヤマヤシャブシ、シロバナサラサレンゲ、ダンコウバイ、ウルシ、ウリハダカエデ、オニシバリ、オトコヨウゾメなどの樹木については元々個体数が少なかったことに加え寿命や他の樹種との競争に関して陽光が足りなかったためと考えらる。

### 未確認自生種

自生種で今回新たに未確認となった種は92種に達した。主な種としてはムカゴイラクサ、シロザ、カナビキソウ、ミチヤナギ、ハルタデ、サナエタデ、ザクロソウ、コモチマンネングサ、ノミノフスマ、ウマノアシガタ、コボタンヅル、ボタンヅル、スマレ、コウモリカズラ、ニガイチゴ、ウスゲヤマザクラ、ヒメキンミズヒキ、カジイチゴ、ヤハズソウ、コマツナギ、アカカタバミ、ノササゲ、イヌエンジュ、ミヤコグサ、ネコハギ、ヒメミカンソウ、コミカンソウ、イヌザンショウ、キツリフネ、マサキ、スズメウリ、ヤマウコギ（ウコギ）、オカウコギ、ザクロソウ、ヤブジラミ、オニボタ、コケリンドウ、ノミノフスマ、ヒメヨツバムグラ、アワゴケ、ウツボグサ、クルマバナ、コシオガマ、シロバナサギゴケ、アキノキリンソウ、ノアザミ、トキンソウ、オトコヨモギ、アキノタムラソウ、コウゾリナ、アキノノゲシ、ニガナ、オオジシバリ、タカサブロウ、ヒメヤブラン、ハナビゼキショウ、イボクサ、ホソイ、カヤツリグサ、スズメノヤリ、アオカモジグサ、ナルコビエ、ヤマカモジグサ、ウシクサ、ヤマヌカボ、メガルカヤ、ネズミガヤ、ウシノシッペイ、ケイヌビエ、オオアブラススキ、スズメガヤ、カラスビシャク、コガマ、ガマ、オニノヤガラ、ササバギンランなどがあげられる。この原因は帰化種・栽培種などと同様に園内の開放裸地や耕作跡地の消滅・減少と草地の森林化、落葉樹林の常緑樹林化が考えられる。落葉性の二次林下に生育していた草本類に関しては、特に落葉樹林下の低木層に1960年代から1980年代にかけて大きな被度を保っていたアオキの繁茂（矢野・桑原，2001）が大きく影響したと考えられる。近年はアオキ・アズマネザサ・クマザサなどの低木層の優占種の枯死が目立つが、このような林床もすでに常緑性の種に優占され始めており、以前の草地性の種がもどる兆候は見られない。

### 園内での絶滅危惧種

環境省で進められている日本全体のレッドデータ種（環境庁編，2000）も確認種の中にいくつか含まれている。列記するとフクジュソウ VU，タマノカンアオイ VU，ノウルシ VU，サクラソウ VU，ヒトツバタゴ VU，アサザ VU，ムラサキ EN，トウシャジン CR，キキョウ VU，ヒロハアmana VU，エビネ VU，キンラン VU，マヤラン EN，サガミラン EN となる。この内トウシャジンは2000年より未確認であり心配される。エビネ、キンラン、マヤラン、サガミランが自生種で生き残っている種である。他の種はいずれも関東近辺からの栽培種として保存されている。

すでに確認されなくなり、ほぼ絶滅と考えられる種の中で、本来は自生種だったのはヒメコウホネ、ツキヌキオトギリ、スズサイコ、ヤブムグラ、ナツエビネの5種である。他の種は栽培品起源でヤマシャクヤク、オニバス、ミシマサイコ、ノジトラノオ、クマガイソウ、サギソウなどが含まれる。

このほかに自然教育園の自生種を主体に、今回調査結果から絶滅危惧種と判定した種が以下のようにな数多くあげられる。

草地性の種：オトギリソウ、ヤマハタザオ、クサボケ、ミツバツチグリ、メドハギ、クララ、ナンテンハギ、ヒトツバハギ、アオイスマレ、オヤブジラミ、オカトラノオ、ヒルガオ、ナギナタコウジュ、ウツボグサ、オトコエシ、ツリガネニンジン、ホタルブクロ、ノコンギク、リュウノウギク、フジバカマ、ヤクシソウ、オオバギボウシ、ナルコユリ、ミヤマナルコユリ、ヌカボ、ケスゲ、ジュズスゲ、タガネソウ

湿地性の種：アカメヤナギ、イラクサ、ボントクタデ、コケオトギリ、ノウルシ、チョウジタデ、

ウリクサ, シロバナサギゴケ, ゴマギ, アキノノゲシ, ハンカイソウ, ヤブカンゾウ, オオバジャノヒゲ, イ, コウガイゼキショウ, ドジョウツナギ, ヒメアシボソ, オオイチゴツナギ, シラスゲ, ゴウソ, コジュズスゲ, ヤワラスゲ, ヒメクグ, アゼガヤツリ, コアゼガヤツリ, コゴメガヤツリ, カワラスガナ, ヒメヒラテンツキ

裸地・耕地・路傍性の種: ミチヤナギ, スベリヒユ, ハダカホオズキ, オオブタクサ, ヒメムカシヨモギ, キツネアザミ, オオアワダチソウ, カモジグサ, アキメヒシバ, ニワホコリ, チガヤ, メダケ, ネズミノオ, カヤツリグサ

山地性の種: クリ, ミツバアケビ, ケカマツカ, エドヒガン, ニシキギ, コマユミ, ゴンズイ, クマヤナギ, ツルグミ, アマチャヅル, ウマノミツバ, イチヤクソウ, ハクウンボク, クサギ, ジュウニヒトエ, ヤブデマリ, タツナミソウ, ギンラン, キンラン, ササバギンラン, サイハイラン, シュンラン, マヤラン

上記からわかるように湿地性の多くの種が絶滅に瀕していることは明らかで、この傾向は濱島(1927)の調査した時代から引き続いて進行している現象である。1935年の自然教育園の湿地の面積と比較すると現在は半分以下になっている。これは湿性草地の自然遷移による乾燥化が大きな原因となっていると考えられる。

草原性の種の減少は前述したように草地の森林化に原因し、これも草地から森林への遷移の結果である。また裸地などの面積も縮小を続けており、帰化種や路傍種の減少も顕著である。

絶滅に瀕している山地性の種もほとんどが、明るい二次林の林床に一時的に生育してきた種が大半であり、常緑樹林化の遷移のために生育環境が縮小してきているためであることは明らかである。

## 総 合 考 察

1954年から自生種の一連の種数の減少傾向は、開園と同時に天然記念物に全域が指定され、自然の遷移による常緑樹林化が進み、帰化植物を始め、2次林や草地に生育する野草類の減少、また湿地の乾性化による湿地面積の減少が大半の原因である。当然ながら草地性の種は管理をしている各植物園だけにしか見られない状態が進んでいる。

同じ都心にあり面積は約3倍の皇居の種子植物(近田他, 2000)は411種(含む変品種)であり、自然教育園の632種に及ばない。また約2倍の面積を持つ明治神宮は造営当時の植栽木を多数含んでおり686種を1980年に記録している(本田他, 1980)が、自然教育園で記録された1984年の835種に及ばない。明治神宮も調査から20年を経た現在、いっそう森林化が進み陽性樹木、下草類の減少がいっそう進んでいるものと思える。これらに比較して今回632種が記録された自然教育園は都心部に限定すれば植物相が最も豊かな場所ということができるのではないだろうか。中でも特筆すべき事は、純粹の自生種と考えられる種が379種も生存しているということであり、種の保存・遺伝子多様性の保護の観点からはかけがいのない生物資源を保持しているということができる。

## 補 遺

自然教育園のシダ植物(松本定, 2001)のリストで漏れていたミズニラ *Isoetes japonica* A.Rr. を追記しておく。

1965年のリストには希に生存したが、1974年以降未確認であった。その後1990年代に中央湿

地で数株確認したが数年で確認できなくなった。1999年に水生植物園のイモリの池からの流入口付近で裸地化した部分に数株再発見、この株は現存する。

### 自然教育園種子植物目録

科名の前の数字は科番号で、配列順は新エングラの体系に基づき、渡辺清彦（1977）と環境庁編（1987）によった。科内の配列は属名のアルファベット順とした。

標本番号は附属自然教育園標本庫のものである。国立科学博物館標本庫（TST）の標本番号はまだつけられていない。また、（無）は個体は確認されているが、標本が採られていない種、（未登）は標本は採られているが未登録の種を示す。

確認種は、普通種：（普）と希少種：（希）に分類、未確認種は（未確）とした。

帰化植物は、新帰化種：（新帰）、旧帰化種：（旧帰） 園芸栽培帰化種：（芸種）に分類した。

自生種以外の種については、野生化種：（野化）、逸出種：（逸）、栽培種：（栽）に分類した。

高木の個体数は胸高直径10cm以上の個体のみを対象にしてある。

国の絶滅危惧種となっている種に関しては、絶滅危惧 IA 類：CR、絶滅危惧 IB 類：EN、絶滅危惧 II 類：VU を示してある。

#### 1 Cycadaceae ソテツ科

*Cycas revoluta* Thunb. ソテツ 6284 希 栽

1980年代に上野本館より教研跡地に♂♀の開花個体各1株移植

#### 2 Ginkgoaceae イチョウ科

*Ginkgo biloba* L. イチョウ 6285 希 栽 芸帰

1960年代の植栽品が現業舎付近に1株 未開花

#### 3 Pinaceae マツ科

*Abies firma* Sieb. et Zucc. モミ 6209 希 栽

1954年の胸高周囲2mを含む15個体はすべて枯死 1960年代に武蔵野植物園に植栽した若木2個体

*Abies homolepis* Sieb. et Zucc. ウラジロモミ 未確 栽

1980年代ガラス室付近で育苗 その後枯死

*Picea abies* Karst. ドイツトウヒ 6211 希 栽 芸帰

1954-1958年頃の植栽品が旧事務所跡地に1個体 開花個体

*Pinus densiflora* Sieb. et Zucc. アカマツ 6212 普 栽

1954年当時のリストには植栽となっており200個体近くあったがその後1960年代の大気汚染により大量枯死、現在は40個体弱が生存

*Pinus thunbergii* Parl. クロマツ 6213 普 野化 芸帰

下屋敷時代から植栽されていたと推定、1954年には400個体以上あったが大気汚染や森林の

遷移により233個体に半減, さらに減少傾向

*Tsuga sieboldii* Carr. ツガ 6210 希 栽

武蔵野植物園に1954-1958年に植栽

#### 4 Taxodiaceae スギ科

*Cryptomeria japonica* (L. fil.) D. Don スギ 6214 希 栽

1954年当時植栽木が大径木を含み121個体があったが大気汚染により枯死し, 現存は8個体

*Metasequoia glyptostroboides* Hu et Cheng メタセコイア 6215 希 栽

1954年頃の植栽 旧事務所跡地に1個体 胸高周囲2.7m

*Sciadopitys verticillata* (Thunb.) Sieb. et Zucc. コウヤマキ 無 希 栽 芸婦

奈良県高野山産の種子からガラス室で育苗

#### 5 Cupressaceae ヒノキ科

*Chamaecyparis obtusa* (Sieb. et Zucc.) Sieb. et Zucc. ヒノキ 無 希 栽

1965年当時約50個体あったが現在は北東鬼門土塁上に胸高周囲2.3mを含む8個体生存

*Chamaecyparis pisifera* (Sieb. et Zucc.) Endlicher サワラ 6216 希 栽

2個体生存 西便所付近に胸高周囲2.3mの大径木のみで絶滅危惧

*Chamaecyperis pisifera* (Sieb. et Zucc.) Endlicher var. *squarrosa* Beissn. et Hochst.

ヒムロ 未確 栽

1954-1958年ガラス室周辺に植栽されていたがその後枯死

#### 6 Podocarpaceae イヌマキ科

*Podocarpus macrophyllus* (Thunb.) Lamb. イヌマキ 6297 希 逸

実生個体のみだが 増加している

*Podocarpus macrophyllus* (Thunb.) Lamb. var. *maki* Sieb. ラカンマキ 未確 栽

植栽品が1954年に記録されたが, 1965年には確認されていない

#### 7 Cephalotaxaceae イヌガヤ科

*Cephalotaxus harringtonia* (Knight) K. Koch イヌガヤ 6208 希 栽

小径木が数個体 森の小道に開花 増加傾向

#### 9 Taxaceae イチイ科

*Torreya nucifera* (L.) Sieb. et Zucc. カヤ 6286 希

植栽を含む小径木が8個体生存 増加傾向

#### 15 Juglandaceae クルミ科

*Juglans ailanthifolia* Carr. オニグルミ 6351 普

1965年当時130個体あったが現在は80個体 減少傾向

*Juglans ailanthifolia* Carr. var. *cordiformis* Rehder ヒメグルミ 6862 希 栽  
1954年当時植栽木が8個体あったが現在は4個体 野生化は未確認

## 19 Salicaceae ヤナギ科

*Populus sieboldii* Miquel ヤマナラシ 未確

1965年までは2個体生存したが遷移に伴い枯死

*Salix chaenomeloides* Kimura アカメヤナギ 6348 希

南飛び地と中央湿地に各1個体生存 絶滅危惧

*Salix eriocarpa* Franch. et Savat. ジャヤナギ 6349 普 野化

30個体生存 雄株のみ 1954・1965年のリストのタチヤナギは本種の同定ミス

*Salix integra* Thunb. イヌコリヤナギ 6350 希

水生植物園に雌株2個体生存

*Salix japonica* Thunb. シバヤナギ 未確

1954年以後の植栽と考えられる 1965以後未確認

*Salix kinuyanagi* Kimura キヌヤナギ 未確

1954年以後の植栽と考えられる 1984年以後未確認

## 20 Betulaceae カバノキ科

*Alnus firma* Sieb. et Zucc. var. *hirtella* Franch. et Savat. ミヤマヤシャブシ 未確 栽

1954年以後の植栽 1987年に枯死

*Alnus hirsuta* Turcz. var. *sibirica* (Fischer) C.K.Schn ヤマハンノキ 6363 希 栽

1954年のリストにある個体は水生植物園に生存したがその後枯死、現在の同所の大径木は植栽品

*Alnus japonica* (Thunb.) Steud. ハンノキ 6362 普 野化

1950年代の植栽品が野生化 湿地に10個体 実生も多い

*Betula grossa* Sieb. et Zucc. ミズメ 未確 栽

大径木がイモリの池に面する台地上にあったが1983年に枯死確認 植栽木かどうか不明

*Betula platyphylla* Sukatchev var. *japonica* (Miq.) Hara シラカンバ 未確 栽

1954年以後の植栽 1999年枯死以後未確認

*Carpinus cordata* Blume サワシバ 6355 希 栽

1954年以後の植栽 武蔵野植物園に小径木が1個体

*Carpinus japonica* Blume クマシデ 6356 希 栽

植栽と考えられる 旧小鳥の森に1個体生存

*Carpinus laxiflora* (Sieb. et Zucc.) Bl. アカシデ 6357 普 栽

1954年以後の植栽と考えられる個体が武蔵野植物園周辺部分に19個体生存 野生化個体もわずかにみられる

*Carpinus tschonoskii* Maxim. イヌシデ 6360 普

約150個体生存 最大は胸高周囲2.7m

*Corylus sieboldiana* Blume ツノハシバミ 6358 希 栽

植栽木が武蔵野植物園付近に数個体生存

*Ostrya japonica* Sarg. アサダ 6359 希 栽

植栽木が武蔵野植物園に1個体生存

## 21 Fagaceae ブナ科

*Castanea crenata* Sieb. et Zucc. クリ 6376 希

1954年当時114個体あったがクリタマバチの被害により現在は3個体のみである 絶滅危惧

*Castanopsis cuspidata* (Thunb.) Schottky var. *sieboldii* (Makino) Nakai スダジイ 6375 普

1954年には大半が胸高周囲2m以上の大径木のみで281個体を数えたが近年はこれらの大径木の枯死が目立つ。逆に遷移に伴い若木が増加し現在総数は1237個体

*Fagus crenata* Blume ブナ 6374 希 栽

福島県産の若木が1個体生存 ガラス室内には各地の実生がある

*Lithocarpus edulis* (Makino) Nakai マテバシイ 6373 普 栽 芸帰

管理棟付近に7個体植栽 サンショウウオ上流に若木あり

*Quercus acuta* Thunb. アカガシ 6372 普

1954年当時16個体 現在103個体と増加

*Quercus acutissima* Carruth. クヌギ 6371 普 芸帰

1954年当時の記録はないが現在は植栽品が39個体 北門付近に胸高周囲2mの大木あり

*Quercus dentata* Thunb. カシワ 未確 栽

インセクタリウム付近に3個体植栽されていたがその後伐採 ガラス室内に明治神宮に植栽された個体の実生あり

*Quercus glauca* Thunb. アラカシ 6370 希 栽

樹木園に植栽木が4個体 実生も1個体確認

*Quercus myrsinaefolia* Blume シラカシ 6369 普

1954年当時26個体 現在91個体

*Quercus salicina* Blume ウラジロガシ 6367 希 栽

武蔵野植物園に1960年代の植栽木1個体 生育は悪く未開花

*Quercus serrata* Thunb. コナラ 6366 普

1954年当時204個体 1983年に426個体と増加したが遷移に伴い現在は348個体と減少

*Quercus serrata* Thunb. var. *donarium* (Nakai) Kitam. et T.Horikawa テリハコナラ 6365 希

武蔵野植物園に少数

*Quercus sessilifolia* Blume ツクバネガシ 6368 希

1954年当時25個体 1965年には6個体に急減しその後は同数が維持されている ひょうたん池付近台地上に生存

*Quercus* × *takaoyamensis* Makino オオツクバネガシ 6364 希

ひょうたん池付近に5個体生存 あずま屋脇に胸高周囲1.7mの個体 実生も見られる



## 23 Ulmaceae ニレ科

*Aphananthe aspera* (Thunb.) Planch. ムクノキ 6354 普

1954年当時90個体 現在は385個体 暖帯性の種で増加が著しい 最大木は胸高周囲4.5m

*Celtis sinensis* Pers. var. *japonica* (Planch.) Nakai エノキ 6352 普

1954年当時83個体 現在217個体に増加 鳥散布による当年生実生は極めて多い

*Ulmus japonica* (Rehd.) Sargent ハルニレ 6361 希 栽

植栽木が武蔵野植物園に1個体

*Ulmus laciniata* (Trautv.) Mayr オヒョウ 未確 栽

植栽その後枯死

*Zelkova serrata* (Thunb.) Makino ケヤキ 6353 普

1954年当時49個体から143個体まで増加したが現在は減少気味 最大木は北門付近の胸高周囲2.9m

## 25 Moraceae クワ科

*Broussonetia kazinoki* Sieb. ヒメコウゾ 6385 普

開園当時からきわめて多かったが遷移に伴い減少

*Broussonetia kazinoki* × *papyrifera* コウゾ 6384 普

ヒメコウゾの同定ミス?

*Cannabis sativa* L. アサ 未確 栽 芸婦

栽培品 1965年以後未確認

*Cudrania tricuspidata* (Call.) Bureau ハリグワ 6383 希 栽 芸婦

旧小鳥の森に植栽 同所に実生を含め数株生育

*Fatoua villosa* (Thunb.) Nakai クワクサ 6382 普

陽地に普通

*Ficus erecta* Thunb. イヌビワ 6381 普

胸高直径10cm以上が1個体 若木は増加中

*Ficus erecta* Thunb. f. *sieboldii* (Miq.) Corner ホソバイヌビワ 6380 普

若木がきわめて増えている 100株以上と推定される

*Morus australis* Poir. ヤマグワ 6377 6378 普

1965年当時100個体記録したが現在は50個体以下

## 26 Urticaceae イラクサ科

*Boehmeria japonica* (L.f.) Miq. var. *longispica* (Steud.) Yahara ヤブマオ 6390 希

路傍植物園に10株程度 減少傾向

*Boehmeria nippononivea* Koidz. カラムシ 6389 希

植栽品が路傍植物園に50株程度 自然個体は他所で数株

*Boehmeria platanifolia* Franch. et Savat. メヤブマオ 6388 普

湿った半日陰の園路にきわめて多数

- Elatostema umbellatum* Blume ヒメウワバミソウ 未確 栽  
1980年代現業舎周辺に一時栽培 1990年代後半に未確認
- Elatostema umbellatum* Blume var. *majus* Maxim. ウワバミソウ 未確 栽  
現業舎周辺に1980年代一時栽培 1980年代以後は未確認
- Humulus japonicus* Sieb. et Zucc. カナムグラ 6682 普  
陽湿地に多数あったが減少傾向
- Laportea bulbifera* (Sieb. et Zucc.) Wedd. ムカゴイラクサ 未確  
1980年代には管理棟周辺に数株見られたが今回は未確認
- Pilea pumila* (L.) A.Gray アオミズ 6387 普  
きわめて多い
- Urtica thunbergiana* Sieb. et Zucc. イラクサ 6386 希  
サンショウウオ沢上流部に数株 1980年代までは数百株あった 絶滅危惧

### 32 Santalaceae バックダン科

- Thesium chinense* Turcz. カナビキソウ 未確  
武蔵野植物園に1980年代まではあったが現在は見あたらない

### 34 Loranthaceae ヤドリギ科

- Taxillus kaempferi* (DC.) Danser マツグミ 未確  
1965年には確認できなくなった
- Viscum album* L. ssp. *coloratum* Komar. ヤドリギ 未確  
1965年までは確認できたがその後見られない
- Viscum album* L. ssp. *coloratum* Komar. f. *rubro-aurantiacum* (Makino) Ohwi アカミヤドリギ 未確  
1965年には確認できなくなった

### 37 Polygonaceae タデ科

- Antenoron filiforme* (Thunb.) Roberty et Vautier ミズヒキ 6405 普  
路傍に普通
- Antenoron filiforme* (Thunb.) Roberty et Vautier f. *albiflora* (Makino) Hara シロバナミズヒキ 無 希
- Antenoron filiforme* (Thunb.) Roberty et Vautier f. *bicolor* (Makino) Gonsho ミズヒキ 6397 希  
路傍植物園などに希
- Fagopyrum sagittatum* Gilib. ソバ 未確 栽  
栽培品 1965年以後未確認
- Fallopia convolvulus* (L.) Love ソバカズラ 未確 新帰  
栽培品 1965年以後未確認

*Persicaria hydropiper* (L.) Spach ヤナギタデ 未確

1965年には見られなくなった

*Persicaria japonica* (Meisn.) H.Gross シロバナサクラタデ 6404 普

水生植物園に1000株程度 最近急激に増加

*Persicaria lapathifolia* (L.) S.F.Gray オオイヌタデ 無 普 新帰

管理棟付近に生存 減少傾向

*Persicaria longisetata* (De Bruyn) Kitagawa イヌタデ 6403 普

管理棟付近や湿地に生存

*Persicaria nipponensis* (Makino) H.Gross ヤノネグサ 未確

1974年以後未確認

*Persicaria orientalis* Spach オオケタデ 未確 旧帰

管理棟付近・教研跡地に時々出たが1990年代後半以後未確認

*Persicaria posumbu* (D.Don) H.Gross var. *laxiflora* (Meisn.) Hara ハナタデ 6408 普

路傍の林縁に多い

*Persicaria pubescens* (Blume) Hara ボントクタデ 6401 希

水生植物園のみで50株程度 減少傾向 絶滅危惧

*Persicaria scabra* (Moench) Mold. サナエタデ 未確

1974年以後未確認

*Persicaria senticosa* (Franch. et Savat.) H.Gross ママコノシリヌグイ 6400 普

旧事務所跡地の草地に多い

*Persicaria sieboldii* (Meisn.) Ohki アキノウナギツカミ 6399 普

陽湿地に普通

*Persicaria thunbergii* (Sieb. et Zucc.) H.Gross ミゾソバ 未確

今回はすべて次種に分類した

*Persicaria thunbergii* (Sieb. et Zucc.) H.Gross var. *hastatotriloba* Miyabe オオミゾソバ

6664 普

前種と区別は難しいが大型個体が無性的に増殖している 1970年代は前種のほうが多かった

*Persicaria viscofera* (Makino) H.Gross ネバリタデ 未確

1965年までは確認できた 1974年以後未確認

*Persicaria viscofera* (Makino) H.Gross var. *viridescens* Nakai アオネバリタデ 未確

1965年以後未確認

*Persicaria vulgaris* Webb. et Miq. ハルタデ 未確

1965年までは確認できた 1974年以後未確認

*Pleuropterus multiflorus* (Thunb.) Turcz. ツルドクダミ 6402 普 野化 芸帰

葉が越冬する個体も見られるようになった やや増加

*Polygonum aviculare* L. ミチヤナギ 未確

1980年代普通種であったが減少し今回は見あたらず 絶滅危惧

*Reynoutria japonica* Houtt. イタドリ 6407 希

教研跡地に見られる 数10株

*Reynoutria japonica* Houtt. var. *uzensis* Honda ケイタドリ 6406 希

園内陽地半陰地に普通であったが減少傾向

*Rumex acetosa* L. スイバ 6398 普

水生植物園などに普通

*Rumex acetosella* L. ヒメスイバ 未確 新帰

1980年代管理棟付近に時々見られたが今回は未確認

*Rumex conglomeratus* Murr. アレチギシギシ 無 希 新帰

1980年代園内陽地に普通であったが減少 今回は未確認

*Rumex crispus* L. ナガバギシギシ 未確 新帰

1965年には見られなくなった

*Rumex japonicus* Houtt. ギシギシ 無 普

陽地に普通 減少傾向

*Rumex obtusifolius* L. エゾノギシギシ 未確 新帰

1974年以後未確認

### 39 Phytolaccaceae ヤマゴボウ科

*Phytolacca americana* L. ヨウシュヤマゴボウ 6410 普 新帰

路傍植物園などに普通

### 42 Nyctaginaceae オシロイバナ科

*Mirabilis jalapa* L. オシロイバナ 6774 希 野化 芸帰

教研跡地・管理棟前庭に今回初めて確認 園の周辺にも野生化が増えている

### 43 Aizoaceae ツルナ科

*Mollugo pentaphylla* L. ザクロソウ 未確

1980年代陽地に希にあったが今回は未確認

*Tetragonia tetragonoides* (Pall.) O.Kuntze ツルナ 未確 野化

1974年以後未確認

### 45 Portulacaceae スペリヒユ科

*Portulaca oleracea* L. スペリヒユ 6409 希

管理棟付近のみで確認 閉鎖花のみで開花個体は見られなくなった 絶滅危惧

*Talinum crassifolium* Willd. ハゼラン 6417 希 逸 芸帰

ガラス室付近の栽培品逸出

### 47 Caryophyllaceae ナデシコ科

*Arenaria serpyllifolia* L. ノミノツヅリ 未確

- 1984年には陽地に希にあったが今回は未確認 園の周辺には見られる  
*Cerastium glomeratum* Thuill. オランダミミナグサ 無 普 新帰  
 管理棟付近の陽地に普通
- Cerastium holosteoides* Fries var. *angustifolium* (Franch.) Mizushima ミミナグサ 6420 普  
 管理棟付近の陽地に普通
- Dianthus superbus* L. var. *longicalycinus* (Maxim.) Williams カワラナデシコ 未確 栽  
 ガラス室内に栽培 各植物園の植栽品は枯死
- Lychnis miqueliana* Rohrb. フシグロセンノウ 6419 希 栽  
 植栽品が武蔵野植物園に1株生存
- Sagina japonica* (Sw.) Ohwi ツメクサ 6418 普  
 きわめて普通
- Sagina japonica* (Sw.) Ohwi f. *viatica* Ohwi ミチバタツメクサ 未確  
 1965年以後未確認
- Sagina maxima* A.Gray ハマツメクサ 未確  
 1965年以後未確認
- Stellaria alsine* Grimm var. *undulata* (Thunb.) Ohwi ノミノフスマ 未確  
 1984年まではサンショウウオ沢上流に数10株あったが以後未確認
- Stellaria aquatica* (L.) Scop. ウシハコベ 6421 普  
 きわめて普通
- Stellaria media* (L.) Villars コハコベ 6422 希 新帰  
 管理棟周辺にだけ見られる
- Stellaria neglecta* Weihe ミドリハコベ 6423 普  
 陽地に普通

## 49 Chenopodiaceae アカザ科

- Chenopodium album* L. シロザ 未確  
 1980年代事務所跡地の裸地に大繁殖したこともあったが今回は未確認 園外では普通に見られる
- Chenopodium ambrosioides* L. ケアリタソウ 6395 希 新帰  
 管理棟周辺に少数 減少傾向
- Chenopodium ambrosioides* L. var. *antherminthicum* A.Gray アメリカアリタソウ 未確  
 新帰  
 1965年以後未確認
- Chenopodium ficifolium* Smith コアカザ 未確 旧帰  
 陽地に時々見られたが今回は未確認
- Kochia scoparia* (L.) Schrad. var. *littorea* Makino イソホウキギ 未確 栽 芸帰  
 1965年以後未確認
- Spinacia oleracea* L. ホウレンソウ 未確 栽  
 1965年以後未確認

50 *Amaranthaceae* ヒユ科

*Achyranthes bidentata* Bl. var. *japonica* Miq. イノコズチ 6411 普

陽地に普通

*Achyranthes bidentata* Bl. var. *tomentosa* (Honda) Hara ヒナタイノコズチ 6415 普

陽地に普通

*Amaranthus lividus* L. イヌビユ 未確 旧帰

1984年以後見られない 園の周辺には多い

*Amaranthus patulus* Bertoloni ホソアオゲイトウ 未確 新帰

1980年代陽地に時々見られたが今回は未確認

*Amaranthus retroflexus* L. アオゲイトウ 未確 新帰

1974年以後未確認

*Amaranthus viridis* L. ホナガイヌビユ 未確 新帰

1990年代管理棟の陽地に時々見られたが今回は未確認 園外では希に見られる

52 *Magnoliaceae* モクレン科

*Illicium anisatum* L. シキミ 6442 希 栽

植栽品が4個体 実生は見られない

*Kadsura japonica* (Thunb.) Dunal サネカズラ 6441 普

半陰の林縁に極めて普通 増加傾向

*Magnolia hypoleuca* Sieb. et Zucc. ホオノキ 6435 希 栽

1954年のリストの個体は枯死 武蔵野植物園などに植栽木3個体

*Magnolia praecocissima* Koidz. コブシ 6443 普

1965年当時19個体あったが1990年代に137個体に増加 その後減少傾向

*Magnolia salicifolia* (Sieb. et Zucc.) Maxim. タムシバ 6434 希 栽

1984年以前のリストにはないが、イモリの池斜面に大径木を2個体発見その後1個体は枯死  
古い植栽木から野生化したと考えられる コブシよりも開花が早くカラスにつぼみをほとんど食害  
され発見が遅れたのだろう 若木も現業舎付近で1個体確認

*Magnolia soulangeana* Soul. シロバナサラサレンゲ 無 栽

水鳥の沼付近の東京都庭園美術館脇に1個体 植栽品のなごりか

*Michelia figo* (Lour.) K.Spreng. トウオガタマ (カラタネオガタマ) 6436 希 栽

植栽品が3個体現業舎付近に生育

68 *Lauraceae* クスノキ科

*Cinnamomum camphora* (L.) Siebold クスノキ 6603 希 栽 芸帰

管理棟周辺に植栽品が6個体

*Cinnamomum japonicum* Siebold ex Nakai ヤブニッケイ 6598 普

1965年のリストにはなかったがその後野生化品が17個体と増加 増加傾向

*Cinnamomum sieboldii* Meissn. ニッケイ 6602 希 栽

植栽品が樹木園に1個体 実生も最近では枯れずに生育している

*Lindera glauca* (Sieb. et Zucc.) Blume ヤマコウバン 6600 希 栽

1954-1958年の植栽品が武蔵野植物園に1個体 未開花

*Lindera obtusiloba* Blume ダンコウバイ 未確 栽

武蔵野植物園に1954-1958年の植栽品があったが枯死

*Lindera umbellata* Thunb. クロモジ 6605 希 栽

旧小鳥の森などに1954-1958年の植栽品が5個体 雌株は1個体

*Machilus thunbergii* Sieb. et Zucc. タブノキ 6597 普

1965年には植栽品と考えられる大径木が武蔵野植物園付近に1個体あったが、現在78個体に増加、若木、実生もきわめて多い 増加傾向

*Neolitsea sericea* (Blume) Koidz. シロダモ 6604 普

1954年当時6個体あったが急激に増加し現在は464個体ある 母樹と考えられるひょうたん池の個体は胸高周囲1.43mあったが1999年に枯死 他の個体は1m以下であり、落葉樹林下の亜高木層を形成

*Parabenzoin praecox* (Sieb. et Zucc.) Nakai アブラチャン 6601 希

サンショウウオ沢にわずかに見られる 植栽品は武蔵野・樹木園に5個体生存

*Parabenzoin trilobum* (Sieb. et Zucc.) Nakai シロモジ 6509 希 栽

武蔵野植物園に植栽品が1個体

## 72 Eupteleaceae フサザクラ科

*Euptelea polyandra* Sieb. et Zucc. フサザクラ 6416 希 栽

武蔵野植物園に植栽品が1個体

## 73 Cercidiphyllaceae カツラ科

*Cercidiphyllum japonicum* Sieb. et Zucc. カツラ 6412 希 栽

武蔵野植物園に植栽品が3個体

## 74 Ranunculaceae キンポウゲ科

*Aconitum japonicum* Thunb. ヤマトリカブト 未確 栽

自生品はおそらく絶滅 千葉県産の植栽品が武蔵野植物園に1株生存

*Adonis ramosa* Franch. フクジュソウ 6431 普 栽

植栽品が100株程度 産地不明 1954-1958年に植栽 V U

*Anemone flaccida* Fr.Schm. ニリンソウ 6430 普

園内落葉樹林下のやや湿った場所に大群落を作る 減少傾向

*Anemone hepatica* L. var. *japonica* (Nakai) Ohwi f. *variegata* (Makino) Hara スハマ

ソウ 未確 栽

1960年代の植栽品が現業舎付近にあったが現在はない

*Anemone hupehensis* Lemoine var. *japonica* (Thunb.) Bowles et Stearn シュウメイギク

未確 栽 芸婦

1954-1958年の植栽品が1965年まで武蔵野植物園にあったが1974年以後未確認

*Anemone keiskeana* T.Ito ユキワリイチゲ 6428 普 野化

1965年頃広島県産の株を武蔵野植物園に移植 その後増加現在500株以上

*Anemone nikoensis* Maxim. イチリンソウ 6429 普 栽

1965年のリストには野生品があったとされるが不明 植栽品は武蔵野植物園などに50株程度生存

*Anemone pseudo-altaica* Hara キクザキイチゲ 無 普 栽

1982年に委託業者から20株ほど購入武蔵野植物園に植栽 現在50株程度 当初は青紫花のみであったが現在は白花のみ

*Anemone raddeana* Regel アズマイチゲ 無 普 栽

1982年に委託業者から購入武蔵野植物園に植栽 現在20株程度生存

*Anemonopsis macrophylla* Sieb. et Zucc. レンゲシヨウマ 未確 栽

1980年代奥多摩産の植栽種が仮植地にあったが現在は消失

*Aquilegia adoxoides* (DC.) Ohwi ヒメウズ 6427 普

半日陰の林縁に普通

*Cimicifuga acerina* (Sieb. et Zucc.) C.Tanaka オオバシヨウマ 未確

1954年のリストにあるが1965年以後未確認

*Cimicifuga japonica* (Thunb.) Sprengel イヌシヨウマ 6426 普

路傍・武蔵野植物園に100株程度生存 生育は良好

*Cimicifuga simplex* Wormsk. サラシナシヨウマ 未確 栽

1982年に委託業者から購入 現在は消失

*Clematis apiifolia* DC. ボタンヅル 未確

1980年代以後未確認

*Clematis apiifolia* DC. var. *bitemata* Makino コボタンヅル 未確

1980年代以後未確認

*Clematis japonica* Thunb. ハンシヨウヅル 未確

1974年以後未確認

*Clematis stans* Sieb. et Zucc. クサボタン 未確 栽

1982年に委託業者から購入 現在は消失

*Clematis terniflora* DC. センニンソウ 6864 希

水生植物園に1株生存 減少傾向

*Paeonia japonica* (Makino) Miyabe et Tatew. ヤマシャクヤク 未確 栽

現業舎付近に産地不明の植栽品が1株あったが1990年代に消失 VU

*Pulsatilla cernua* (Thunb.) Spreng. オキナグサ 未確 栽

1982年に委託業者から購入 現在は消失 VU

*Ranunculus cantoniensis* DC. ケキツネノボタン 6425 普

湿地に100個体程度



*Ranunculus japonicus* Thunb. ウマノアシガタ 未確

1990年代から確認されていない

*Ranunculus silerifolius* Lev. キツネノボタン 無 未確

1990年代から確認されていない

*Thalictrum actaeifolium* Sieb. et Zucc. シギンカラマツ 未確 栽

1982年に委託業者から購入 現在は消失

*Thalictrum minus* L. var. *hypoleucum* (Sieb. et Zucc.) Miq. アキカラマツ 6424 希

1980年代は各植物園に数株あったが現在水生植物園に3株生存 減少傾向

## 75 Berberidaceae メギ科

*Berberis thunbergii* DC. メギ 6445 希 栽

1965年の植栽品は消失 林内に実生が希に見られ野生化に進む可能性あり

*Epimedium grandiflorum* Morr. var. *thunbergianum* (Miq.) Nakai イカリソウ 6433

希 栽

1954年のリストの植栽品は消失 植栽品が路傍・武蔵野植物園に20株程度 減少傾向

*Nandina domestica* Thunb. ナンテン 6444 普 野化

1954年のリストの植栽品は消失 1990年代より林内に実生が見られ増加している

## 77 Lardizabalaceae アケビ科

*Akebia diplochlamys* Makino ホナガアケビ 未確

1965年以後には確認されていない

*Akebia pentaphylla* Makino ゴヨウアケビ 6437 希

林縁に少ない

*Akebia quinata* (Thunb.) Decne. アケビ 6438 6439 普

林縁に普通

*Akebia trifoliata* (Thunb.) Koidz. ミツバアケビ 無 希

中央湿地南側にわずかに生存 絶滅危惧

*Stauntonia hexaphylla* (Thunb.) Decne. ムベ 6440 普

1965年に確認されて以後急速に個体数を増加している

## 78 Menispermaceae ツツラフジ科

*Cocculus orbiculatus* (L.) Forman アオツツラフジ 6432 普

陽地に普通だったが減少気味

*Menispermum dauricum* DC. コウモリカズラ 未確

水鳥の沼付近に数株あったが1990年代から確認されていない

## 79 Nymphaeaceae スイレン科

*Euryale ferox* Salisb. オニバス 未確 栽

1980年代と2001年に葛飾区水元の東京都水産試験場から一時導入したがアメリカザリガニにより食害され消失 VU

*Nuphar japonicum* DC. コウホネ 6413 普 栽

1954-1958年に植栽, 1982年に委託業者から購入 現在50株程度 増加傾向

*Nuphar subintegerrimum* (Casp.) Makino ヒメコウホネ 未確

中央湿地にあったとされる1954年のリストの植栽品は1965年までに湿地の乾燥化で消失 その後箱根湿生花園より導入ガラス室裏の水槽に10株程度生存 CR

*Nymphaea alba* L. スイレン 未確 栽 芸帰

1954-1958年の植栽種 1980年代に池の浚渫により消失

*Nymphaea tetragona* Georgi var. *angusta* Casp. ヒツジグサ 6414 希 栽培

1980年代に茨城産の自生品を赤坂離宮より移植 武蔵野植物園に5株生存 水生植物園にその後何度か移植するがアメリカザリガニの食害で失敗

#### 81 Saururaceae ドクダミ科

*Houttuynia cordata* Thunb. ドクダミ 6343 普

管理棟周辺・路傍に極めて普通

*Saururus chinensis* (Lour.) Baill. ハンゲショウ 6344 普 栽培

1982年に委託業者から購入 水生植物園に200株程度生存 森の小道中央の流れに50株程度増加傾向

#### 83 Chloranthaceae センリョウ科

*Chloranthus japonicus* Sieb. ヒトリシズカ 6345 普

路傍・武蔵野植物園に100株程度生存 生育は良好 植物園以外には見られなくなった

*Chloranthus serratus* (Thunb.) Roem. et Schult. フタリシズカ 6346 普

路傍・武蔵野植物園中心に多数生存 生育は良好 植物園以外にも普通に見られる

*Sarcandra glaber* (Thunb.) Nakai センリョウ 6347 普 逸

1990年代に路傍植物園に開花結実個体を確認 その後数10株に増殖

#### 85 Aristolochiaceae ウマノスズクサ科

*Aristolochia debilis* Sieb. et Zucc. ウマノスズクサ 未確 栽

自生品は1970年代におそらく絶滅 植栽品が旧インセクタリウムの食草展示場に1株あったが1980年代に消失

*Aristolochia kaempferi* Willd. オオバウマノスズクサ 未確

1965年以後未確認

*Asarum caulescens* Maxim. フタバアオイ 未確 栽

1965年頃奥武蔵より移植した株がインセクタリウムの食草展示場に10株程度生存していたが1990年代に確認されなくなった

*Asarum takaoi* F. Maek. var. *hisauchii* F. Maek. キソジノカンアオイ 未確 栽

イモリの池に面するコナラ林斜面に植栽起源と思われる株が10個体程度あったが1990年代以後未確認

*Asiasarum sieboldii* Miq. ウ斯巴サイシン 未確 栽

栽培品が現業舎付近の仮植地にあったが1980年代に消失

*Heterotropa blumei* Duchart. ランヨウアオイ 6394 希 栽

栽培品が現業舎付近の仮植地に5株程度生存

*Heterotropa kooyana* Makino var. *nipponica* (F.Maek.) Kitam. カンアオイ 6391 6392

希 栽

栽培品が路傍植物園に5株 武蔵野植物園に10株程度 減少傾向

*Heterotropa tamaensis* Makino タマノカンアオイ 6393 普 栽

奥多摩産の栽培品が路傍植物園に10株 武蔵野植物園に50株程度 増加傾向 V U

### 93 Actinidiaceae マタタビ科

*Actinidia chinensis* Planch. シナサルナシ 6531 希 逸 芸婦

1990年代に実生苗が林縁に数株見られるようになる

### 98 Theaceae ツバキ科

*Camellia japonica* L. ヤブツバキ 6542 6554 普

1954年当時胸高周囲0.3m以上の個体はなかったが、現在47個体と増加

*Camellia sasanqua* Thunb. サザンカ 6543 希 野化

1984年に開花個体を初めて確認その後胸高周囲0.3mの個体が3個体 花色は赤・ピンクの1重で近隣の人家から種子が供給されたものと考えられる 実生はかなり多い 増加傾向

*Cleyera japonica* Thunb. サカキ 6541 普

分布はマツ林下に限られ1965年には胸高周囲0.3m以上が3個体 現在は16個体 最大木で0.8m

*Eurya japonica* Thunb. ヒサカキ 6552 6553 普

マツ林を中心に1965年には胸高周囲0.3mが6個体 現在は255個体と急増 最大木で0.7m

*Ternstroemia gymnanthera* (Wight et Arn.) Bedd モッコク 6539 希

林内に実生が増加傾向 開花個体はまだ未確認

*Thea sinensis* L. チャノキ 6540 普 野化 芸婦

サンショウウオ沢中心に古い栽培の野生化品が500株程度生存

### 102 Guttiferae オトギリソウ科

*Hypericum ascyron* L. トモエソウ 6532 希 栽

1982年に委託業者から購入 武蔵野・水生植物園に5株 生育良好

*Hypericum erectum* Thunb. オトギリソウ 無 希

武蔵野植物園のみに数株生存 減少傾向 絶滅危惧 ガラス室で育苗中

*Hypericum laxum* (Blume) Koidz. コケオトギリ 未登 希

1974年頃陽湿地にわずかに見られ1980年代以後未確認だったが最近水生植物園で数株再確認

絶滅危惧

*Hypericum sampsonii* Hance ツキヌキオトギリ 未確 新婦  
1965年には確認されなくなった CR

106 Doroseraceae モウセンゴケ科

*Drosera rotundifolia* L. モウセンゴケ 未確  
千葉県成東産の個体を一時武蔵野植物園で栽培 現在は消失

107 Papaveraceae ケシ科

*Chelidonium majus* L. var. *asiaticum* (Hara) Ohwi クサノオウ 6596 普  
明るい草地に普通

*Corydalis decumbens* (Thunb.) Pers. ジロボウエンゴサク 6593 普  
水生・武蔵野植物園に1000株程度生存 各植物園以外では見られなくなった 減少傾向

*Corydalis incisa* (Thunb.) Pers. ムラサキケマン 6592 普  
路傍や林縁に普通

*Hylomecon japonicum* Thunb. ヤマブキソウ 6594 普  
路傍・武蔵野植物園に500株程度生存 各植物園以外では希になった

*Macleaya cordata* (Willd.) R.Br. タケニグサ 無 普  
陽地に普通

*Macleaya cordata* (Willd.) R.Br. var. *thunbergii* (Miq.) Miq. ケナシチャンバギク 6505  
希  
武蔵野植物園付近に数株

109 Curciferae アブラナ科

*Arabis hirsuta* (L.) Scop. ヤマハタザオ 未確 栽  
野生品は1970年代に見られなくなった 1998年に栽培品から埋土種子として生き残ったと見られる実生が旧インセクタリウム付近に数株程度生存していた 今回は未確認 絶滅危惧

*Brassica japonica* Sieb. ミズナ 未確 栽  
1954当時の栽培品 1965年には消滅

*Brassica oleracea* var. *capitata* L. cvar. キャベツ 未確 栽  
1954当時の栽培品 1965年には消滅

*Brassica rapa* L. var. *perviridis* Bailey コマツナ  
1954当時の栽培品 1965年には消滅

*Capsella bursa-pastoris* (L.) Medic. ナズナ 無 普  
陽地に普通

*Cardamine flexuosa* With. タネツケバナ 6446 普  
陽地に普通

*Cardamine lyrata* Bunge ミズタガラシ 未確

1993年にサンショウウオ沢下流出口付近で数10株確認 現在は確認できない

*Cardamine regeliana* Miq. オオバタネツケバナ 6447 普

タネツケバナと同所的に生育し中間型がある

*Lepidium virginicum* L. マメグンバイナズナ 未確 新婦

1990年代まではあったが 今回は確認されていない

*Orychophragmus violaceus* (L.) O.E.Schulz ハナダイコン (オオアラセイトウ) (ショカッサイ)

6449 普 野化 芸婦

1980年代より増加し園内草地に群落を作る

*Rorippa indica* (L.) Hochr. イヌガラシ 6448 普

路傍に極めて普通

*Rorippa islandica* (Oeder) Borlbas スカシタゴボウ 未確

1980年代から確認されていない

#### 114 Platanaceae スズカケノキ科

*Platanus occidentalis* L. アメリカスズカケノキ 未確 栽

1965年に野生化品があったとされるが現在は消失

#### 115 Hamamelidaceae マンサク科

*Hamamelis japonica* Sieb. et Zucc. マンサク 6458 希 栽

1954-1958年に植栽 武蔵野植物園, 樹木園, 旧小鳥の森に計5株

#### 117 Crassulaceae ベンケイソウ科

*Sedum bulbiferum* Makino コモチマンネングサ 未確

1980年代-1990年代には極めて普通に見られたが今回は未確認

#### 119 Saxifragaceae ユキノシタ科

*Astilbe microphylla* Knoll チダケサシ 6456 普

水生植物園を中心に1000株程度

*Astilbe thunbergii* (Sieb. et Zucc.) Miq. アカショウマ 未確 栽

武蔵野植物園に植栽品が1980年代まであったが現在は消失

*Deutzia crenata* Sieb. et Zucc. ウツギ 無 希 栽

野生品?は消失 植栽個体が路傍植物園にのみ1個体

*Deutzia scabra* Thunb. マルバウツギ 6454 希 栽

1954-1958年に植栽 武蔵野植物園, 樹木園, 旧小鳥の森などに10株程度生存

*Hydrangea hirta* (Thunb.) Sieb. コアジサイ 6457 希 栽

植栽品が武蔵野植物園に1株生存

*Hydrangea involucrata* Siebold タマアジサイ 未確

植栽品と思われる株があったとされる 地区不明

*Hydrangea luteo-venosa* Koidz. コガクウツギ 未確 栽

1960年代の植栽品が現業舎脇の仮植地に1個体あったが1970年代に枯死

*Hydrangea macrophylla* (Thunb.) Seringe f. *normalis* (Wilson) Hara ガクアジサイ  
6452 普 野化

植栽品が武蔵野植物園に数株 イモリの池周辺には野生化学品が4株認められる 増加傾向

*Hydrangea macrophylla* (Thunb.) Seringe var. *acuminata* (Sieb. et Zucc.) Makino  
ヤマアジサイ 6451 普 栽

植栽品が樹木園・武蔵野植物園に数株ある 他所にも野生化学品が10株以上見られる 増加傾向

*Hydrangea paniculata* Sieb. ノリウツギ 未確 栽

1954-1958年に植栽したと考えられるものが旧小鳥の森にあったが1970年代に消失

*Hydrangea scandens* (L. fil.) Ser. ガクウツギ 6455 希 栽

植栽品が現業者付近の仮植地に1個体 1970年代には開花していたが最近では開花を見ない

*Hydrangea serrata* (Thunb.) Seringe サワアジサイ 未確

1954年のリストにあるが今回ヤマアジサイに統一

*Ribes fasciculatum* Sieb. et Zucc. ヤブサンザシ 未確 栽

植栽品が1954年のリストにあるが1965年以後未確認

*Saxifraga stolonifera* Meerb. ユキノシタ 未確

植栽品が1954年のリストにあるが1965年以後未確認

*Weigela coraeensis* Thunb. ハコネウツギ 無 希 栽

管理棟周辺に1960年代植栽品が1株

*Weigela hortensis* (Sieb. et Zucc.) K.Koch タニウツギ 6453 希 栽

武蔵野植物園に1960年代の植栽品が1株生存

## 123 Pittosporaceae トベラ科

*Pittosporum tobira* (Thunb.) Aiton トベラ 6450 希 逸

1965年に野生化学品として登録 その後実生は多い 1954-1958年の植栽品の開花個体が樹木園に1株

## 127 Rosaceae バラ科

*Agrimonia japonica* (Miq.) Koidz. キンミズヒキ 6470 6479 普

各植物園や明るい路傍に生存

*Agrimonia nipponica* Koidz. ヒメキンミズヒキ 未確

1974年以後未確認

*Amelanchier asiatica* (Sieb. et Zucc.) Endl. ザイフリボク 無 希 栽

植栽品がガラス室脇に1株生存

*Aruncus dioicus* (Walt.) Fernald var. *tenuifolius* (Nakai) Hara ヤマブキシヨウマ  
6476 希 栽

1960年代の植栽品が武蔵野植物園に数10株生存

*Chaenomeles japonica* (Thunb.) Spach クサボケ 6482 希

武蔵野植物園の野生品は1990年代に消失 東京都原宿付近の野生種がガラス室前に1株生存  
絶滅危惧

*Chaenomeles speciosa* Nakai ボケ 6466 希 栽

1954-1958年の栽培品が武蔵野植物園に1株生存

*Duchesnea chrysantha* (Zoll. et Mor.) Miq. ヘビイチゴ 6487 普

陽地に普通

*Duchesnea indica* (Andr.) Focke ヤブヘビイチゴ 6473 普

明るい林縁に生存

*Eriobotrya japonica* (Thunb.) Lindl. ビワ 6467 希 野化 芸帰

野生化品が1965年のリストにありその後も増加 開花個体はまだ確認されない

*Fragaria ananassa* Duchesne オランダイチゴ 未確 栽

1954当時の栽培品 1965年には消滅

*Geum japonicum* Thunb. ダイコンソウ 6475 普

やや湿った林縁に生存 水生植物園には200株程度 増加傾向

*Kerria japonica* (L.) DC. ヤマブキ 6483 普

各植物園に生存 植物園以外では見られなくなった

*Malus domestica* Borth. セイヨウリンゴ 無 希 栽

1954当時の栽培品 1965年以後未確認 1999年にガラス室前にニュートン由来の小苗を植栽  
*Malus toringo* (Sieb.) Sieb. ex Uriese ズミ 6474 希 栽  
1954年のリストにある株は1965年以後未確認 1960年代に武蔵野植物園に植栽した1株が  
現存

*Pisum arvense* L. アカエンドウ 未確 栽

1954年には栽培品として記録されたが1965年には確認されなくなった

*Potentilla fragarioides* L. var. *major* Maxim. キジムシロ 未確

1974年頃は武蔵野植物園に生存していたが1980年代以後未確認

*Potentilla freyniana* Bornm. ミツバツチグリ 無 希

武蔵野植物園に数10株生存 減少傾向 絶滅危惧

*Potentilla nipponica* Th.Wolf ヒロハノカワラサイコ 未確

1954年のリストにある株は1965年以後未確認

*Potentilla sundaica* (Blume) O.Kuntze var. *robusta* (Franch. et Savat.) Kitagawa

オヘビイチゴ 未確

1954年のリストにある株は1965年以後未確認

*Pourthiaea villosa* (Thunb.) Decne. var. *laevis* (Thunb.) Stapf カマツカ 6478 希 栽

武蔵野植物園・旧小鳥の森に1954-1958年の植栽品が数株生存 次種との区別は明瞭でない

*Pourthiaea villosa* (Thunb.) Decne. var. *zollingeri* (Decne.) Nakai ケカマツカ 無 希

サンショウウオ沢に10株程度生存 絶滅危惧

*Prunus buergeriana* Miq. イヌザクラ 6477 普

- 1954年当時6個体 現在98個体に増加 武蔵野植物園西側の最大木は胸高周囲1.9m  
*Prunus grayana* Maxim. ウワミズザクラ 6480 普
- 1954年当時97個体 その後400個体に増加 遷移に伴う枯死木も多く現在は減少傾向 サンショウウオ沢西斜面の最大木は胸高周囲2.5m  
*Prunus jamasakura* Sieb. ex Koidz. ヤマザクラ 6462 普
- 1954年当時80個体 現在40個体に減少 三叉路付近の最大木は胸高周囲2.6m  
*Prunus jamasakura* Sieb. ex Koidz. f. *pubescens* (Makino) Ohwi ウスゲヤマザクラ 未確  
 今回の調査では確認できなかった 森の小道の大木は2000年に倒伏した
- Prunus lannesiana* (Carr.) Wilson var. *speciosa* (Koidz) Makino オオシマザクラ 6461  
 6486 希
- 水生植物園に1990年代に植栽した個体が2株 1960年代の野生化品が数個体ある  
*Prunus mume* Sieb. et Zucc. ウメ 6465 普 栽
- 1970年代まで館跡に栽培品が11個体あったが枯死 その後1982年に委託業者から購入 水生植物園に1株, 事務所跡地に5株ほど生育 いずれも若木で白淡赤八重花品  
*Prunus pendula* Maxim. f. *ascendens* (Makino) Ohwi エドヒガン 無 希
- 1965年に3個体確認 その後2個体は枯死 サンショウウオ沢下流部に胸高周囲2.01mの大木が生存 絶滅危惧  
*Prunus persica* (L.) Batsch. モモ 未確 栽
- 1965年までは栽培品が生存していたが枯死 1980年代に野生化した開花品がシイ並木に見られたがその後枯死  
*Prunus sargentii* Rehder エゾヤマザクラ (オオヤマザクラ) 6485 希 栽
- 1990年代に水生植物園に2個体植栽  
*Prunus spinulosa* Sieb. et Zucc. リンボク 無 希 栽
- 武蔵野植物園に1個体1960年代の植栽品が生存 開花はまだ確認できない  
*Prunus* × *yedoensis* Matsum. ソメイヨシノ 6488 普 栽
- 植栽品が1954年当時118個体, その後減少傾向 1980年代に水生植物園に4個体, 事務所跡地に4個体植栽 現在84個体生存
- Pyrus pyrifolia* (Burm.fil.) Nakai var. *culta* Nakai ナシ 未確 栽
- 1954年のリストに植栽品が記録 以後は見られない  
*Rhaphiolepis umbellata* (Thunb.) Makino var. *integerrima* (Hooker et Arnott) Rehd.  
 マルバノシャリンバイ 未確
- 林内に実生苗をよく見る 開花個体は未確認
- Rosa luciae* Franch. et Rochebr. アズマイバラ 6472 希
- 武蔵野植物園付近を中心に数10株 従来次種と混同されていた
- Rosa multiflora* Thunb. ノイバラ 6468 普
- 水生植物園付近に数株 教研跡地に数株
- Rubus hirsutus* Thunb. クサイチゴ 6464 普
- 陽地に普通 越冬個体も見られるようになった 増加傾向



*Rubus medius* O.Kuntze ヒメカジイチゴ 6481 希

武蔵野植物園のみに数株生存 減少傾向 絶滅危惧

*Rubus microphyllus* L.f. ニガイイチゴ 未確

陽地の開墾地などに1980年代は普通に見られたが今回は未確認

*Rubus palmatus* Thunb. var. *coptophyllus* (A.Gray) Koidz. モミジイチゴ 6463 普

明るい林縁に普通 減少傾向

*Rubus parvifolius* L. ナワシロイチゴ 無 普

落葉樹林下に多い 増加傾向

*Rubus trifidus* Thunb. カジイチゴ 未確

1990年代には教研跡地などに多数あったが森林化にともない減少 今回は確認できず 園外には見られる

*Sanguisorba officinalis* L. ワレモコウ 6471 普

水生植物園・武蔵野植物園に生育

*Sanguisorba officinalis* L. var. *alba* Trautvar. et Mey. ナガボノシロワレモコウ 6469

普 栽

1970年代に植栽 水生植物園に200株程度 増加傾向

*Spiraea japonica* L.f. シモツケ 未確

植栽品があったが1965年以後未確認

*Spiraea thunbergii* Siebold ユキヤナギ 6460 希 栽

1980年代に確認できなくなった 委託業者からの購入個体が管理棟付近に1株生存

*Stephanandra incisa* (Thunb.) Zabel コゴメウツギ 6484 希 栽

1954-1958年に武蔵野・路傍植物園に植栽

### 131 Leguminosae マメ科

*Albizia julibrissin* Durazz. ネムノキ 6506 普

現在開花は5個体

*Amphicarpaea bracteata* (L.) Fernald ssp. *edgeworthii* (Benth.) Ohashi var. *japonica* (Oliver) ヤブマメ 6495 普

水生植物園を中心に多数 ツルマメより多かったが減少傾向

*Astragalus sinicus* L. ゲンゲ 未確 栽 旧婦

植栽品があったが1965年には消滅

*Caesalpinia decapetala* (Roth.) Alst. var. *japonica* (Sieb. et Zucc.) Ohashi ジャケツイバラ 6501 希 栽

1960年代に武蔵野植物園に1個体植栽 実生も見られる

*Cassia mimosoides* L. ssp. *nomame* (Sieb.) Ohashi カワラケツメイ 未確 栽

自然個体が見られたが、1970年代に消滅 その後植栽した個体が1990年代に武蔵野植物園で見られたが今回は未確認

*Crotalaria sessiliflora* L. タヌキマメ 未確

野生化品が1965年のリストにあったが1970年代に消滅 現在茨城県笠間市産の野生品をガラス室で育苗中

*Desmodium oldhamii* Oliver フジカンゾウ 未確 栽

1980年代に高尾山産の個体を植栽したが現在は消失

*Desmodium podocarpium* DC. ssp. *oxyphyllum* (DC.) Ohashi ヌスビトハギ 6499 普  
路傍植物園を中心に普通に見られる

*Desmodium podocarpium* DC. ssp. *oxyphyllum* (DC.) Ohashi var. *mandshuricum* Maxim.  
ヤブハギ 6489 希

武蔵野植物園を中心に数株見られる 全形は前種と異なるが葉裏の毛の状態は同様である

*Dumasia truncata* Sieb. et Zucc. ノササゲ 未確

1965年のリストにはあがが1980年代のは見られなくなった

*Gleditsia japonica* Miq. サイカチ 未確 野化 芸婦

1965年には逸出品が西便所付近にあったとされるが1974年以後は確認されていない

*Glycine max* (L.) Merr. ssp. *soja* (Sieb. et Zucc.) Ohashi ツルマメ 6492 普  
水生植物園を中心に多数 増加傾向 ヤブマメよりはるかに多くなる

*Indigofera pseudotinctoria* Matsum. コマツナギ 未確

1970年代までは武蔵野植物園に見られたが数が減り1990年代には消滅

*Kummerowia stipulacea* (Maxim.) Makino マルバヤハズソウ 未確

1970年代までに消滅

*Kummerowia striata* (Thunb.) Schindler ヤハズソウ 未確

1970年代までは武蔵野植物園に見られたが数が減り1990年代には消滅

*Lathyrus quinquenervius* (Miq.) Litw. レンリソウ 未確 栽

野生品は1970年代に見られなくなった 栽培品が武蔵野植物園に生存したが1990年代に消失

*Lespedeza bicolor* Turcz. ヤマハギ 6497 希 栽

野生品は1970年代に見られなくなった 武蔵野植物園と水生植物園のみに数株ずつ生存 減少傾向

*Lespedeza cuneata* (Du Mont.d.Cours.) G.Don メドハギ 6496 希

武蔵野植物園に1株のみ生存 減少傾向 絶滅危惧

*Lespedeza cuneata* (Du Mont.d.Cours.) G.Don var. *serpens* (Nakai) Ohwi ハイメドハギ  
未確

1965年には確認されなくなった

*Lespedeza cyrtobotrya* Miq. マルバハギ 未確 栽

野生品・栽培品ともに1965年には確認されなくなった

*Lespedeza pilosa* (Thunb.) Sieb. et Zucc. ネコハギ 未確

1990年代初めまでは武蔵野植物園に見られたが今回は未確認

*Lespedeza virgata* (Thunb.) DC. マキエハギ 未確

1970年代には確認されなくなる

*Lotus corniculatus* L. var. *japonicus* Regel ミヤコグサ 未確

- 1970年代には武蔵野植物園周辺にわずかにあったがその後確認されなくなる  
*Maackia amurensis* Rupr. et Maxim. var. *buergeri* (Maxim.) C.K.Schn. イヌエンジュ  
 未確
- 1983年に館跡周辺に2個体あったがその後枯死  
*Melilotus alba* Medic. シロバナシナガワハギ 未確 新帰
- 1965年には確認されなくなった  
*Melilotus officinalis* (L.) Pall. シナガワハギ 未確 新帰
- 1965年には確認されなくなった  
*Millettia japonica* (Sieb. et Zucc.) A.Gray ナツフジ 6507 希
- 1994年に三叉路のキハダ伐採後のギャップに開花個体が数株記録される 都内では新記録と考えられる
- Mimosa pudica* L. オジギソウ 未確 逸 芸帰
- 1980年代に栽培品の逸出が見られたが1年後には確認されなくなった  
*Phaseolus vulgaris* L. インゲンマメ 未確 栽
- 1954年には栽培品として記録されたが1965年には確認されなくなった  
*Pisum sativum* L. エンドウ 未確 栽
- 1954年には栽培品として記録されたが1965年には確認されなくなった  
*Pueraria lobata* (Willd.) Ohwi クズ 6498 普
- 1970年代には胸高周囲0.3mを越す個体も多数あったが 現在は大株は見られない  
*Rhynchosia acuminatifolia* Makino トキリマメ 6505 希  
 武蔵野植物園周辺に少数 今回新記録
- Rhynchosia acuminatifolia* Makino オオバタンキリマメ (トキリマメ) 希  
 オオバタンキリマメに酷似するが葉に腺点がない 幼植物未開花株
- Robinia pseudoacacia* L. ハリエンジュ (ニセアカシア) 6503 普 野化 芸帰  
 館跡周辺に10個体生存 減少傾向
- Sophora flavescens* Ait. クララ 6491 希栽  
 野生品は1970年代に見られなくなる 植栽品がインセクトリウム食草展示場に1株生存 絶滅危惧
- Trifolium pratense* L. アカツメクサ 6494 普 新帰  
 管理棟周辺に100株程度 減少傾向
- Trifolium repens* L. シロツメクサ 6502 普 新帰  
 管理棟・インセクトリウム周辺に普通に見られる
- Vicia amoena* Fisch. ツルフジバカマ 未確  
 1965年以後未確認
- Vicia angustifolia* L. var. *minor* (Bertol.) Ohwi ホソバヤハズエンドウ 未確 新帰  
 1965年以後未確認
- Vicia cracca* L. クサフジ 6504 普  
 水生植物園に数100株生存

*Vicia faba* L. ソラマメ 未確 栽

1954年には栽培品として記録されたが1965年には確認されなくなった

*Vicia hirsuta* (L.) S.F.Gray スズメノエンドウ 未確

1970年代までに未確認となる

*Vicia sepium* L. カラスノエンドウ 6493 普

管理棟・インセクトarium周辺で普通に見られる

*Vicia tetrasperma* (L.) Schreb. カスマグサ 未確

1970年代までに未確認となる

*Vicia unijuga* A.Br. ナンテンハギ 6500 希

各植物園数株生存 絶滅危惧

*Wisteria floribunda* (Willd.) DC. フジ 6490 普

園内に普通 胸高周囲0.3m以上の大株は1個体

### 136 Oxalidaceae カタバミ科

*Oxalis corniculata* L. カタバミ 6512 普

管理棟・インセクトarium周辺で普通に見られる

*Oxalis corniculata* L. f. *rubrifolia* Hara アカカタバミ 未確

1980年代には教育管理棟の道路際に少数見られたが今回は未確認

*Oxalis corniculata* L. f. *tropaeoroides* (Schlacht.) R.Knuth ウスアカカタバミ 6513 希

管理棟周辺に数株程度 減少傾向

*Oxalis corymbosa* DC. ムラサキカタバミ 6514 希 芸帰

管理棟周辺に数株程度 減少傾向

*Oxalis griffithii* Edgew. et Hook.fil. ミヤマカタバミ 未確

1954年には野生化品が水鳥の沼付近に群落を作っていたとされるが1965年以後未確認

*Oxalis purpurea* Jacq. var. *bowiei* Soland. ハナカタバミ 未確 逸 芸帰

1965年以後未確認

### 137 Geraniaceae フウロソウ科

*Geranium carolinianum* L. アメリカフウロ 6515 普 新帰

1990年代に管理棟前庭に出現 数100株前後

*Geranium krameri* Franch. et Savat. タチフウロ 未確 栽

1982年に委託業者から購入 その後消滅

*Geranium thunbergii* Sieb. et Zucc. ゲンノショウコ 6511 普

陽地に普通 減少傾向

*Geranium thunbergii* Sieb. et Zucc. f. *roseum* Murata ベニバナゲンノショウコ 6515 普

前種の関西型といわれるが1990年代から管理棟周辺のみ出現 数100株

## 140 Linaceae アマ科

*Linum virginianum* L. キバナノマツバニンジン 未確 新帰  
1970年代に消滅

## 142 Euphorbiaceae トウダイグサ科

*Acalypha australis* L. エノキグサ 6588 普

管理棟・インセクタリウム周辺に普通に見られる

*Acalypha australis* L. var. *velutina* Honda ビロードエノキグサ 未確

1980年代以後未確認

*Euphorbia adenochlora* Morren et Dence. ノウルシ 6590 希 栽

水生植物園に1954-1958年の栽培品が野生化 10株程度生存 減少傾向 絶滅危惧 VU

*Euphorbia maculata* L. オオニシキソウ 未確 新帰

1970年代以後は未確認

*Euphorbia pekinensis* Rupr. タカトウダイ 6587 普

各植物園や明るい路傍に生存

*Euphorbia pseudochamaesyce* Fisch., Mey. et Lallem. ニシキソウ 未確

1980年代以後は未確認

*Euphorbia sieboldiana* Morr. et Decne. ナットウダイ 未確

1965年以後未確認

*Euphorbia supina* Rafin. コニシキソウ 6589 普 新帰

管理棟・インセクタリウム周辺に普通に見られる

*Mallotus japonicus* (Thunb.) Muell.-Arg. アカメガシワ 6584 普

1983年の135個体を最高に 現在58個体と減少

*Mercurialis leiocarpa* Sieb. et Zucc. ヤマアイ 未確 栽

野生状態の株は1965年までに未確認となる 1990年代に路傍植物園の栽培品も消滅

*Phyllanthus matsumurae* Hayata ヒメミカンソウ 未確

1980年代以後未確認

*Phyllanthus urinaria* L. コミカンソウ 未確

管理棟周辺に1990年代までは確認されたが今回は未確認 自然教育園周辺にはやや普通に見られる

*Ricinus communis* L. トウゴマ 未確 栽 芸帰

1954年に栽培品と記録されるが1965年以後未確認

*Sapium japonicum* (Sieb. et Zucc.) Pax シラキ 未確 栽

1960年代の植栽品と見られる個体が武蔵野植物園に1個体あったが1980年代に枯死

*Securinega suffruticosa* (Pall.) Rehd. var. *japonica* (Muell.-Arg.) Hurusawa ヒトツバハギ 6591 希

武蔵野植物園から旧小鳥の森に数株 減少傾向 絶滅危惧

143 Daphniphyllaceae ユズリハ科

*Daphniphyllum macropodum* Miq. ユズリハ 6585 普 栽

1954-1958年の植栽品と見られる個体が樹木園周辺に9個体 実生も林内に見られる 増加傾向

*Daphniphyllum macropodum* Miq. f. *viridipes* (Nakai) Ohwi アオジクユズリハ 6586 希  
前種に含まれていたが今回新品種として登録

144 Rutaceae ミカン科

*Boeninghausenia japonica* Nakai マツカゼソウ 6510 普 野化

1954-1958年の植栽品と見られ路傍・武蔵野植物園に各数100個体ある 増加傾向

*Citrus junos* Sieb. ユズ 6527 希 逸

1954年に栽培品あり その後枯死 今回シイ並木で野生化品の幼植物確認

*Orixa japonica* Thunb. コクサギ 6517 普 野化

1954年にあった野生品は1965年までに未確認となる インセクタリウム食草展示場に植栽したものがその後野生化し、周辺に見られるようになった イモリの池周辺にも野生化品が多い

*Phellodendron amurense* Rupr. キハダ 6509 普 野化

都内に植栽された母樹から鳥散布により1983年には143個体まで増加したが 現在20個体と激減 土壌病原性の *Cylindrocladium colhounii* Peeraly による被害と見られる (Watanabe 他, 1995) 実生は罹病しない 関東平地部のキハダは同様の現象 絶滅した場所も多い

*Poncirus trifoliata* Rafine. カラタチ 6508 希 栽

インセクタリウムの食草展示場に数株生育

*Skimmia japonica* Thunb. f. *rugosa* (Yatabe) Ohwi ウチダシヤマシキミ 6518 未確  
栽

現業舎付近の仮植地に植栽品が生存

*Zanthoxylum ailanthoides* Sieb. et Zucc. カラスザンショウ 6520 希 野化

1950年代の植栽品が事務所跡地に1個体 野生逸出品が7個体 増加傾向

*Zanthoxylum piperitum* (L.) DC. サンショウ 6519 普

サンショウウオ沢周辺に数個体 インセクタリウム食草展示場にも1個体 減少傾向

*Zanthoxylum schinifolium* Sieb. et Zucc. イヌザンショウ 未確

1980年代まで中央飛地に1個体生育していたがその後枯死

146 Simaroubaceae ニガキ科

*Ailanthus altissima* Swingle ニワウルシ 6582 希 野化 芸婦

1965年のリストに野生化品として記録され胸高周囲1.4mに成長 他にも1個体生育 自然教育園周辺でも野生化品が目立つようになった

*Picrasma quassioides* (D. Don) Benn. ニガキ 6583 普

湿地周辺に13個体 最大胸高周囲は1.3m 減少傾向

## 149 Meliaceae センダン科

*Melia azedarach* L. センダン 6607 希 逸  
中央飛地で実生個体を確認 園内他所でも実生あり

## 157 Anacardiaceae ウルシ科

*Rhus javanica* L. var. *roxburgii* (DC.) Rehd. et Wils. ヌルデ 6568 希  
1983年には34個体あったが中央飛地の純林状群落が遷移に伴い枯死 現在6個体 減少傾向

*Rhus succedanea* L. ハゼノキ 6569 普 芸婦  
林縁に16個体生存

*Rhus sylvestris* Sieb. et Zucc. ヤマハゼ 未確  
1954年・1965年のリストにあるが1974年以後は確認されていない 前種と誤認の可能性がある

*Rhus trichocarpa* Miq. ヤマウルシ 未確  
1974年以後は確認されていない

*Rhus verniciflua* Stokes ウルシ 未確 栽  
1954-1958年の植栽品が樹木園にあったが1999年に周辺木の被陰により根上がり枯死

## 158 Aceraceae カエデ科

*Acer amoenum* Carr. オオモミジ 6861 普  
サンショウウオ沢上流東斜面に胸高周囲1.1mの個体が最大 他に若木が湿地斜面下部12個体見られるが園芸種らしいものも含まれる

*Acer buergerianum* Miq. トウカエデ 6557 希 栽  
1954年以前に植栽された1個体があずま屋脇に生存

*Acer carpinifolium* Sieb. et Zucc. チドリノキ 6559 希 栽  
1954-1958年の植栽品が樹木園と武蔵野植物園に各1個体生存 樹木園は開花個体

*Acer cissifolium* (Sieb. et Zucc.) K.Koch ミツデカエデ 6561 普 栽  
1927年の濱島のリストにもある当時の植栽品と思える個体がひょうたん池周辺に17個体あったが現在は15個体生存 いずれの個体も衰弱が激しい

*Acer crataegifolium* Sieb. et Zucc. ウリカエデ 無 希 栽  
1954-1958年の植栽品が樹木園と武蔵野植物園に各1個体生存

*Acer diabolicum* Blume ex K.Koch カジカエデ 6558 希 栽  
1960年代の植栽品と思える幼個体が管理棟裏に1個体生存

*Acer mono* Maxim. f. *connivens* (Nichols.) Rehd. ウラゲエンコウカエデ 6556 希  
胸高周囲1.8mの野生品と思われる個体がサンショウウオ沢東斜面に1個体 他は同沢西斜面に1個体生存 武蔵野植物園にも植栽品が2個体生存

*Acer mono* Maxim. var. *ambiguum* (Pax) Rehd. オニイタヤ 6560 希 栽  
北門付近と管理棟裏に植栽品と思われる開花個体がある シイ並木東斜面にも1個体あるが野生化品の可能性もある

*Acer palmatum* Thunb. イロハモミジ 6562 普

1954年には47個体だったが現在は439個体と急増中である 近年の暖冬化により、開葉から落葉までの生育期間が長くなったためであろう

*Acer rufinerve* Sieb. et Zucc. ウリハダカエデ 未確 栽

1954-1958年の植栽品が樹木園と武蔵野植物園にあったが枯死

#### 160 Sapindaceae ムクロジ科

*Sapindus mukorossi* Gaertn. ムクロジ 6555 普 野化 芸帰

1954年には植栽品があったがその後野生化し33個体に増加 水鳥の沼にある最大木の胸高周囲は1.7m

#### 160 Hippocastanaceae トチノキ科

*Aesculus turbinata* Blume トチノキ 未確 栽

現業舎付近の仮植地に1960年代植栽の幼木があったが枯死

#### 162 Sabiaceae アワブキ科

*Meliosma myriantha* Sieb. et Zucc. アワブキ 6564 希 栽

野生品は1980年代に館跡の1個体の枯死を最後に未確認 武蔵野植物園とインセクタリウム脇に植栽された開花個体が各1個体ずつある

*Meliosma tenuis* Maxim. ミヤマハハソ 未確 栽

旧小鳥の森に植栽品があったが1980年代に枯死

#### 165 Balsaminaceae ツリフネソウ科

*Impatiens noli-tangere* L. キツリフネ 未確

現業舎周辺に1980年代から1990年代に時々見られた 今回は未確認

*Impatiens textori* Miq. ツリフネソウ 6563 普

水生植物園・中央湿地・サンショウウオ沢下流部に大群落が見られる 増加傾向

#### 169 Aquifoliaceae モチノキ科

*Ilex crenata* Thunb. イヌツゲ 6580 普

胸高周囲0.3m以上の個体は1954年にはなかったが現在は19個体と増加

*Ilex integra* Thunb. モチノキ 6579 普

1954年には30個体だったが現在は主に土塁上に91個体と増加 最大木は館跡付近の胸高周囲1.3m

*Ilex latifolia* Thunb. タラヨウ 未確 栽

植栽品があったが1970年代に枯死 園内では実生の逸出あり 野生化までは認められない

*Ilex rotunda* Thunb. クロガネモチ 6570 希 逸

今回初めて確認された 近隣の人家からの逸出品と考えられる



*Ilex serrata* Thunb. ウメモドキ 6581 希 栽

1954年のリストにある植栽個体は未確認 樹木園に1954-1958年に植栽した個体が1株  
その後1990年代に委託業者から購入した個体が三叉路に2株生存

*Ilex serrata* Thunb. f. *argutidens* (Miq.) Kurata イヌウメモドキ 未確

1960年代にサンショウウオ沢に野生品があったとされるがその後は未確認

## 172 Celastraceae ニシキギ科

*Celastrus orbiculatus* Thunb. ツルウメモドキ 6571 普

林縁や二次林に多かったが減少傾向 実生は多い 武蔵野植物園に雌の大株がある

*Euonymus alatus* (Thunb.) Sieb. ニシキギ 6574 希

マツ林下などに多くあったが現在は開花個体は樹木園の雄株のみ 絶滅危惧

*Euonymus alatus* (Thunb.) Sieb. f. *ciliato-dentatus* (Franch. et Savat.) Hiyama コマユミ 6572 希

前種同様に減少 現在は武蔵野植物園に1株生存する 絶滅危惧

*Euonymus fortunei* (Turcz.) Hand.-Mazz. var. *radicans* (Sieb. ex Miq.) Rehd. ツルマサキ 未確

植栽品と思われる個体が1954年のリストにあるが1965年以後は未確認

*Euonymus japonicus* Thunb. マサキ 未確

1980年代に管理棟付近に植栽品があったが伐採

*Euonymus oxyphyllus* Miq. ツリバナ 6575 希 栽

1954-1958年の植栽品が武蔵野植物園に1株生存したが2001年に枯死

*Euonymus sieboldianus* Blume マユミ 6575 希 栽

本種は、葉裏脈上に乳頭状突起が多いために、今回すべて次変種に同定した

*Euonymus sieboldianus* Blume var. *sanguineus* Nakai カントウマユミ 6573 6576 普  
胸高周囲0.3m以上の個体は8個体 減少傾向

*Microtropis japonica* (Franch. et Savat.) H.Hall モクレイシ 6577 6578 希 栽

1960年代に神奈川県高麗山より移植 雌2株雄3株 周辺に実生苗が生育している

## 173 Staphyleaceae ミツバウツギ科

*Euscaphis japonica* (Thunb.) Kanitz ゴンズイ 6565 希

水生植物園に2株のみ 減少傾向

*Staphylea bumalda* (Thunb.) DC. ミツバウツギ 6566 希 栽

1954-1958年の植栽品が旧小鳥の森付近に10株程度野生化

## 177 Buxaceae ツゲ科

*Buxus microphylla* Sieb. et Zucc. var. *japonica* (Muell. Arg.) Rehd. ツゲ 未確

1970年代植栽と思われる個体が現業舎付近の仮植地にあったが消失

*Pachysandra terminalis* Sieb. et Zucc. フッキソウ 6567 普 野化

1954年のリストに植栽品と記されているが、その後野生化品がサンショウウオ沢などに急増し大群落が見られる

180 Rhamnaceae クロウメモドキ科

*Berberia racemosa* Sieb. et Zucc. クマヤナギ 未確

武蔵野植物園に大株があったが1980年代に枯死 実生は見られる 絶滅危惧

*Hovenia dulcis* Thunb. ケンボナシ 6545 普

1954年当時より半数枯死したが進出木もあり現在10個体 胸高周囲が2.7mの大木が森の小道に生存

*Rhamnella franguloides* (Maxim.) Weberb. ネコノチチ 6546 希 栽

1960年代の植栽と思われる個体がインセクタリウム食草展示場に1個体

*Rhamnus davurica* Pall. var. *nipponica* Makino クロツバラ 未確 栽

1954-1958年の植栽と思われる個体がインセクタリウム食草展示場に2個体あったが1980年代に枯死

181 Vitaceae ブドウ科

*Ampelopsis glandulosa* (Wall.) Momiyama var. *heterophylla* (Thunb.) Momiyama ノブドウ 6548 普

日当たりのよい林縁に普通だが減少傾向

*Cayratia japonica* (Thunb.) Gagn. ヤブガラシ 6550 普

各植物園に普通だが減少傾向

*Parthenocissus tricuspidata* (Sieb. et Zucc.) Planch. ツタ 6544 普

マツ林に極めて多かったが減少傾向

*Vitis ficifolia* Bunge var. *lobata* (Regel) Nakai エビヅル 6549 希

水生植物園に数株生存

185 Tiliaceae シナノキ科

*Corchoropsis tomentosa* (Thunb.) Makino カラスノゴマ 6551 普

路傍植物園・武蔵野植物園周辺に普通

188 Stercuriaceae アオギリ科

*Firmiana simplex* (L.) W.F.Wight アオギリ 6538 希 逸 芸帰

南飛地・教研跡地に開花個体あり

*Firmiana simplex* (L.) W.F.Wight f. ケナシアオギリ 6547 希 芸帰

アオギリに含めるが、本品種は本来静岡県以南の沿岸地に生育するタイプである

193 Thymeraeaceae ジンチョウゲ科

*Daphne pseudo-mezereum* A.Gray オニシバリ 未確 栽

1960年代植栽と思われる個体が現業舎付近の仮植地にあったが1990年代に消失  
*Diplomorpha ganpi* (Sieb. et Zucc.) Nakai コガンピ 未確 栽

1960年代植栽と思われる個体が現業舎付近の仮植地にあったが1990年代に消失

#### 194 Elaeagnaceae グミ科

*Elaeagnus glabra* Thunb. ツルグミ 6523 希

武蔵野植物園周辺に数株生存 絶滅危惧

*Elaeagnus multiflora* Thunb. var. *crispa* (Maxim.) Servett. ナツグミ 6526 希 栽

1954-1958年の植栽品が武蔵野植物園・旧小鳥の森に数株

*Elaeagnus multiflora* Thunb. var. *hortensis* (Maxim.) Serv. トウグミ 6525 希 野化  
 芸婦

1954-1958年の植栽と思われる個体が路傍植物園に1株生存

*Elaeagnus pungens* Thunb. ナワシログミ 6524 普

林下に普通

*Elaeagnus umbellata* Thunb. アキグミ 未確

植栽品が武蔵野植物園に1980年代まであったが枯死

#### 195 Flacourtiaceae イイギリ科

*Idesia polycarpa* Maxim. イイギリ 6522 普

1954年に30個体 以後伐採跡地やシイ老齢林に急激に増加し現在391個体

#### 197 Violaceae スミレ科

*Viola bissetii* Maxim. ナガバノスミレサイシン 未確 栽

1980年代に武蔵野植物園に植栽 1990年代に消失

*Viola eizanensis* (Makino) Makino エイザンスミレ 未確 栽

茨城県産個体をガラス室内で育苗

*Viola grypoceras* A.Gray タチツボスミレ 6535 普

林縁に極めて普通 減少傾向

*Viola hondoensis* W.Becker et H.Boiss. アオイスミレ 6533 普

林縁に普通 減少傾向 絶滅危惧

*Viola japonica* Langsd. コスミレ 未確 栽

野生品は1970年代に確認されなくなる 白金台産の個体をガラス室で育苗

*Viola keiskei* Miquel マルバスミレ 未確

1965年以後未確認

*Viola keiskei* Miquel f. *okuboi* (Makino) F.Maek. ケマルバスミレ 6536 希

武蔵野植物園周辺に普通 減少傾向

*Viola mandshurica* W.Beck. スミレ 未確

現業舎・武蔵野植物園百葉箱周辺に1990年代までは多数見られたが今回は未確認 減少傾向

*Viola mandshurica* W.Beck. f. *glabra* Hiyama ケナシスミレ 未確

1965年以後未確認

*Viola mandshurica* W.Beck. f. *hasegawae* Hiyama シロガネスミレ 未確

1970年代以後未確認

*Viola minor* (Makino) Makino ヒメスミレ 未確

1965年以後未確認

*Viola obtusa* (Makino) Makino ニオイタチツボスミレ 未確

1970年代以後未確認

*Viola papilionacea* Pursh パピリオスミレ 6537 普 野化 芸帰

1987年に園内各所で開花個体を確認 現在は現業舎周辺に100株程度生存 スノー・プリンセスやフレックスタイプが多かったが現在は濃紫色のみ 園外では1970年代はニオイスミレが多かったが最近はすべて本種に入れ替わっている

*Viola phalacrocarpa* Maxim. アカネスミレ 未確

1965年以後未確認

*Viola verecunda* A.Gray ツボスミレ 6534 普

湿地に大群落を作る

*Viola violacea* Makino シハイスミレ 未確 栽

1980年代武蔵野植物園に植栽 その後消失

*Viola yedoensis* Makino ノジスミレ 未確

1965年以後未確認

*Viola yezoensis* Maxim. ヒカゲスミレ 未確 栽

1982年に武蔵野植物園に委託業者により植栽 その後1990年代に消失

## 198 Stachyuraceae キブシ科

*Stachyurus praecox* Sieb. et Zucc. キブシ 6521 普

林縁に普通 減少傾向

## 215 Cucurbitaceae ウリ科

*Cucurbita pepo* L. セイヨウカボチャ 未確 栽 芸帰

1954年に栽培品として登録 1965年以後未確認

*Gynostemma pentaphyllum* (Thunb.) Makino アマチャヅル 6783 希

やや湿った林内に普通 開花個体は少ない

*Lagenaria siceraria* Standl. var. *gourda* Hara ヒョウタン 未確 栽

1980年代に教研跡地に開花 その後未確認

*Melothria japonica* (Thunb.) Maxim. スズメウリ 未確

武蔵野植物園に見られたが1990年代以後は未確認

*Trichosanthes cucumeroides* (Ser.) Maxim. カラスウリ 6784 普

林縁に普通

*Trichosanthes kirilowii* Maxim. var. *japonica* (Miq.) Kitamura キカラスウリ 6785 希  
 明るい林縁・高速道路や塀沿いに近年増加している

## 216 Lythraceae ミソハギ科

*Lythrum anceps* (Koehne) Makino ミソハギ 6528 普  
 水生植物園に数100株

## 227 Onagraceae アカバナ科

*Circaea mollis* Sieb. et Zucc. ミズタマソウ 6529 普  
 各植物園に普通 増加傾向

*Epilobium pyrricholophum* Franch. et Savat. アカバナ 6606 未確

1974以降未確認であったが1979年に中央湿地に1個体出現 その後希に出現 埋土種子起源と推定される 今回は未確認

*Ludwigia epilobioides* Maxim. チョウジタデ 未登 希

1954年のリストにあるが1965年以後1999年まで未確認 2000年に水生植物園に再び数株出現 絶滅危惧

*Ludwigia stipulacea* (Ohwi) Ohwi ミズキンバイ 未確 栽

1982年に委託業者から購入したが その後消失

*Oenothera biennis* L. アレチマツヨイグサ (メマツヨイグサ) 無 希 新婦

管理棟周辺に数10株生存 減少傾向

*Oenothera speciosa* Nutt. ヒルザキツキミソウ 6530 希 新婦

園内でははじめて1996年に管理棟脇に数10株出現

## 229 Haloragaceae アリノトウグサ科

*Haloragis micrantha* (Thunb.) R.Br. アリノトウグサ 未確

1965年以後未確認

## 236 Cornaceae ミズキ科

*Aucuba japonica* Thunb. アオキ 6608 6609 普

1950年代に実生が急増したと考えられ、林下の低木層の50%以上の被度を持つこともあったが、1990年代から原因不明の病気で枯死する個体が急増している

*Benthamidia japonica* Hara ヤマボウシ 6614 希 栽

1954-1958年の植栽品が武蔵野植物園に1個体 1980年代委託業者から購入した個体が現業舎・樹木園に数株生存

*Cornus controversa* Hemsley ミズキ 6610 6613 普

1954年は448個体、その後1950年代に急増し1400個体となったが 現在は1369個体と減少し枯死木が目立つようになる 最大木はサンショウウオ上流の胸高周囲2.3m

*Cornus macrophylla* Wall. クマノミズキ 6612 希

実生は多いが開花個体は管理棟周辺と武蔵野植物園に各1個体  
*Helwingia japonica* (Thunb.) F.G.Dietr. ハナイカダ 無 希 栽  
 1954-1958年の植栽品が樹木園に数株生存 絶滅危惧

238 Araliaceae ウコギ科

*Acanthopanax nipponicus* Makino オカウコギ 未確

1980年代まで武蔵野周辺・旧小鳥の森に数株あったが枯死

*Acanthopanax spinosus* (L.f.) Miq. ヤマウコギ (ウコギ) 未確

1980年代まで三叉路に1株あったが枯死

*Aralia cordata* Thunb. ウド 6618 希 栽

野生品は1970年代に消失 路傍植物園に多摩産の植栽品が1株 教研跡地に野生化品が数株生存

*Aralia elata* (Miq.) Seemann タラノキ 無 希

湿地周辺に10株程度 減少傾向

*Aralia elata* (Miq.) Seemann var. *subinermis* Ohwi メダラ 未確

実験畑跡に大株があったが1983年に枯死 今回は未確認

*Dendropanax trifidus* (Thunb.) Makino カクレミノ 6615 希 逸

1954年の記録は植栽品と思われる 1954-1958年の植栽個体が樹木園にあり最近開花を始める 林内には他に未開花個体が5個体あり増加傾向

*Fatsia japonica* (Thunb.) Decne. et Planch. ヤツデ 6619 普

1954年の記録はすべて植栽品 1960年代より野生化品の増加が顕著で林縁林内に普通に見られるようになった

*Hedera rhombea* (Miq.) Bean キツタ 6616 普

林内に普通に見られる 増加傾向

*Kalopanax pictus* (Thunb.) Nakai ハリギリ 6617 希 栽

1954-1958年の植栽品が武蔵野植物園に1個体生存

*Panax japonicus* C.A.Meyer トチバニンジン 未確 栽

1982年に委託業者から購入その後消失

239 Umbelliferae セリ科

*Angelica decursiva* (Miq.) Franch. et Savat. ノダケ 6630 普

水生植物園に数10株生存

*Angelica decursiva* (Miq.) Franch. et Savat. f. *albiflora* (Maxim.) Nakai シロバナノダケ 6621 希

水生植物園に数株生存

*Bupleurum scorzoneraefolium* Willd. var. *stenophyllum* Nakai ミシマサイコ 未確 栽

現業舎周辺の仮植地にあったが1980年代に消失 V U

*Chamaele decumbens* (Thunb.) Makino セントウソウ 6628 普 栽

1954年記録の野生品は消失 その後1954-1958年の植栽品が路傍植物園に生存

*Cryptotaenia japonica* Hassk. ミツバ 6627 普  
園路に普通

*Daucus carota* L. var. *sativa* DC. ニンジン 未確 栽

1954年の記録は栽培品

*Hydrocotyle maritima* Honda ノチドメ 未登 普  
管理棟周辺のシバ草地に普通

*Hydrocotyle ramiflora* Maxim. オオチドメ 未確  
1980年代以後未確認

*Hydrocotyle sibthorpioides* Ram. チドメグサ 6622 希  
管理棟北側の日陰に生存 減少傾向

*Oenanthe javanica* (Blume) DC. セリ 無 普  
事務所跡地の湿った場所に少数 減少傾向

*Osmorhiza aristata* (Thunb.) Rydberg ヤブニンジン 6629 普  
路傍植物園・武蔵野植物園周辺に普通 減少傾向

*Sanicula chinensis* Bunge ウマノミツバ 6626 希  
武蔵野植物園周辺に生存 他所では見られない 絶滅危惧

*Torilis japonica* (Houtt.) DC. ヤブジラミ 未確  
1980年代以後は確認されていない

*Torilis scabra* (Thunb.) DC. オヤブジラミ 未登 希  
武蔵野植物園に希に出現 絶滅危惧

#### 241 Clethraceae リョウブ科

*Clethra barbinervis* Sieb. et Zucc. リョウブ 6631 希 栽

野生化品? は1965年までに枯死 1954-1958年の植栽品が武蔵野植物園に1個体生存

#### 242 Pyloraceae イチヤクソウ科

*Pyrola japonica* Klenze イチヤクソウ 無 希

管理棟脇のタブノキの根元に1株のみ 2001年には未確認 絶滅危惧

#### 243 Ericaceae ツツジ科

*Lyonia ovalifolia* (Wall.) Drude var. *elliptica* (Sieb. et Zucc.) Hand.-Mazz. ネジキ 6634  
希 栽

1954-1958年の植栽品が武蔵野植物園に1株生存

*Pieris japonica* (Thunb.) D.Don アセビ 6636 希 栽

1954-1958年の植栽品がひょうたん池・武蔵野植物園などに生存

*Rhododendron brachycarpum* D.Don ハクサンシャクナゲ 未確 栽  
現業舎周辺の仮植地にあったが1980年代に枯死

- Rhododendron dilatatum* Miquel ミツバツツジ 6640 希 栽  
1954-1958年と1980年代の植栽品が武蔵野・路傍植物園に数株生存
- Rhododendron indicum* Sweet サツキ 無 普 栽  
管理棟周辺に1980年代の植栽品が数10株
- Rhododendron macrosepalum* Maxim. モチツツジ 無 希 栽  
管理棟周辺に1960年代の植栽品が数株程度
- Rhododendron obtusum* Planchon var. *kaempferi* (Planch.) Wilson ヤマツツジ 6639  
希 栽  
1954-1958年の植栽品が路傍・武蔵野植物園に計5株生存
- Rhododendron pulchrum* Sweet オオムラサキ 無 栽  
管理棟周辺に1960年代の植栽品が数10株程度
- Rhododendron semibarbatum* Maxim. バイカツツジ 6637 希 栽  
1954-1958年の植栽品が武蔵野植物園に2株あったが1株は2000年に枯死
- Vaccinium bracteatum* Thunb. シャシャンボ 6638 希 栽  
1960年代の植栽品が港区老人ホーム付近の塀際 (SN25, EW45) に2株生存
- Vaccinium oldhamii* Miquel ナツハゼ 6635 希 栽  
1954-1958年の植栽品が武蔵野植物園に1株生存したが2001年に枯死
- Vaccinium smallii* A.Gray var. *versicolor* (Koidz.) Yamazaki スノキ 未確 栽  
現業舎周辺の仮植地にあったが1980年代に枯死

#### 247 Myrsinaceae ヤブコウジ科

- Ardisia crenata* Sims マンリョウ 6623 普  
1965年のリストには希の記載があるが、その後急激に増加 現在は林下のいたる所に見られるようになった
- Ardisia crispa* (Thunb.) DC. カラタチバナ 6624 普  
路傍植物園に数10株生存 林縁にも見られる 減少傾向
- Ardisia japonica* (Thunb.) Blume ヤブコウジ 6625 普  
園内林下に普通に見られる

#### 248 Primulaceae サクラソウ科

- Lysimachia barystachys* Bunge ノジトラノオ 未確  
1982年に委託業者から購入その後消失 EN
- Lysimachia clethroides* Duby オカトラノオ 無 希  
武蔵野・路傍植物園に数10株生存 最近の10年で大幅に減少 絶滅危惧
- Lysimachia fortunei* Maxim. ヌマトラノオ 無 希  
水生植物園に数10株 イヌヌマトラノオに近似したタイプのみである
- Lysimachia japonica* Thunb. f. *subsessilis* Murata コナスビ 6633 普  
陽地に極めて普通



*Lysimachia vulgaris* L. var. *davurica* (Ledeb.) R.Kunth クサレダマ 未確 栽  
1982年に委託業者から購入その後消失

*Lysimachia* × *pilophora* (Honda) Honda イヌヌマトラノオ 6632 普  
水生・武蔵野植物園に数100株程度 過去のオカトラノオのニッチェを優占する

*Primula sieboldii* E.Morren サクラソウ 無 希 栽

1954-1958年の植栽品と1980年代の埼玉県田島ヶ原産植栽品が水生植物園に数10株生育  
V U

## 252 Ebenaceae カキノキ科

*Diospyros kaki* Thunb. カキノキ 無 希 逸

1954年記録の植栽個体は枯死 その後若木が増加 現在6個体 開花個体はまだ見られない

*Diospyros lotus* L. マメガキ 未確

1965年以後未確認

## 253 Styracaceae エゴノキ科

*Styrax japonicus* Sieb. et Zucc. エゴノキ 6648 普

湿地周辺に53個体 やや減少傾向

*Styrax obassia* Sieb. et Zucc. ハクウンボク 6649 希

林内に点在し現在10個体生存 やや減少傾向 絶滅危惧

## 255 Symplocaceae ハイノキ科

*Symplocos chinensis* (Lour.) Druce var. *leucocarpa* (Nakai) Ohwi f. *pilosa* (Nakai)

Ohwi サワフタギ 6650 希 栽

1954-1958年の植栽品が武蔵野植物園に1株生存

## 257 Oleaceae モクセイ科

*Chionanthus retusus* Lindl. ex Paxton ヒトツバタゴ 6644 希 栽

1960年代の植栽品が武蔵野植物園に1株生存 未開花個体 V U

*Forsythia viridissima* Lindl. シナレンギョウ 6647 希 栽

インセクタリウム食草展示場に1960年代の植栽品が数株生存

*Fraxinus japonica* Bl. トネリコ 未確 栽

1965年以前の記録は植栽品と思われるが1974年代以後未確認

*Fraxinus sieboldiana* Bl. マルバアオダモ 6646 希 栽

1960年代の植栽品が武蔵野植物園に1株 開花個体

*Ligustrum japonicum* Thunb. ネズミモチ 6642 普

林内に普通に見られる 林縁を好む次種と住み分ける

*Ligustrum lucidum* Ait. トウネズミモチ 6643 普 野化 芸帰

野生化品が1960年代より増加 現在36個体 林縁のみに生存

*Ligustrum obtusifolium* Sieb. et Zucc. イボタノキ 6645 普

湿地に普通に見られる 減少傾向

*Ligustrum obtusifolium* Sieb. et Zucc. f. *regelianum* (Nakai) Murata オニイボタ 普

1980年代以後未確認

*Ligustrum ovalifolium* Hassk. オオバイボタ 6641 希

実生からの野生品は徐々に増えつつある インセクタリウム脇に1960年代の植栽品の大株生存

*Osmanthus heterophyllus* (G. Don) P. S. Green ヒイラギ 6653 希 栽

1954-1958年の植栽品が旧小鳥の森に数株 実生の野生化品普通に見られるようになった

## 260 Gentianaceae リンドウ科

*Gentiana scabra* Bunge var. *buergeri* Maxim. リンドウ 6656 希 栽

野生品は1965年以後未確認 栽培品が武蔵野植物園に数株

*Gentiana squarrosa* Ledeb. コケリンドウ 未確

武蔵野植物園に見られたが1980年以後未確認

*Gentiana thunbergii* (G. Don) Griseb. ハルリンドウ 未確 栽

1982年に委託業者から購入その後消失

*Gentiana zollingeri* Fawcett フデリンドウ 未確 栽

1982年に委託業者から購入その後消失

*Menyanthes trifoliata* L. ミツガシワ 6654 普 栽

1982年に委託業者から購入 水生植物園で増殖 現在数10株 アメリカザリガニに食害されず増加傾向

*Nymphoides peltata* (Gmel.) O. Kuntze アサザ 6655 普 栽

1980年代に茨城産の株を水生・武蔵野植物園に植栽 その後増加 V U

*Tripterospermum japonicum* (Sieb. et Zucc.) Maxim. ツルリンドウ 未確 栽

1965年以後未確認

## 262 Apocynaceae キョウチクトウ科

*Amsonia elliptica* (Thunb.) Roem. et Schult. チョウジソウ 6652 普 栽

1954-1958年に水生植物園に埼玉県田島ヶ原産個体を植栽その後増加 現在数100株

*Trachelospermum asiaticum* (Sieb. et Zucc.) Nakai f. *intermedium* (Nakai) Murata テイカズラ 6651 普

水鳥の沼付近の林縁に開花個体が見られる 未開花個体は林床に普通に見られる

## 263 Asclepiadaceae ガガイモ科

*Cynanchum caudatum* (Miq.) Maxim. イケマ 未確

1980年代にサンショウオ沢上流で開花個体を確認 標本無し

*Cynanchum paniculatum* (Bunge) Kitagawa スズサイコ 未確

1965年以後未確認 V U

- Cynanchum sub lanceolatum* (Miq.) Matsum. コバノカモメヅル 6775 普  
水生植物園に数10株 やや増加傾向
- Metaplexis japonica* (Thunb.) Makino ガガイモ 未確  
1965年以後未確認

## 264 Rubiaceae アカネ科

- Galium gracilens* (A.Gray) Makino ヒメヨツバムグラ 未確  
1980年代に路傍植物園で確認したが以後未確認
- Galium kikumugura* Ohwi キクムグラ 6692 6693 普  
路傍植物園周辺に普通
- Galium niewiczii* Franch. et Savat. ヤブムグラ 未確  
1965年以後未確認 CR
- Galium pogonanthum* Franch. et Savat. ヤمامグラ 未確  
1965年以後未確認
- Galium pseudo-asprellum* Makino オオバノヤエムグラ 未確  
1965年以後未確認
- Galium spurium* L. var. *echinospermon* (Wallr.) Hayek ヤエムグラ 6690 普  
陽地に極めて普通
- Galium trachyspermum* A.Gray ヨツバムグラ 未確  
1965年以後未確認
- Gardenia jasminoides* Ellis クチナシ 未確  
1990年代以後実生苗を林下で見えるようになった
- Hedyotis lindleyana* Hook. var. *hirsuta* (L. f.) Hara ハシカグサ 6691 希  
路傍植物園周辺に少数株生存 やや増加傾向
- Paederia scandens* (Lour.) Merrill ヘクソカズラ 6689 普  
陽地に極めて普通
- Rubia argyi* (Lev. et Van.) Hara アカネ 6694 普  
各植物園にのみ数10株生存 減少傾向
- Serissa japonica* Thunb. ハクチョウゲ 未確 栽  
1980年代の植栽品が管理棟周辺にあったが枯死

## 267 Convolvulaceae ヒルガオ科

- Calystegia hederacea* Wall. コヒルガオ 6776 普  
陽地に普通
- Calystegia japonica* Choisy ヒルガオ 6777 希  
水生植物園に1株生存していたが最近消失 絶滅危惧
- Cuscuta australis* R.Br. マメダオシ 未確  
1965年以後未確認

*Cuscuta campestris* Yunck. アメリカネナシカズラ 未確 新帰

1980年代には武蔵野植物園で時々出現

*Cuscuta japonica* Choisy ネナシカズラ 未確

1965年以後未確認

*Ipomoea nil* Roth アサガオ 6778 希 逸 芸帰

1990年代以後に管理棟周辺に植栽 逸出品も見られるようになった

## 269 Boraginaceae ムラサキ科

*Bothriospermum tenellum* (Hornem.) Fisch. et Mey ハナイバナ 6781 普

陽地に普通

*Lithospermum erythrorhizon* Sieb. et Zucc. ムラサキ 6779 希 栽

1970年代に路傍植物園に植栽その後消失 ガラス室に数株育苗 EN

*Lithospermum zollingeri* DC. ホタルカズラ 未確 栽

1954-1958年に武蔵野植物園に植栽 1990年代に消失

*Omphalodes japonica* (Thunb.) Maxim. ヤマルリソウ 6780 希 栽

1980年代に八王子産の個体を路傍植物園に植栽 数株生存

*Trigonotis peduncularis* (Trevir.) Benth. キュウリグサ 6782 普

陽地に普通

## 271 Verbenaceae クマツヅラ科

*Callicarpa japonica* Thunb. ムラサキシキブ 6658 普

林内に多い

*Callicarpa japonica* Thunb. f. *taquetii* Ohwi コバノムラサキシキブ 未確

1954年の記録は植栽品と見られるが1965年以後未確認

*Caryopteris divaricata* (Sieb. et Zucc.) Maxim. カリガネソウ 6657 普

1950年代には館跡にあったとされるが現在は未確認 武蔵野・路傍植物園に数10株生存するが、同所からの移植品か外部からの植栽品なのか不明である

*Clerodendron bungei* Steud. ボタンクサギ (ベニバナクサギ) 無 希 栽

1990年代にインセクタリウム内に蜜源植物として植栽

*Clerodendrum trichotomum* Thunb. クサギ 6660 希

1950年代から1960年代は非常に個体数が多かったが遷移に伴い減少 現在胸高周囲0.3m以上の個体は未確認 絶滅危惧

*Premna japonica* Miq. ハマクサギ 6659 普 野化

イモリの池東斜面のコナラ林下に植栽起源と考えられる胸高周囲0.97mの大木があったが1965年には枯死 この母樹からの実生苗が多く胸高周囲0.3mの個体も現在4個体となっている

## 272 Callitrichaceae アワゴケ科

*Callitriche japonica* Engelm. アワゴケ 未確

旧管理棟周辺に見られたが1980年代に見られなくなった

### 273 Labiatae シソ科

*Ajuga decumbens* Thunb. キランソウ 6673 普

陽地に普通

*Ajuga nipponensis* Makino ジュウニヒトエ 6674 希

1965年まであった野生品は消滅 1970年代に移入した多摩産の植栽品が武蔵野植物園に数株生存 絶滅危惧

*Ajuga nipponensis* Makino f. *nivea* Hiyama シロバナジュウニヒトエ 未確

1965年以後未確認

*Ajuga reptans* L. セイヨウジュウニヒトエ 未確 逸 芸帰

1980年代後半からから1990年代にかけて武蔵野植物園に数10株繁殖 現在は見られない

*Clinopodium chinense* (Benth.) O.Kuntze var. *parviflorum* (Kudo) Hara クルマバナ 未確

武蔵野植物園に見られたが1980年代以後未確認

*Clinopodium gracile* (Benth.) O.Kuntze トウバナ 6663 普

管理棟周辺に数100株

*Clinopodium micranthum* (Regel) Hara イヌトウバナ 未確

1970年以後未確認

*Elsholtzia ciliata* (Thunb.) Hylander ナギナタコウジュ 6667 希

水生植物園周辺に数10株 減少傾向 絶滅危惧

*Glechoma hederacea* L. var. *grandis* (A.Gray) Kudo カキドオシ 6675 普

草地・陽湿地に普通

*Keiskea japonica* Miq. シモバシラ 6668 普 栽

1954-1958年の植栽品 武蔵野植物園周辺に100株程度

*Lamium amplexicaule* L. ホトケノザ 6672. 普

管理棟周辺に普通 ほとんどが閉鎖花

*Lamium barbatum* (Sieb. et Zucc.) Franch. et Savat. オドリコソウ 6688 希 栽

1954年の記録された野生品は消失 茨城県産を1980年代に植栽 武蔵野・路傍植物園に数10株生存

*Lamium purpureum* L. ヒメオドリコソウ 6666 普 新帰

管理棟周辺に普通

*Leonurus japonicus* Houtt. メハジキ 6685 普

武蔵野植物園周辺に多い

*Leucosceptrum japonicum* (Miq.) Kitam. et Murata f. *barvinarve* Kitam. et Murata

フジテンニンソウ 6684 希 栽

1980年代に神奈川県日吉産の1株を武蔵野植物園に植栽 現在数株生存

*Leucosceptrum stellipilum* (Miq.) Kitam. et Murat ミカエリソウ 未確 栽

1982年に委託業者から購入その後消失

*Lycopus lucidus* Turcz. シロネ 6661 普

1965年には一時未確認となったがその後武蔵野植物園・水生植物園・イモリの池周辺に数100株生存 やや増加傾向

*Meehania urticifolia* (Miq.) Makino ラショウモンカズラ 6676 普

各植物園・サンショウウオ沢等で大群落を作る 23区内では珍しい

*Mosla dianthera* (Hamilt.) Maxim. ヒメジソ 6669 普

陽地に普通 減少傾向

*Mosla punctulata* (J.F.Gmel.) Nakai イヌコウジュ 6670 希

路傍・水生植物園に生存 減少傾向

*Perilla frutescens* (L.) Britt. f. *viridis* (Makino) Makino シソ 無 希 野化 芸帰

現業舎周辺に少数 減少傾向

*Perilla frutescens* (L.) Britt. var. *acuta* Kudo f. *viridis* Kudo アオジソ 未確 逸 芸帰

1980年代現業舎周辺に少数あったが今回は未確認 減少傾向

*Perilla frutescens* (L.) Britt. var. *crispa* Decne. f. *viridicrispa* Makino. アオチリメンジソ 未確 逸 芸帰

1980年以後未確認

*Perilla frutescens* (L.) Britton エゴマ 6683 希 野化 芸帰

現業舎周辺に少数 減少傾向

*Perilla frutescens* (L.) Britton var. *japonica* Hara ヤマエゴマ 未確 芸帰

1954年の記録の個体は前種エゴマに統一

*Perilla frutescens* (L.) Britton var. *crispa* (Benth.) W.Deane チリメンジソ 未確 逸

芸帰

1980年以後未確認

*Physostegia virginiana* Benth. ハナトラノオ 6665 希 逸 芸帰

栽培逸出品が事務所跡地に1株生存

*Prunella vulgaris* L. ssp. *asiatica* (Nakai) Hara ウツボグサ 未確

武蔵野植物園にあったが1990年代以後未確認 ガラス室内で繁殖 絶滅危惧

*Rabdosia inflexa* (Thunb.) Hara ヤマハッカ 無 普

武蔵野植物園に100株程度生存

*Salvia japonica* Thunb. アキノタムラソウ 未確

1990年以後未確認

*Salvia nipponica* Miq. キバナアキギリ 6662 希 栽

1954-1958年の植栽品が武蔵野植物園に10株程度生存

*Scutellaria brachyspica* Nakai et Hara オカタツナミソウ 未確 栽

1982年に委託業者から購入その後消失

*Scutellaria indica* L. タツナミソウ 6686 希 栽

1954年の記録された野生品は一度消失 1980年代に武蔵野植物園に数株生存を確認 絶滅危惧

惧

*Scutellaria laeteviolacea* Koidz. シソバタツナミソウ 6687 希 栽

1982年に委託業者から購入 武蔵野植物園周辺に数100株に増殖

*Stachys riederi* Cham. var. *intermedia* (Kudo) Kitam. イヌゴマ 未確

1965年以後未確認

*Teucrium japonicum* Houtt. ニガクサ 未確

1965年以後未確認

*Teucrium viscidum* Blume var. *miquelianum* (Maxim.) Hara ツルニガクサ 6671 希

1980年代は確認できなかったが1990年代に路傍植物園で発見 その後同所で増殖

## 275 Solanaceae ナス科

*Datura stramonium* L. ヨウシュチョウセンアサガオ 未確 新帰

1980年代に事務所跡地に数年間出現 その後再び消失

*Lycium chinense* Miller クコ 6738 普 旧帰

野生化品が園内陽地に多い

*Physalis japonicum* (Franch. et Savat.) Honda イガホオズキ 未確

1965年以後未確認

*Physalis alkekengi* L. var. *franchetii* (Masters) Makino ホオズキ 未確 逸 芸帰

1980年代に中央湿地下流部のオニグルミ林下に多数見られたが1990年代からは未確認

*Physalis angulata* L. センナリホオズキ 未確 旧帰

1965年以後未確認

*Scopolia japonica* Maxim. ハシドリコロ 無 希 栽

1982年に委託業者から購入 路傍植物園に数株生存

*Solanum americanum* Miller テリミノイヌホオズキ 6734 普 新帰

陽地から半陰地に普通

*Solanum carolinense* L. ワルナスビ 6739 普 新帰

草地に普通 減少傾向

*Solanum lyratum* Thunb. ヒヨドリジョウゴ 6736 普

林縁に普通 増加傾向

*Solanum nigrum* L. イヌホオズキ 6735 未確 旧帰

1980年代以後未確認 1950年代の標本はテリミノイヌホオズキの同定ミス 園外にもテリミノイヌホオズキがほとんどだがイヌホオズキも希に見られる アメリカイヌホオズキは見られない

*Solanum pseudo-capsicum* L. タマサンゴ 6737 希 逸 芸帰

1990年代に栽培品の逸出個体が路傍植物園等に数株見られるようになった

*Solanum tuberosum* L. ジャガイモ 未確 栽

栽培品 1965年以後未確認

*Tubocapsicum anomalum* (Franch. et Savat.) Makino ハダカホオズキ 6733 希

1970年代に確認されなくなったが、1998年に水鳥の沼周辺で1個体再確認 今回も1個体確認 絶滅危惧

## 277 Buddlejaceae フジウツギ科

*Buddleja davidii* Franch. ブッドレア (フサフジウツギ) 希 栽

1980年代にインセクタリウム内に蜜源植物として植栽

*Mitrasacme pygmaea* R.Br. アイナエ 未確

1965年以後未確認

## 278 Scrophulariaceae ゴマノハグサ科

*Lindernia crustacea* (L.) F.Mueller ウリクサ 未登 希

1980年代以後未確認だったが2001年に水生植物園に数10株再現 絶滅危惧

*Lindernia micrantha* D.Don アゼトウガラシ 未確

1980年代以後未確認

*Lindernia procumbens* (Krock.) Borbas アゼナ 未確

1980年代以後未確認

*Mazus miquelii* Makino サギゴケ (ムラサキサギゴケ) 6681 普

湿った草地に普通

*Mazus miquelii* Makino f. *albiflorus* Makino シロバナサギゴケ 未確

管理棟北側の日陰に1995年頃確認 今回は未確認 絶滅危惧

*Mazus pumilus* (Brum.f.) van Steenis トキワハゼ 未登 普

陽地に普通

*Mimulus nepalensis* Bentham ミゾホオズキ 未確 栽

1960年代にあったとされるが 1974年以後未確認 1982年に委託業者から購入 その後消失

*Paulownia tomentosa* (Thunb.) Steuder キリ 6678 希 逸 芸帰

館跡付近に胸高周囲1.8mの大木1個体植栽されている 芽生えは園内にみられる 若木は未確認

*Phtheirospermum japonicum* (Thunb.) Kanitz コシオガマ 未確

武蔵野植物園で1980年代までは確認されていた

*Scrophularia buergeriana* Miquel ゴマノハグサ 未確

1965年以後未確認

*Scrophularia kakudensis* Franchet オオヒナノウスツボ 6679 普 栽

1954年のリストに記録の個体は1965年までに消失 1954-1958年の植栽品が武蔵野植物園に100株程度生存

*Verbascum thapsus* L. ビロードモウズイカ 未確 新帰

1990年代以後未確認

*Veronica arvensis* L. タチイヌノフグリ 6680 普 新帰

管理棟周辺の草地に普通

*Veronica peregrina* L. ムシクサ 未確 栽

1982年に委託業者から購入 その後消失

*Veronica persica* Poiret オオイヌノフグリ 6705 普 新帰

陽地に普通



*Veronicastrum axillare* (Sieb. et Zucc.) Yamazaki トラノオスズカケ 未確 栽  
ひょうたん池付近に群落があったが、1970年代に消失

*Veronicastrum japonicum* (Refin.) Yamazaki クガイソウ 6677 希 栽  
1954年のリストに記録の個体は1965年までに消失 1982年に委託業者から購入した植栽品  
が武蔵野植物園に数株程度生存

## 282 Acanthaceae キツネノマゴ科

*Justicia procumbens* L. キツネノマゴ 6743 普  
陽地に普通

*Justicia procumbens* L. f. *leucantha* (Honda) シロバナキツネノマゴ 6742 希  
キツネノマゴと同様の場所に生育 路傍植物園などに数株生存する

*Peristrophe japonica* (Thunb.) Bremek. var. *subrotunda* (Matsuda) Murata et Terao  
ハグロソウ 6744 普 栽  
1960年代の植栽品 路傍植物園に200株程度生存 増加傾向

## 287 Orobanchaceae ハマウツボ科

*Aeginetia indica* L. ナンバンギセル 6745 普  
水生植物園のススキ・オギに寄生 例年200株程度出現

*Orobanche minor* Sutton ヤセウツボ 6747 普 新帰  
管理棟周辺のシロツメクサの草地に100株程度

## 288 Lentibulariaceae タヌキモ科

*Utricularia intermedia* Hayne コタヌキモ 6746 普 栽  
1954-1958年の植栽 武蔵野植物園の小池とガラス室裏の水槽に生育

## 290 Phrymaceae ハエドクソウ科

*Phryma leptostachya* L. ssp. *asiatica* Hara ハエドクソウ 6741 普  
林縁の半陰地に普通

*Phryma leptostachys* L. var. *asiatica* Hara f. *oblongifolia* (Koidz.) Ohwi ナガバハエ  
ドクソウ 6740 普  
路傍植物園に200株程度 前種より開花が1月早い

## 291 Plantaginaceae オオバコ科

*Plantago asiatica* L. オオバコ 6696 普  
陽地のベンチ脇などに多い

*Plantago lanceolata* L. ヘラオオバコ 未確 新帰  
1965年以後未確認

292 Caprifoliaceae スイカズラ科

*Abalia* × *grandiflora* Rehd. ハナツクバネウツギ (アベリア) 6707 普 栽  
インセクタリウム脇に数株植栽

*Abelia spathulata* Sieb. et Zucc. ツクバネウツギ 6703 希 栽  
1954-1958年の植栽品が武蔵野植物園に2株生存

*Lonicera gracilipes* Miq. ヤマウグイスカグラ 無 希  
武蔵野植物園に1株生存 野生品か植栽品か不明

*Lonicera gracilipes* Miq. var. *glabra* Miq. ウグイスカグラ 6706 普  
武蔵野・路傍植物園に10数株生存

*Lonicera japonica* Thunb. スイカズラ 6697 普  
水生植物園周辺に多い

*Sambucus chinensis* Lindl. ソクズ 6704 普  
イモリの池周辺に群落を作る

*Sambucus racemosa* L. ssp. *sieboldiana* (Miq.) Hara ニフトコ 6620 希  
1965年には胸高周囲0.3m以上の個体が10個体以上あったが現在は2個体生存 減少傾向

*Viburnum dilatatum* Thunb. ガマズミ 6708 普  
1970年代は林縁に普通に見られたが、現在開花株は路傍植物園周辺に数株 実生・若木は林内に多い

*Viburnum erosum* Thunb. var. *punctatum* Franch. et Savat. コバノガマズミ 6700 希 栽  
1954-1958年の植栽品と思われる

*Viburnum odoratissimum* Ker.Gaul. var. *awabuki* (K.Koch) Zabel サンゴジュ 6698 希  
周辺の植栽木からの野生化品の若木が増えている

*Viburnum phlebotrichum* Sieb. et Zucc. オトコヨウゾメ 未確 栽  
1954-1958年の植栽品が路傍植物園に1個体あったが1990年代に枯死

*Viburnum plicatum* Thunb. var. *tomentosum* (Thunb.) Miq. ヤブデマリ 6709 希  
サンショウウオ沢周辺に数株見られたが枯死 イモリの池に開花個体が1個体のみ生存 実生もほとんど見られない 絶滅危惧

*Viburnum sieboldii* Miq. ゴマギ 6699 希  
水生植物園と水鳥の沼に開花個体があったが1990年代に枯死 武蔵野植物園・旧小鳥の森周辺に未開花個体が数株生存 絶滅危惧

*Weigela coraeensis* Thunb. ハコネウツギ 6701 希 栽  
1960年代の植栽品が管理棟周辺に1個体

*Weigela hortensis* (Sieb. et Zucc.) K.Koch タニウツギ 6702 希 栽  
1960年代の植栽品が武蔵野植物園に1個体

294 Valerianaceae オミナエシ科

*Patrinia scabiosaefolia* Fisch. オミナエシ 6754 希 栽  
1954-1958年の植栽品が各植物園に10数株

*Patrinia villosa* (Thunb.) Juss. オトコエン 無 希

1990年代に路傍植物園の開花株が枯死 実生をガラス室で育苗中 2001年に森の小道で未開花株確認 絶滅危惧

*Valeriana flaccidissima* Maxim. ツルカノコソウ 未確

ミズキ林内に数株あったとされるが1965年以後未確認

*Valerianella oltoria* (L.) Poll. ノヂシャ 未確 新婦

1965年以後未確認

## 295 Diapensiaceae マツムシソウ科

*Scabiosa japonica* Miq. マツムシソウ 未確 栽

1982年に委託業者から購入武蔵野植物園に植栽したがその後1990年代に消失 濱島のリストにある

## 296 Campanulaceae キキョウ科

*Adenophora remotiflora* (Sieb. et Zucc.) Miq. ソバナ 未確 栽

1927年の濱島のリストにはあった 1982年に委託業者から購入武蔵野植物園に植栽したがその後1990年代に消失

*Adenophora stricta* Miq. トウシャジン 未確 栽 芸婦

植栽起源と考えられる株が路傍植物園にあったが1998年に枯死 CR

*Adenophora triphylla* (Thunb.) A.DC. var. *japonica* (Regel) Hara ツリガネニンジン 無 希

武蔵野植物園に数株生存 絶滅危惧

*Adenophora triphylla* (Thunb.) A.DC. var. *japonica* (Regel) Hara f. *glabra* (Makino)

Kitamura ハマシャジン 未確

1965年以後未確認

*Campanula punctata* Lam. ホタルブクロ 6711 希

各植物園に数株生存 減少傾向 絶滅危惧

*Campanula punctata* Lam. var. *hondoensis* Kitam. ヤマホタルブクロ 未確 栽

1990年代の植栽品が路傍植物園にあったが今回未確認

*Lobelia chinensis* Lour. ミゾカクシ 未確

1965年以後未確認

*Lobelia sessilifolia* Lamb. サワギキョウ 未確 栽

1982年に委託業者から購入その後消失

*Platycodon grandiflorum* (Jacq.) A.DC. キキョウ 未確 栽

1982年に委託業者から購入その後消失 VU

*Specularia perfoliata* (L.) A. DC. キキョウソウ 6710 希 新婦

1999年に管理棟前庭に数10株確認 自然教育園周辺では1990年代から見られるようになった

## 303 Compositae キク科

*Adenocaulon himalaicum* Edgew. ノブキ 無 希

武蔵野植物園のみに10数株生存 減少傾向

*Ainsliaea acerifolia* Sch.-Bip. var. *subapoda* Nakai オクモミジハグマ 未確 栽

1970年代に八王子産の株を路傍・武蔵野植物園に植栽 その後未確認

*Ainsliaea apiculata* Sch.-Bip. キッコウハグマ 未確

1974年武蔵野植物園周辺のマツ林下にまれに見られたがその後未確認

*Ambrosia artemisiifolia* L. var. *elatior* (L.) Descurtiz プタクサ 6773 希 新帰

管理棟周辺にわずかに見られる 減少傾向

*Ambrosia trifida* L. オオプタクサ(クワモドキ) 6753 希 新帰

教研跡地・武蔵野植物園に少数 減少傾向 絶滅危惧

*Anthemis cotula* L. カミツレモドキ 未確 新帰

1965年以後未確認

*Arctium lappa* L. ゴボウ 未確 栽

栽培品 1965年以後未確認

*Artemisia japonica* Thunb. オトコヨモギ 未確

1980年代まで武蔵野植物園に生存したが今回は未確認

*Artemisia keiskeana* Miq. イヌヨモギ 未確

1965年以後未確認

*Artemisia princeps* Pampan. ヨモギ 6715 普

陽地に普通

*Aster ageratoides* Turcz. ssp. *leiophyllus* (Franch. et Savat.) Kitam. シロヨメナ 6722 普

各植物園・明るい林縁に見られる

*Aster ageratoides* Turcz. ssp. *ovatus* (Franch. et Savat.) Kitam. ノコンギク 6724 希

路傍・武蔵野植物園に数10株残存 減少傾向 絶滅危惧

*Aster scaber* Thunb. シラヤマギク 6712 普

路傍・武蔵野植物園に数10株程度

*Aster subulatus* Michx. ホウキギク 未確 新帰

1990年代まで管理棟周辺や教研跡地に多かったが今回は未確認

*Atractylodes japonica* Koidz. ex Kitam. オケラ 未確 栽

野生品は1965年以後未確認 1980年代に多摩産の株を植栽したがその後枯死

*Bidens frondosa* L. アメリカセンダングサ 6718 希 新帰

水生植物園に数10株程度残存 減少傾向

*Bidens pilosa* L. コセンダングサ 6764 希 新帰

1970年代管理棟周辺や教研跡地に多かったが今回は1個体開花を確認したのみ 減少傾向

*Cacalia delphiniifolia* Sieb. et Zucc. モミジガサ 6750 6717 普 栽

八王子市産の株を1970年代に植栽 各植物園に増殖

*Cacalia farfaraefolia* Sieb. et Zucc. var. *bulbifera* (Maxim.) Kitam. タマブキ 未確 栽

八王子市産の株を1970年代に植栽 その後消滅

*Carduus crispus* L. ヒレアザミ 未確 新婦

武蔵野植物園や周辺に多かったが1990年代より確認できなくなった

*Carpesium abrotanoides* L. ヤブタバコ 6713 普

園路に普通

*Carpesium cernuum* L. コヤブタバコ 6751 希

路傍植物園に1個体生存

*Carpesium divaricatum* Sieb. et Zucc. ガンクビソウ 6748 普

園路に普通 増加傾向

*Carpesium glossophyllum* Maxim. サジガンクビソウ 未確

1970年代までサンショウウオ沢斜面に少数に見られたがおそらく1980年代に消失

*Centipeda minima* (L.) A. Braun et Ascherson トキンソウ 未確

1970年代には中央湿地や水生植物園に見られたが1980年代に消失

*Chrysanthemum coronarium* L. シュンギク 未確 栽 芸婦

栽培品 1965年以後未確認

*Chrysanthemum morifolium* Ramat. キク 6772 希 逸 芸婦

野生化品が武蔵野植物園に1株生育

*Cirsium japonicum* DC. ノアザミ 未確

1980年代後半に消失

*Cirsium nipponicum* (Maxim.) Makino var. *incomptum* (Maxim.) Kitamura タイアザミ 6720 普

各植物園や園路に多い

*Cirsium oligophyllum* (Franch. et Savat.) Matsum. ノハラアザミ 6716 普

水生植物園に数10株程度

*Cirsium vulgare* (Savi) Ten. アメリカオニアザミ 6770 希 新婦

管理棟周辺に数株 1998年から確認

*Conyza bonariensis* L. アレチノギク 未確 新婦

管理棟周辺に10数株見られる

*Conyza sumatrensis* Retz. オオアレチノギク 6714 普 新婦

管理棟周辺・教研跡地に多い

*Coreopsis tinctoria* Nutt. ハルシャギク 未確 新婦

1965年以後未確認

*Crassocephalum crepidioides* (Benth.) S. Moore ベニバナボロギク 6719 希 新婦

教研跡地・管理棟周辺に時々見られる 園外には多い

*Dendranthema boreale* (Makino) Kitam. キクタニギク (アワコガネギク) 6729 希 栽

1954-1958年の植栽品 武蔵野植物園周辺に10株程度生存

*Dendranthema japonicum* (Makino) Kitam. リュウノウギク 未確 栽

1954-1958年の植栽品 武蔵野植物園周辺に数株生存していたが今回は未確認 絶滅危惧

- Eclipta prostrata* (L.) L. タカサブロウ 未確  
水生植物園に時々出現するが今回は未確認
- Erechtites hieracifolia* (L.) Rafin. ダンドボロギク 6765 希 新帰  
教研跡地・武蔵野植物園に希に見られる 園外にはベニバナボロギクが多い
- Erigeron canadensis* L. ヒメムカシヨモギ 6752 希 新帰  
管理棟周辺に少数 減少傾向 絶滅危惧
- Erigeron philadelphicus* L. ハルジオン 6757 普 新帰  
各植物園や陽地に多い
- Erigeron pseudo-annuus* Makino ヤナギバヒメジョオン 未確 新帰  
1980年代以後未確認
- Eupatorium chinense* L. var. *oppositifolium* (Koidz.) Murata et H. Koyama ヒヨドリバナ  
6756 普  
イモリの池周辺に多い 減少傾向
- Eupatorium japonicum* Thunb. フジバカマ 6749 希 逸 旧帰  
1954年の記録の個体は消滅? その後関東地方の野生化品を武蔵野植物園に植栽? 現在数  
10株生存 絶滅危惧 VU
- Eupatorium lindleyanum* DC. サワヒヨドリ 6755 普  
水生植物園周辺に100株程度生存
- Eupatorium rugosum* Houtt. マルバフジバカマ 6721 希 新帰  
1986年頃武蔵野植物園に野生化 現在数10株生存 2000年イモリの池周辺にも数株
- Farfugium japonicum* (L.) Kitam. ツワブキ 未確  
1965年以後未確認
- Galinsoga ciliata* (Raf.) Blake ハキダメギク 6730 普 新帰  
管理棟周辺に普通
- Gnaphalium affine* D. Don ハハコグサ 6763 普  
管理棟周辺に普通
- Gnaphalium calviceps* Fern. タチチコグサ 希 新帰  
1990年代に管理棟周辺に数株確認 今回は未確認
- Gnaphalium japonicum* Thunb. チチコグサ 未確  
1965年以後未確認
- Gnaphalium pensylvanicum* Willd. チチコグサモドキ 6768 普 新帰  
1960年代は希だったが、管理棟周辺に1980年代から増加が著しい
- Gnaphalium spicatum* Lam. ウラジロチチコグサ 6762 普 新帰  
管理棟周辺に1990年代から急激に増加 同所的に生育するチチコグサモドキを追い出す勢い
- Helianthus strumosus* L. var. *willdenowianus* Thell. イヌキクイモ 未確 新帰  
1990年代に教研跡地に生存
- Helianthus tuberosus* L. キクイモ 未確 逸 旧帰  
1980年代までは教研跡地に生存

- Hemistepta lyrata* Bunge キツネアザミ 6766 希 新帰  
武蔵野植物園に数株 減少傾向 絶滅危惧
- Hypochoeris radicata* L. ブタナ 未確 新帰  
1980年代に武蔵野植物園に生存 1990年代にも管理棟周辺で1株確認 その後は未確認
- Inula japonica* Thunb. オグルマ 未確 栽  
1982年に委託業者から購入武蔵野植物園に植栽したが1990年代に消失
- Inula salicina* L. var. *asiatica* Kitam. カセンソウ 未確 栽  
1955年に採られた標本があるが以後未確認
- Ixeris debilis* (Thunb.) A.Gray オオジシバリ 未確  
1990年代までは陽地に見られたが今回は未確認
- Ixeris dentata* (Thunb.) Nakai ニガナ 未確  
1980年代までは武蔵野植物園に見られたが今回は未確認
- Ixeris dentata* (Thunb.) Nakai. var. *partita* Kitam. キレハニガナ 未確  
1965年以後未確認
- Ixeris japonica* Nakai ツルニガナ 未確  
1960年代は耕作地に普通にあったとされる 1974年以後未確認
- Ixeris stolonifera* A.Gray イワニガナ 未確  
1974年以後未確認
- Kalimeris pinnatifida* (Maxim.) Kitam. ユウガギク 6727 普  
水生植物園中心に普通
- Kalimeris pseudoyomena* Kitam. カントウヨメナ 未確  
1965年以後未確認 園の周辺にはまだ見られる
- Lactuca indica* L. アキノノゲシ 未確  
1990年代に教研跡地・中央湿地に生存したが今回は未確認 絶滅危惧
- Lapsana apogonoides* Maxim. コオニタビラコ 未確  
1974以後未確認
- Lapsana humilis* (Thunb.) Makino ヤブタビラコ 6758 普  
明るい園路沿いに普通 著しく減少
- Leibnitzia anandria* (L.) Turcz. センボンヤリ 未確 栽  
野生品は1965年以後未確認 1980年代青梅産の株を植栽したがその後消滅
- Ligularia japonica* (Thunb.) Less. ハンカイソウ 無 希  
古くからの植栽品と考えられるが 現在武蔵野植物園に数株生存 減少傾向 絶滅危惧
- Miyamayomena savatieri* (Makino) Kitam. ミヤマヨメナ 未確  
現業舎付近の仮植地に数株生存したが1990年代に消失
- Pertya glabrescens* Sch.-Bip. ナガバノコウヤボウキ 未確  
1965年以後未確認
- Pertya robusta* (Maxim.) Beauv. カシワバハグマ 未確 栽  
1980年代に茨城産の株を武蔵野植物園に植栽したがその後消失

- Pertya scandens* (Thunb.) Sch.-Bip. コウヤボウキ 6723 希 栽  
野生品は1974年以後未確認 武蔵野植物園に野生品を移植したものが1954-1958年に園外から新植されたものかわからないが数株生存 絶滅危惧
- Petasites japonicus* (Sieb. et Zucc.) Maxim. フキ 6731 普  
林縁に普通に見られる
- Picris hieracioides* L. var. *glabrescens* (Regel) Ohwi コウゾリナ 未確  
1990年代までは見られたが今回は未確認
- Rhynchospermum verticillatum* Reinw. ex Blume シュウブンソウ 6283 希  
自生種として登録 1998年代に現業舎車庫付近で10株近く発見 翌年に路傍植物園に移植
- Senecio vulgaris* L. ノボロギク 未確 新帰  
1980年代までは多かったが 最近は無確認 園外でも見られなくなった
- Siegesbeckia orientalis* L. ssp. *glabrescens* (Makino) Kitam. コメナモミ 6725 6728 希  
路傍・武蔵野植物園に数100株生存 やや増加傾向
- Siegesbeckia orientalis* L. ssp. *pubescens* (Makino) Kitam. メナモミ 未確  
1974年頃武蔵野植物園付近の開墾地に普通に見られたが1980年代以後未確認
- Solidago altissima* L. セイタカアワダチソウ 6767 希 新帰  
1970-80年代は極めて多かったが現在は水生植物園に数10株程度 減少傾向
- Solidago gigantea* Ait. var. *leiophylla* Fern. オオアワダチソウ 6863 希 新帰  
水生植物園周辺に数株程度生存 絶滅危惧
- Solidago virgaurea* L. var. *asiatica* Nakai アキノキリンソウ 未確  
1970年代は武蔵野植物園に普通に生存したが1990年代に確認されなくなった
- Sonchus asper* (L.) Hill オミノゲシ 未登 希 新帰  
管理棟周辺に次種に混在して見られるが出現しない年もある 減少傾向
- Sonchus oleraceus* L. ノゲシ 6732 普 旧帰  
管理棟周辺にきわめて普通
- Stenactis annuus* (L.) Cass. ヒメジョオン 6769 普 新帰  
管理棟周辺に数10株 減少傾向
- Syneilesis palmata* (Thunb.) Maxim. ヤブレガサ 6760 普 栽  
1954-1958年の植栽品が路傍植物園に数10株
- Synurus pungens* (Franch. et Savat.) Kitam. オヤマボクチ 未確 栽  
1980年代に八王子産の個体を路傍植物園に植栽 その後消失
- Taraxacum albidum* Dahlst. シロバナタンポポ 無 希  
事務所跡地に数株生存
- Taraxacum laevigatum* DC. アカミタンポポ 6761 希 新帰  
1980年代より管理棟前の車道沿いに数株見られるようになった
- Taraxacum officinale* × *platycarpum* アイノコセイヨウタンポポ 6771 普 新帰  
管理棟前庭の個体群や園内のその他の株は外総苞片辺縁の毛の数, 外総苞片の突起長等の外部形態からするとこの雑種に含まれる 古い標本がないのでいつ頃雑種ばかりになったかは不明である



*Taraxacum officinale* Weber セイヨウタンポポ 希 新帰

純粋な種は無いものと思われる 園外周辺にも見あたらない

*Taraxacum platycarpum* Dahlst. カントウタンポポ 6759 普

1960年代はタンポポの半数は帰化種であったが現在は90%以上が本種に置き換えられた 減少傾向

*Xanthium occidentale* Bertoloni オオオナモミ 未確 新帰

1990年代に教研跡地に多数あったが 今回は未確認

*Xanthium strumarium* L. オナモミ 未確 旧帰

1965年以後は未確認

*Youngia denticulata* (Houtt.) Kitam. ヤクシソウ 無 希

武蔵野植物園周辺に数株 絶滅危惧

*Youngia denticulata* (Houtt.) Kitam. f. *pinnatipartita* (Makino) Kitam. ハナヤクシソウ  
未確

1965年以後未確認

*Youngia japonica* (L.) DC. オニタビラコ 6726 普

管理棟周辺 各植物園に普通 1970年代より増加傾向

#### 304 Alismataceae オモダカ科

*Alisma canaliculatum* A.Br. et Bouche ヘラオモダカ 未確

1974年以後未確認

*Sagittaria trifolia* L. オモダカ 未確

1980年代に水生植物園に数株開花したが以後未確認

*Sagittaria trifolia* L. var. *edulis* (Sieb.) Ohwi クワイ 6218 希 栽 芸帰

1980年代委託業者から購入水生植物園に数10株生存

#### 314 Liliaceae ユリ科

*Allium chinense* G. Don ラッキョウ 未確 栽

1954年当時栽培されていた

*Allium fistulosum* L. ネギ 未確 栽

1954年当時栽培されていた

*Allium fistulosum* L. var. *caespitosum* Makino ワケギ 未確 栽

1954年当時栽培されていた

*Allium grayi* Regel ノビル 無 希

各植物園に数100株程生存 減少傾向

*Allium sativum* L. ニンニク 未確 栽

1954年当時栽培されていた

*Allium schoenoprasum* L. var. *foliosum* Regel アサツキ 未確 栽

1954年当時栽培されていた

*Allium sepa* L. タマネギ 未確 栽

1954年当時栽培されていた

*Allium thunbergii* G.Don ヤマラッキョウ 未確

1974年以後は確認されていない

*Allium tuberosum* Rottl. ニラ 6318 希 逸 芸帰

1954年当時栽培されていた株は消滅 最近管理棟前庭に野生化品が10株程確認されるようになった

*Cardiocrinum cordatum* (Thunb.) Koidz. ウバユリ 6317 普

サンショウウオ沢の湿地を中心に数100株 増加傾向

*Chionographis japonica* Maxim. シライトソウ 未確 栽

1960年代の植栽品が1980年代まで現業舎付近の仮植地に生存していたがその後消滅

*Disporum sessile* Don ホウチャクソウ 6323 普

各植物園・イモリの池など また園路沿いの林縁に多い

*Disporum smilacinum* A.Gray チゴユリ 6322 希 栽

高尾山産の株を1980年代に武蔵野植物園に植栽 10株程度生存

*Erythronium japonicum* Decne カタクリ 6314 普 野化

1952-1954年頃に東京都五日市から移植された植栽品が武蔵野植物園や路傍植物園に増殖 現在300株程度生存, 福島県産の個体も路傍植物園に数株生存

*Fritillaria verticillata* Willd. var. *thunbergii* Baker パイモ 6315 普 野化 芸帰

古くからの植栽品と考えられるが濱島1927年のリストにはない 現在各植物園に数100株程度生存 各植物園以外では急激に減少

*Heloniopsis orientalis* (Thunb.) C.Tanaka ショウジョウバカマ 6321 希 栽

1982年に委託業者から購入武蔵野植物園に植栽 数株生存

*Hemerocallis exilis* Satake ムサシノワスレグサ 無 希 栽

1970年代に府中市浅間山産の個体をガラス室で育苗中

*Hemerocallis fulva* L. var. *kwanso* Regel ヤブカンゾウ 無 普 旧帰

水生植物園など陽湿地に数株生存 減少傾向 絶滅危惧

*Hemerocallis fulva* L. var. *longituba* (Miq.) Maxim. ノカンゾウ 6295 希 旧帰

水生植物園など陽湿地に数10株生存 減少傾向

*Hemerocallis vespertina* Hara ユウスゲ 未確 栽

1982年に委託業者から購入武蔵野植物園に植栽 その後消滅

*Hosta montana* F.Maek. オオバギボウシ 6293 希

1965年の野生品は消滅か? 各植物園のみに10数株生存 減少傾向 絶滅危惧

*Hosta sieboldii* (Paxton) J.Ingram f. *lancifolia* (Miq.) Hara コバギボウシ 6296 普

水生植物園中心に数100株 増加傾向

*Ipheion uniflorum* Raf. ハナニラ 無 普 野化 芸帰

現業舎周辺に数10株 1980年代は増加したが最近減少傾向

*Lilium auratum* Lindl. ヤマユリ 6291 普

各植物園に数10株生存 減少傾向

*Liriope minor* (Maxim.) Makino ヒメヤブラン 未確

武蔵野植物園や芝地に1980年代まで生存 その後未確認

*Liriope muscari* (Decne) Bailey ヤブラン 6311 普

明るい園路沿いに普通 やや増加傾向

*Ophiopogon jaburan* (Kunth) Lodd. ノシラン 6319 希

1980年代に発見された その後増加し明るい林内各地に数10株はあると考えられる

*Ophiopogon japonicus* (L.f.) Ker-Gawl. ジャノヒゲ 6289 普

林縁に普通

*Ophiopogon ohwii* Okuyama ナガバジャノヒゲ 6290 普

林内に普通

*Ophiopogon planiscapus* Nakai オオバジャノヒゲ 6294 希

ひょうたん池水源に少数 南飛地に数100株 他では見られない 絶滅危惧

*Paris tetrphylla* A.Gray ツクバネソウ 未確 栽

1982年委託業者から購入 その後消滅

*Paris verticillata* M.v.Bieb. クルマバツクバネソウ 未確 栽

1982年委託業者から購入 その後消滅

*Polygonatum falcatum* A.Gray ナルコユリ 6325 希

明るい林縁に希に見られる 減少傾向 絶滅危惧

*Polygonatum lasianthum* Maxim. ミヤマナルコユリ 6320 希

1965年のリストにはなく植栽品の可能性もある 林縁に少数 減少傾向 絶滅危惧

*Polygonatum odoratum* (Mill.) Druce var. *pluriflorum* (Miq.) Ohwi アマドコロ 希 栽

野生品は1980年代に消滅 八王子産の株が路傍植物園に数株のみ 数年開花を見ない 減少傾向

*Reineckea carnea* (Andr.) Kunth キチジョウソウ 6312 普

園路や林縁に普通 最近急激に増加

*Rohdea japonica* (Thunb.) Roth オモト 6288 希 野化

園内に実生が希に見られる 路傍植物園には開花个体がある

*Scilla scilloides* (Lindl.) Druce ツルボ 6292 普

草地・武蔵野植物園に数100株

*Smilacina hondoensis* Ohwi ヤマトユキザサ 未確 栽

1982年委託業者から購入 その後消滅

*Smilacina japonica* A.Gray ユキザサ 未確 栽

1982年委託業者から購入 その後消滅

*Smilax china* L. サルトリイバラ 6313 普

明るい林内に普通 開花个体は各植物園のみ

*Smilax nipponica* Miq. タチシオデ 未確

1974年以後確認されない

*Smilax riparia* A.DC. var. *ussuriensis* (Regel) Hara et T.Koyama シオデ 6310 希  
林縁に少数 開花個体は各植物園のみ

*Tricyrtis affinis* Makino ヤマジノホトトギス 6326 希 栽  
関東産と思われる植栽品をガラス室内に育苗中 路傍植物園に植栽

*Tricyrtis hirta* (Thunb.) Hook. ホトトギス 6316 普  
武蔵野・路傍植物園に100株程度 他所では見られなくなった

*Tricyrtis macropoda* Miq. ヤマホトトギス 6324 希 栽  
1960年代の植栽品が路傍植物園に10数株生存

*Trillium smallii* Maxim. エンレイソウ 未確 栽  
1982年委託業者から購入 その後消滅

*Trillium tschonoskii* Maxim. ミヤマエンレイソウ 未確 栽  
1982年委託業者から購入 その後消滅

*Tulipa edulis* (Miq.) Baker アマナ 無 普 野化  
野生品は1965年以後未確認 植栽品が水生・武蔵野植物園に数100株程度

*Tulipa latifolia* (Makino) Makino ヒロハアマナ 未登 希 栽  
1954-1958年の産地不明の植栽品が武蔵野植物園に数株生存 V U

*Veratrum maackii* Regel var. *reymondianum* (Loes. f.) Hara シュロソウ 未確 栽  
1954-1958年の植栽品が武蔵野植物園に1992年までは数10株生存し開花個体もわずかに見られたが1990年代に消滅

### 316 Amaryllidaceae バックブ科

*Croomia heterosepala* (Baker) Okuyama ナベワリ 6307 希 栽  
1965年頃の表富士2合目産の株を武蔵野植物園に植栽 1992年開花3株を確認したが1995年以後は開花個体は未確認

### 320 Amaryllidaceae ヒガンバナ科

*Lycoris radiata* (L'Herit.) Herb. ヒガンバナ 6340 普 野化 芸婦  
各植物園に数100株生存 中央湿地下流のオニグルミ林下に大群落があったが1980年代に消滅

*Lycoris sanguinea* Maxim. キツネノカミソリ 6341 普  
1965年当時は林下に希であったがその後各植物園に数100株生存

*Lycoris squamigera* Maxim. ナツズイセン 無 希 野化 芸婦  
1954-1958年の植栽品がガラス室脇に2株生存

*Narcissus tazetta* L. var. *chinensis* Roemer スイセン 無 希 野化  
1954年の記録は植栽品で消滅 その後野生化品がひょうたん池脇と現業舎周辺に数株 減少傾向

### 324 Dioscoreaceae ヤマノイモ科

*Dioscorea japonica* Thunb. ヤマノイモ 6332 普

明るい林縁に多数 減少傾向

*Dioscorea nipponica* Makino ウチワドコロ 未確

1974年以後未確認 明治神宮に多産する

*Dioscorea quinqueloba* Thunb. カエデドコロ 未確

1965年以後未確認

*Dioscorea septemloba* Thunb. キクバドコロ 未確

1965年以後未確認

*Dioscorea tokoro* Makino オニドコロ 6333 普

明るい林縁にごく普通

### 326 Iridaceae アヤメ科

*Belamcanda chinensis* (L.) DC. ヒオウギ 未確

1954年には栽培品として記録されたが1965年には確認されなくなった

*Iris ensata* Thunb. var. *spontanea* (Makino) Nakai ノハナショウブ 6338 普 栽

1954-1958年・1982年・1999年の植栽品が水生植物園に数10株生存

*Iris japonica* Thunb. シャガ 6339 普 野化 芸婦

野生化品が路傍植物園に数100株生存

*Iris laevigata* Fisch. カキツバタ 6337 普 野化

1980年代後半にイモリの池に逸出品と思われる株が開花 その後水生植物園に移植 現在数10株生存 VU

*Iris pseudacorus* L. キショウブ 6336 普 野化 芸婦

1970年代に中央湿地で開花株を発見 その後陽湿地で増加

*Iris sanguinea* Hornem. アヤメ 無 希 栽

1954年記録の個体は1965年以後未確認 1954-1958年に植栽された株が武蔵野・水生植物園に数10株生存

*Musa basjoo* Makino バショウ 未確 栽

1954年には栽培品として記録されたが1965年には確認されなくなった

*Sisyrinchium atlanticum* Bicknell ニワゼキショウ 6335 普 新婦

草地に普通

*Sisyrinchium graminoides* Bicknell アイイロニワゼキショウ 6334 普 新婦

1980年代は管理棟・水生植物園に多かったが 減少傾向

*Tritonia × crocosmaeflora* N. E. Br. ヒメヒオウギズイセン 未確 逸 芸婦

1990年代教研跡地に1株生育したが 今回は未確認

### 331 Juncaceae イグサ科

*Juncus alatus* Franch. et Savat. ハナビゼキショウ 未確

1980年代に確認されなくなった

*Juncus effusus* L. var. *decipiens* Buchen. イ 6308 希

水生植物園に数10株 減少傾向 絶滅危惧

*Juncus leschenaultii* Gay コウガイゼキショウ 未登 希

1980年代より減少傾向 水生植物園に数100株 絶滅危惧

*Juncus monticola* Steud. コモチゼキショウ 未確

1980年代に確認されなくなった

*Juncus papillosus* Franch. et Savat. アオコウガイゼキショウ 未確

1965年当時は湿地に普通だったが1980年代に確認されなくなった

*Juncus setchuensis* Buchen. var. *effusoides* Buchen. ホソイ 未確

1980年代に確認されなくなった

*Juncus tenuis* Willd. クサイ 6309 普 新帰

1960年代は希だったが現在は水生植物園に普通

*Luzula capitata* Miquel スズメノヤリ 未確

1980年代に武蔵野植物園に希に生存 1990年代以後には未確認

### 334 Commelinaceae ツユクサ科

*Commelina communis* L. ツユクサ 6305 不

明るい林縁や管理棟周辺に普通

*Commelina communis* L. f. *albiflora* Makino シロバナツユクサ 未確

1965年以後未確認

*Murdannia keisak* (Hassk.) Hand.-Mazz. イボクサ 未確

水生植物園に1980年代まで数10株程度あったが以後未確認

*Pollia japonica* Thunb. ヤブミョウガ 6304 普

1965年当時は希だったが現在は林縁に普通 増加傾向

*Tradescantia fluminensis* Vell. ノハカタカラクサ 6303 普 芸帰

1990年代後半に管理棟付近に初めて出現 現在30m<sup>2</sup>程度に増加

### 342 Gramineae イネ科

*Agropyron ciliare* Franch. var. *pilosum* Honda タチカモジ 未確

1965年以後未確認

*Agropyron racemiferum* (Steud.) Koidz. アオカモジグサ 未確

1980年代に少数見られたが1990年代以後未確認

*Agropyron tsukushiense* (Honda) Ohwi var. *transiens* (Hack.) Ohwi カモジグサ 6242  
希

管理棟・教研跡地に数10株程度 急激に減少 自然教育園外周でも減少傾向 絶滅危惧

*Agrostis alba* L. コヌカグサ 未確 新帰

1980年代後半以後は未確認 園外でも減少

*Agrostis clavata* Trin. ヤマヌカボ 未確

1980年代後半以後は未確認

- Agrostis clavata* Trin. ssp. *matsumurae* (Hack.) Tateoka ヌカボ 6245 希  
管理棟周辺に数10株程度 急激に減少 絶滅危惧
- Alopecurus aequalis* Sobol. スズメノテッポウ 未確  
1993年頃管理棟前庭で一度確認したが園内では1965年以後未確認
- Andropogon brevifolius* Sw. ウシクサ 未確  
1965年以後未確認
- Anthoxanthum odoratum* L. ハルガヤ 未確 新帰  
1970年代に旧管理棟付近に数10株あったがその後未確認
- Arthraxon hispidus* (Thunb.) Makino コブナグサ 6257 普  
水生植物園を中心に群落を作る
- Arundinella hirta* (Thunb.) C.Tanaka トダシバ 6256 普  
水生植物園を中心に数100株 減少傾向
- Arundinella hirta* (Thunb.) C. Tanaka f. *hirta* ケトダシバ 未確  
1965年以後未確認
- Avena fatua* L. カラスムギ 未確 新帰  
1980年代は旧管理棟跡地や教研跡地に出現したが その後未確認
- Beckmannia syzigachne* (Steud.) Fernald ミノゴメ (カズノコグサ) 未確  
1965年以後未確認
- Brachypodium sylvaticum* (Huds.) P.Beauv. ヤマカモジグサ 未確  
1974年頃武蔵野植物園付近で見たがその後未確認
- Briza maxima* L. コバンソウ 未確 新帰  
1965年以後未確認
- Bromus catharticus* Vahl イヌムギ 未確 新帰  
1990年代には管理棟周辺や教研跡地に多産することもあったが今回は未確認
- Bromus japonicus* Thunb. ex Murr. スズメノチャヒキ 未確 新帰  
1974年頃管理棟周辺に希に見られたが1980年代以後は未確認
- Bromus pauciflorus* (Thunb.) Hack. キツネガヤ 6225 普  
林縁に続く半陰の草地に見られる 1980年代は希であったが最近増加傾向
- Calamagrostis arundinacea* (L.) Roth var. *brachytricha* (Steud.) Hack. ノガリヤス  
6255 普  
武蔵野植物園に数100株 減少傾向
- Coix lacryma-jobi* L. ジュズダマ 6273 希 野化 芸帰  
管理棟周辺や教研跡地に見られる 増加傾向
- Cymbopogon tortilis* (Presl) A.Camus var. *goeringii* (Steud.) Hand.-Mazz. オガルカヤ  
未確  
野生品は1974年以後未確認 1970年代に多摩産の株を植栽したがその後消滅
- Dactylis glomerata* L. カモガヤ 未確 新帰  
1980年代までは管理棟周辺に少数見られたがその後未確認

*Diarrhena japonica* Franch. et Savat. タツノヒゲ 未確 栽

1980年代日光産の株を植栽したがその後消滅

*Digitaria adscendens* (H.B.K.) Henry var. *fimbriata* (Link) Henr. クシゲメヒシバ 未登  
希

メヒシバに混ざって生育1990年代以後は減少傾向

*Digitaria ciliaris* (Retz.) Koel. メヒシバ 6250 普

管理棟周辺やガラス室付近に多い

*Digitaria radicata* (Presl) Miq. コメヒシバ 6254 普

管理棟周辺や正門付近に数100株程度

*Digitaria violascens* Link アキメヒシバ 6221 希

管理棟周辺に数株 園外には小群落もある 絶滅危惧

*Eccoilopus cotulifer* (Thunb.) A.Camus アブラススキ 6253 普

管理棟跡地や武蔵野植物園に数100株程度

*Echinochloa crus-galli* (L.) Beauv. イヌビエ 未確

次種ヒメイヌビエに和名変更

*Echinochloa crus-galli* (L.) Beauv. var. *praticola* Ohwi ヒメイヌビエ 6259 普

湿地沿いの道ばたに見られる 減少傾向

*Echinochloa crus-galli* (L.) Beauv. var. *caudata* Kitag. ケイヌビエ 未確

このタイプは1970年代は湿地で前者に混じり希に見られたがその後未確認

*Eleusine indica* (L.) Gaertn. オヒシバ 6249 普

管理棟周辺に普通

*Eragrostis cilianensis* (All.) F.T.Hubb. スズメガヤ 未確

1980年代以後は未確認

*Eragrostis ferruginea* (Thunb.) Beauv. カゼクサ 6252 普

水生植物園を中心に数100株 減少傾向

*Eragrostis multicaulis* Steud. ニワホコリ 未登 希

管理棟周辺に少数見られる 減少傾向 絶滅危惧

*Eragrostis multispicula* Kitagawa オオニワホコリ 未確

1965年以後未確認

*Eriochloa villosa* (Thunb.) Kunth ナルコビエ 未確

1974年以後は未確認

*Festuca arundinacea* Schreb. オニウシノケグサ 未確 新帰

1990年代には管理棟周辺に見られた 以後は未確認

*Festuca elatior* L. ヒロハウシノケグサ 未確 新帰

1965年以後未確認

*Festuca parvigluma* Steud. トボシガラ 6243 普

草地に見られる 減少傾向

*Glyceria ischyronoura* Steud. ドジョウツナギ 未登 希



1980年代後半から1990年代は未確認だったが今回サンショウウオ沢合流部付近（メッシュ SN50WE26）に数株生存を確認 絶滅危惧

*Hemarthria sibirica* (Gandog.) Ohwi ウシノシッペイ 未確

1980年代に中央湿地に少数見られたが以後未確認

*Hierochloa bungeana* Trin. コウボウ 未確

1974年以後未確認

*Hordeum vulgare* L. オオムギ 未確 栽

1954年の記録は栽培品

*Imperata cylindrica* (L.) Beauv. var. *koenigii* (Retz.) Durand et Sching チガヤ 無 希

水生植物園に数株生存 絶滅危惧

*Isachne globosa* (Thunb.) O.Kuntze チゴザサ 6226 普

水生植物園に数100株 中央湿地では見られなくなる 減少傾向

*Leersia oryzoides* (L.) Sw. エゾノサヤヌカグサ 未確

1965年以後未確認

*Leersia sayanuka* Ohwi サヤヌカグサ 6282 普

1970年代は中央湿地に極めて普通だったが現在は陽湿地に少数 減少傾向

*Lolium multiflorum* Lamarck ネズミムギ 未確 新帰

1980年代は管理棟周辺に見られたが1990年代以後未確認 園外でも見られなくなった

*Lophochloa cristata* (L.) Hyl. ミノボロ 未確

1965年以後未確認

*Microstegium japonicum* (Miq.) Koidz. ササガヤ 6223 普

陽地に普通

*Microstegium vimineum* (Trin.) A.Camus ヒメアシボソ 6235 希

アシボソからヒメアシボソに変更 中央湿地にごく普通だったが現在は少数 減少傾向 絶滅危惧

*Microstegium vimineum* (Trin.) A.Camus var. *polystachyum* (Franch. et Savat.) T.Koyama

アシボソ 6251 希

無芒個体のみなので前種ヒメアシボソと同定

*Miscanthus sacchariflorus* (Maxim.) Benth. オギ 6220 普

水生植物園に小群落あり 管理棟周辺にも1990年代に野生化品が群落を作る

*Miscanthus sinensis* Anderss. ススキ 6258 普

旧管理棟中心に群落を作る 減少傾向

*Muhlenbergia japonica* Steud. ネズミガヤ 未確

1980年代までは武蔵野植物園で確認されたが1990年代以後未確認

*Muhlenbergia ramosa* (Hack.) Makino キダチノネズミガヤ 未確

1965年以後未確認

*Oplismenus undulatifolius* (Ard.) Roemer et Schult. ケチヂミザサ 6236 普

半陰の林縁に普通

*Oplismenus undulatifolius* (Ard.) Roemer et Schult. var. *japonicus* (Steud.) Koidz.

チヂミザサ 未確

和名を前種ケチヂミザサに変更

*Oplismenus undulatifolius* (Ard.) Roem. et Schult. var. *japonicus* Koidz. コチヂミザサ  
未確 今回は前種に含める

1970年代にはわずかに見られたがその後未確認

*Panicum bisulcatum* Thunb. ヌカキビ 6241 希

武蔵野植物園周辺や教研跡地に数10株生存 減少傾向

*Panicum dichotomiflorum* Michx. オオクサキビ 未確 新帰

1965年以後未確認

*Paspalum dilatatum* Poir. シマスズメノヒエ 未確 新帰

1980年代から出現し1990年代は多かったが今回は未確認 園外ではまだ見られる

*Paspalum thunbergii* Kunth. スズメノヒエ 6224 普

水生植物園周辺に数100株程度生存 他の湿地では見られなくなった 減少傾向

*Pennisetum alopecuroides* (L.) Spreng. f. *purpurascens* (Thunb.) Ohwi チカラシバ  
6240 普

陽地に普通 減少傾向

*Phalaris arundinacea* L. クサヨシ 6246 普

サンショウウオ沢など半陰の湿地に多い

*Phalaris canariensis* L. カナリークサヨシ 未確 逸 芸帰

1980年代に旧管理棟跡地に数年繁殖

*Phleum pratense* L. オオアワガエリ 未確 新帰

1965年以後未確認

*Phragmites australis* (Cav.) Trin. et Steud. ヨシ 6239 普

湿地に群落を作る 湿地の乾燥化と被陰により減少傾向

*Phyllostachys bambusoides* Sieb. et Zucc. マダケ 未確 逸 芸帰

1965年以後未確認

*Phyllostachys pubescens* Mazel ex Houz.de Leh. モウソウチク 無 未確 逸 芸帰

亜東協会の植栽品が1990年代に一時越境したが園内では1965年以後未確認

*Pleioblastus chino* (Franch. et Savat.) Makino アズマネザサ 6227 6231 普

1960年代は林床の30%近くを優占していたが、1990年代後半より開花枯死が目立ち現在  
1%未満に減少

*Pleioblastus simonii* (Carr.) Nakai メダケ 6248 普

シイ並木鬼門付近に群落を作る 最近枯死が目立つ 絶滅危惧

*Poa acroleuca* Steud. ミゾイチゴツナギ 6233 普

管理棟周辺・明るい園路に多い

*Poa acroleuca* Steud. var. *submoniliformis* Makino タマミゾイチゴツナギ 6229 希

前種と同じ環境にあるが少ない

*Poa annua* L. スズメノカタビラ 6234 普

管理棟周辺の日陰に普通

*Poa nipponica* Koidz. オオイチゴツナギ 6244 希

サンショウウオ沢中流の湿地に数10株 他所では見られない 絶滅危惧

*Poa pratensis* L. ナガハグサ 無 普 新帰

管理棟周辺に数100株 減少傾向

*Poa* sp. イチゴツナギ sp 6232 希

*Poa sphondylodes* Trin. イチゴツナギ 未確

1980年代以後は未確認

*Poa trivialis* L. オオスズメノカタビラ 未確 新帰

1965年以後未確認 園外では街路樹の植升などに希に見られる

*Polypogon fugax* Steud. ヒエガエリ 未確

1965年以後未確認

*Pseudosasa japonica* (Sieb. et Zucc.) Makino ヤダケ 未確 逸 芸帰

北門付近に人家から逸出品が見られたが1980年代以後は未確認

*Sacciolepis indica* (L.) Chase ハイヌメリ 未確

1980年代以後は未確認

*Sasa kurilensis* (Rupr.) Makino et Shibata チシマザサ 6247 普 逸

1960年代に福島県より実生を仮植地に移植 その後1990年代に増殖し現在100稈以上ある

*Sasa nipponica* (Makino) Makino et Shibata ミヤコザサ 未確 栽

1960年代の植栽品が仮植地に数100稈あったが1990年代に消滅

*Sasa veitchii* (Carr.) Rehder クマザサ 6228 6238 普 逸 芸帰

1974年頃は林縁・明るい林下に全面積の10%以上を占める大群落があったがその後1980年代から林下の個体が枯れ始め現在では1%に満たなくなった

*Semiarundinaria fastuosa* (Mitford) Makino ナリヒラダケ 未確 逸 芸帰

1970年以後未確認

*Setaria chondrachne* (Steud.) Honda イヌアワ 未確

1970年代に開墾した草地に希に見られたが1980年代以後は未確認

*Setaria faberi* Herrm. アキノエノコログサ 未登 希

管理棟周辺の肥沃な土壤に少数 減少傾向

*Setaria pallide-fusca* (Schumach.) Stapf et C.E.Hubb. コツブキンエノコロ 未確 新帰

1970年以後未確認

*Setaria pumilla* (Poir.) Schult. キンエノコロ 未確

1970年代に管理棟周辺に希に見られたが以後未確認 園外にも見られなくなった

*Setaria viridis* (L.) Beauv. エノコログサ 6237 普

管理棟周辺や陽地に普通

*Setaria × pycnocomma* (Steud.) Henr. ex Nakai オオエノコロ 未確 新帰

1965年以後未確認

*Shibataea kumasasa* (Zollinger) Nakai オカメザサ 未確 野化 芸帰

- 1980年代にシイ並木で小群落を確認したがその後未確認  
*Spodiopogon sibiricus* Trin. オオアブラススキ 未確  
1974年代以後未確認
- Sporobolus fertilis* (Steud.) W.Clayton ネズミノオ 6222 希  
水鳥の沼周辺の陽地に数10株程度生存 絶滅危惧
- Sporobolus japonicus* (Steud.) Maxim. ヒゲシバ 未確  
1954年には芝地に群生していたという 1965年以後未確認
- Themeda triandra* Forsk. var. *japonica* (Willd.) Makino メガルカヤ 未確  
1980年代までは武蔵野植物園だけで見られたが 1990年代以後は未確認
- Trisetum bifidum* (Thunb.) Ohwi カニツリグサ 6230 普  
草地に多い やや増加傾向
- Triticum aestivum* L. コムギ 未確 栽  
1954年の記録は栽培品
- Zea mays* L. トウモロコシ 未確 栽  
1954年の記録は栽培品
- Zizania latifolia* Turcz. マコモ 6219 普  
1974年頃は数株だったが現在水生植物園に数100株程度生存 増加傾向
- Zoysia japonica* Steud. シバ 無 普  
管理棟の道路脇・ガラス室前・水生植物園に小群落 減少傾向
- Zoysia tenuifolia* Willd. コウライシバ 未確 逸  
1980年代に管理棟周辺にあったが1990年代以後未確認

### 343 Palmae ヤシ科

- Trachycarpus fortunei* (Hook.) H.Wendl. シュロ 6298 普 野化 芸婦  
1954年の記録は栽培品で3個体であったが1960年代より実生が急激に増殖し現在幹立ち個体が850個体 開花個体も1割近くある カラスによる生長点食害や常緑樹林化により増加傾向は鈍化する
- Trachycarpus wagnerianus* Becc. トウジュロ 6661 普 野化 芸婦  
1954年の記録は栽培品で1個体であったが現在4個体 実生は多いが被陰に弱く幹立ち個体までは成長できない

### 345 Araceae サトイモ科

- Acorus calamus* L. ショウブ 無 普 野化  
1954-1958年に入った野生化品と考えられる。水生植物園に100株程度 減少傾向
- Acorus gramineus* Soland. セキショウ 6301 普 野化  
1954-1958年の栽培品が増殖 水生植物園周辺に数100株
- Arisaema ringens* (Thunb.) Schott ムサシアブミ 6300 希 栽  
1960年代の植栽品 ガラス室周辺や路傍植物園に10株程度 増加傾向

*Arisaema thunbergii* Blume ssp. *urashima* Hara ウラシマソウ 6200 普

各植物園や明るい林縁に見られる 減少傾向

*Arisaema undulatifolium* Nakai var. *limbatum* (Nakai et F.Maek.) Ohashi et J. Murata

ミミガタテンナンショウ 未確 栽

1954-1958年の植栽品 1980年代まで武蔵野植物園に見られたがカラスの食害により消滅

*Colocasia esculenta* Schott サトイモ 未確 栽

1954年の記録は栽培品

*Pinellia ternata* (Thunb.) Breitenb. カラスビシャク 未確

武蔵野植物園その他で1980年代までは多かったが 今回は未確認 減少傾向 周辺の街路の植え込みにはまだ見られる

*Symplocarpus nipponicus* Makino ヒメザゼンソウ 未確 栽

1982年委託業者から購入 その後消滅

#### 346 Lemnaceae ウキクサ科

*Spirodela polyrhiza* (L.) Schleid. ウキクサ 6306 普

1970年代に武蔵野植物園やガラス室脇水槽に見られるようになった

#### 348 Sparganiaceae ミクリ科

*Sparganium fallax* Graebn. ヤマトミクリ 未確

1965年以後未確認 2001年に水元公園より現地の川にあった株を数株移入ガラス室で育苗 VU

#### 349 Typhaceae ガマ科

*Typha angustifolia* L. ヒメガマ 6217 普

1980年代に確認されその後増殖 水生植物園に数100株

*Typha latifolia* L. ガマ 未確

1980年代までは水生植物園に大群落が見られたが 池の泥上げなどで消滅 2001年に委託業者から数株購入植栽

*Typha orientalis* Presl. コガマ 未確

1965年に希に見られたが1970年代から見られなくなった 1999年野生化品を確認以後未確認

#### 350 Cyperaceae カヤツリグサ科

*Carex aphanolepis* Franch. et Savat. エナシヒゴクサ 6302 普

管理棟周辺や明るい草地に多い 減少傾向

*Carex breviculmis* R.Br. アオスゲ 6266 普

管理棟周辺や明るい草地に多い 減少傾向

*Carex conica* Boott ヒメカンスゲ 6268 普

- 武蔵野植物園周辺に数100株 増加傾向  
*Carex dickinsii* Franch. et Savat. オニスゲ 6278 普  
水生植物園に10数株 やや増加傾向
- Carex dispalata* Boott カサスゲ 6264 普 野化  
1954-1958年の植栽品 水生植物園などに増殖し大群落を作る
- Carex doniana* Spreng. シラスゲ 未登 希  
事務所跡地周辺に数株生存 絶滅危惧
- Carex duvaliana* Franch. et Savat. ケスゲ 6267 希  
武蔵野植物園に数株生存 1980年代は数100株はあった 減少傾向 絶滅危惧
- Carex gibba* Wahlenb. マスクサ 無 希  
管理棟周辺見られる 減少傾向
- Carex incisa* Boott カワラスゲ 未確  
1974年頃イモリの池周辺の路傍に見られたが以後未確認
- Carex ischnostachya* Steud. ジュズスゲ 6262 希  
1965年以後未確認であったが、今回事務所跡地とイモリの池周辺に数株確認 やや増加?
- Carex japonica* Thunb. ヒゴクサ 6281 希  
管理棟周辺や明るい草地にある エナシヒゴクサより少ない 減少傾向
- Carex lanceolata* Boott ヒカゲスゲ 未確  
1970年代には武蔵野植物園やマツ林下に希に見られたがその後1980年代には見られなくなった
- Carex lenta* D.Don ナキリスゲ 6272 普  
明るい林縁に普通 増加傾向
- Carex maximowiczii* Miq. ゴウソ 6277 希  
水生植物園に100株程度生存 減少傾向 絶滅危惧
- Carex morrowii* Boott カンスゲ 未確  
1970年代に茨城県産の個体を植栽したがその後消失
- Carex multifolia* Ohwi ミヤマカンスゲ 6270 普 逸  
1954-1958年の植栽品が武蔵野植物園と現業舎付近に数株ある 増加傾向
- Carex nervata* Franch. et Savat. シバスゲ 未確  
1974年頃旧管理棟付近に数10株あったがその後未確認
- Carex neurocarpa* Maxim. ミコンガヤ 未確  
1965年以後未確認
- Carex parciflora* Boott var. *macroglossa* (Franch. et Savat.) T.Koyama コジュズスゲ  
6263 希  
イモリの池周辺の湿地に少数 1980年代は水生植物園など湿地に多数あった 減少傾向 絶滅危惧
- Carex puberula* Boott イトアオスゲ 6379 希  
以前はアオスゲに含めたが今回区別した 武蔵野植物園周辺に少数 雌小穂がまばらで 雄小穂は線形

- Carex rochebrunii* Franch. et Savat. ヤブスゲ 6261 普  
管理棟周辺・武蔵野植物園に各数100株見られる 減少傾向
- Carex siderosticta* Hance タガネソウ 6276 希 栽  
1954年の記録の個体は1965年以後未確認 武蔵野植物園に1954-1958年の植栽品が数株見られる 絶滅危惧
- Carex thunbergii* Steud. アゼスゲ 6280 希  
水生植物園・サンショウウオ沢合流部周辺に数100株生存
- Carex transversa* Boott ヤワラスゲ 6330 希  
イモリの池・水生植物園周辺の路傍に数10株はみられる 減少傾向 絶滅危惧
- Cyperus amuricus* Maxim. チャガヤツリ 未確  
1974年以後未確認
- Cyperus brevifolius* (Rottb.) Hassk. var. *leiolepis* (Franch. et Savat.) T.Koyama  
ヒメクグ 6396 希 旧帰  
水生植物園のみに数10株 減少傾向 絶滅危惧
- Cyperus compressus* L. クグガヤツリ 未確  
1974年以後未確認
- Cyperus difformis* L. タマガヤツリ 未確  
1974年以後未確認
- Cyperus globosus* All. アゼガヤツリ 6786 希  
水生植物園に数10株生存 減少傾向 絶滅危惧
- Cyperus haspan* L. コアゼガヤツリ 6275 希  
水生植物園に数10株生存 減少傾向 絶滅危惧
- Cyperus iria* L. コゴメガヤツリ 6287 希  
水生植物園に数100株 減少傾向
- Cyperus microiria* Steud. カヤツリグサ 未確 旧帰  
1970年代は極めて普通であったが裸地の減少で希になる 管理棟周辺で例年数株 今回は未確認 絶滅危惧
- Cyperus nipponicus* Franch. et Savat. アオガヤツリ 未確  
1974年以後未確認
- Cyperus orthostachyus* Franch. et Savat. ウシクグ 未確  
1980年に水生植物園で確認以後見られない
- Cyperus polystachyos* Rottb. イガガヤツリ 未確  
1974年以後未確認
- Cyperus rotundus* L. ハマスゲ 未確  
1980年代-1990年代には管理棟周辺に数100株見られたが今回は未確認 減少傾向
- Cyperus sanguinolentus* Vahl カワラスガナ 6271 希  
1980年に初めて記録され、水生植物園に数100株 減少傾向 絶滅危惧
- Cyperus serotinus* Rottb. ミズガヤツリ 未確

1974年以後未確認

*Eleocharis wichurae* Bocklr. シカクイ 未確

1974年以後未確認

*Fimbristylis autumnalis* (L.) Roem. et Schult. ヒメヒラテンツキ (ヒメテンツキ) 6459 希  
水生植物園のミツガシワ群落の周辺に数株 2000年に新産確認 その後未確認 絶滅危惧

*Fimbristylis miliacea* (L.) Vahl ヒデリコ 未確

1974年以後未確認

*Fimbristylis squarrosa* Vahl アゼテンツキ 未確

1974年以後未確認

*Scirpus juncooides* Roxb. ホタルイ 未確

1974年以後未確認

*Scirpus juncooides* Roxb. var. *ohwianus* T. Koyama イヌホタルイ 未確

1974年以後未確認

*Scirpus subquadrangulus* Makino オトコイ 未確

1965年以後未確認

*Scirpus tabernaemontani* Gmel. フトイ 6260 希 栽

1982年に委託業者から20株ほど購入 現在50株程度

*Scirpus triangulatus* Roxb. カンガレイ 未確 栽

1974年以後未確認 1982年に委託業者から20株ほど購入したがその後消滅

*Scirpus wichurae* Bocklr. アブラガヤ (アイバソウ, エゾアブラガヤ) 6269 6274 普  
水生植物園に数100株程度 やや増加傾向

*Scirpus yagara* Ohwi ウキヤガラ 6279 希

水生植物園に1990年代に初めて記録されその後増加傾向

352 Zingiberaceae ショウガ科

*Alpinia japonica* (Thunb.) Miq. ハナミョウガ 未登 希

1999年に野生化品が現業舎脇の仮植地に未開花株を初確認 伊豆産の個体を1965年に移植した記録があるが1974年には未確認

*Zingiber mioga* (Thunb.) Roscoe ミョウガ 6342 普 野化 芸帰

半陰の湿った林縁に普通 増加傾向

356 Orchidaceae ラン科

*Calanthe discolor* Lindl. エビネ 6327 希

各植物園やや明るいコナラ林・マツ林下に見られる 減少傾向 VU

*Calanthe reflexa* Maxim. ナツエビネ 未確 栽

1982年に委託業者から20株ほど購入したがその後消滅 VU

*Cephalanthera erecta* (Thunb.) Blume ギンラン 6328 希

武蔵野植物園周辺に希 年により数株見られる 絶滅危惧 VU



*Cephalanthera falcata* (Thunb.) Blume キンラン 6329 希

水生植物園に野生品が2株 高速道路際 (SN56, WE09) に1965年頃の南高尾産の移植株が数株見られる 1980年代までは他にも数カ所見られたがその後未確認 絶滅危惧 VU

*Cephalanthera longibracteata* Blume ササバギンラン 未確

武蔵野植物園に1980年代までは1株生存したがその後未確認 絶滅危惧

*Cremastra appendiculata* (D.Don) Makino サイハイラン 6695 希

武蔵野植物園・樹木園などに100株程度生存 減少傾向 絶滅危惧

*Cymbidium goeringii* (Reichb.fil.) Reichb.fil. シュンラン 無 希

1980年代にはマツ林下や土塁上に多数あったが最近では減少傾向 絶滅危惧

*Cymbidium nipponicum* (Franch. et Savat.) Makino マヤラン 6265 希

武蔵野植物園近くのコナラ林下に (SN43-44, WE11) 1979年に初めて記録される 数年後には50株程度の開花を見たが現在は数株程度に減少 1980年には実験畑付近 (NS40, WE27) にも数株見られた 絶滅危惧 EN

*Cymbidium nipponicum* (Franch. et Savat.) Makino f. *sagamiense* Sugimoto サガミラン 未登 普

武蔵野植物園東側のイヌシデ林に1993年数株発見され、1996年には1000株近い開花を記録したが、その後減少が続き現在は数10株の開花が見られる EN

*Cypripedium japonicum* Thunb. クマガイソウ 未確 栽

1954年の記録品は1965年以後未確認 1954-1958年頃の植栽品が武蔵野植物園にあったが1970年代に消滅 VU

*Gastrodia elata* Blume オニノヤガラ 未確

1980年代にシイ並木の枯れたコナラの根本に数株出たが以後未確認

*Habenaria radiata* (Thunb.) Spreng. サギソウ 未確 栽

1954-1970年代に水生植物園・武蔵野植物園に毎年植栽されていた 現在ガラス室に育苗のみ VU

*Platanthera minor* (Miq.) Reichb.fil. オオバノトンボソウ 未確

野生品は1965年以後は未確認 1982年に委託業者から購入 その後消滅

*Sarcophilus japonicus* (Reichb.fil.) Miq. カヤラン 未確

シイの大木などに見られたというが1965年以後は未確認

*Spiranthes sinensis* (Pers.) Ames var. *amoena* (M.-Bieberson) Hara ネジバナ 6331 希

管理棟周辺に多かったが減少傾向 水生植物園にも数株見られる

## 引用文献

- 萩原信介. 1983. 都市林におけるシュロとトウシュロの異常繁殖 V. 林床実生個体群の生長過程と死亡要因. 自然教育園報告, 14: 1-18.
- 萩原信介. 1995. ナツフジが自然教育園に生育. 自然教育園報告, 27: 25-29.
- 濱島賜三. 1927. 東京市内及び近郊校外教授地植物調. 265pp.
- 檜山庫三. 1947-1948. 目黒自然教育園の植物(一) - (八). 野草, 12-14:
- 檜山庫三. 1953. 日本植物雑記. 植物研究雑誌, 28: 29-31.
- 檜山庫三. 1953. 草に臥して. 野草, 19: 7.
- 檜山庫三. 1953. 武蔵野植物記. 192pp. 内田老鶴圃, 東京.
- 檜山庫三・福原義春. 1956. シロガネスミレ. 植物研究雑誌, 31: 255.
- 檜山庫三. 1965. 武蔵野の植物. 290pp. 井上書店. 東京.
- 本田正次. 1957. 植物文化財(旧白金御料地): 419-420.
- 本田正次・矢野佐・加藤僖重. 1980. 明治神宮境内総合調査報告書, 種子植物. 505pp. 明治神宮社務所.
- 環境庁編. 1987. 植物目録. 大蔵省印刷局.
- 環境庁編. 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物, 8植物I(維管束植物). (叻). 自然環境研究センター, 東京.
- 国立科学博物館附属自然教育園編. 1965. 自然教育園の植物. 44pp. 国立科学博物館附属自然教育園.
- 国立科学博物館附属自然教育園編. 1967. 教材園栽培植物目録. 自然教育園基礎資料.
- 国立科学博物館附属自然教育園編. 1981. 植物目録 生態系特別調査報告その2. 自然教育園報告, 12: 128-152.
- 国立科学博物館附属自然教育園編. 1984. 動植物目録. 118pp. 国立科学博物館附属自然教育園
- 近田文弘・秋山忍・門田裕一. 2000. 皇居吹上御苑の維管束植物. 国立科学博物館專報, 34: 7-43.
- 牧野富太郎. 1932. 東京白金の旧火薬庫製造所地内のトラノオスズカケとハマクサギ. 植物研究雑誌, 8: 95-98.
- 松本定. 2001. 自然教育園のシダ植物. 自然教育園報告, 33: 3-12.
- 文部省国立自然教育園. 1954. 国立自然教育園基礎資料第3号, 国立自然教育園植物目録第1集 蘚苔植物門, 羊歯植物門, 種子植物門.
- 山崎敬. 1953. トラノオスズカケ. 植物研究雑誌, 28: 319.
- 柳川定春・高橋秀男・大場達之. 1981. 神奈川県のマヤラン類. 神奈川自然誌資料, 2: 47-54.
- 矢野 亮・桑原香弥美. 2001. 自然教育園におけるアオキの最近20年間の変化. 自然教育園報告, 33: 81-92.
- 渡辺清彦. 1977. 植物分類学 280pp. 風間書房, 東京.
- Watanabe, T., Hagiwara, S., Narita, N. 1995. Decline of *Phellodendron amurense* in Tokyo : Associated *Cylindrocladium* spp. Plant Disease., 79: 1161-1164.
- 筆者不明. 1915. 東京市内植物学上の一景勝地. 東洋学芸雑誌, 32: 406.

### summary

This study deals with the spermatophyta flora of the garden of the Institute for NatureStudy, National Science Museum, Tokyo, Japan.

There is about 20ha of area of the garden, which located the center of Tokyo Metropolis, and which has been conserved as a national monument from 1949 because of keeping well-preserved vegetation. The forest is covered by *Castanopsis*, *Cornus*, *Quercus* and *Pinus*, and the circumference of the ponds are covered by swamp vegetation.

A floral survey was carried out from 1998 to 2001. Species number of Spermatophyta of this area consists of 632 species (native species of this garden 379spp., species of freeing into wilderness 64spp., the naturalized species from the foreign country 48spp., cultivated species 148spp.).

If it restricts to the native species, 528spp. in 1954, 468spp. in 1965, 459spp. in 1984 were found in each survey year. Judging from these data, it seems that present flora in the garden clearly shows decreasing tendency of floral diversity. It is obviously due to the results of the vegetational succession to two directions. The forest are on succession from deciduous secondary forest of *Cornus controversa*, *Quercus serrata*, *Idesia policalpa* and planted *Pinus thunbergii* forest, to potential natural forest of ever-green *Castanopsis cuspidata*, *Quercus acuta*, *Machirus thunbergii*, *Neolitsea sericea*, *Ilex integra*.. On another side, the vegetation of swamp are on dryness from grassland of hygrophyte to wood of *Salix eriocarpa* and *Juglans ailanthifolia*.

In the new record species in this garden, many species which grows originally wild in southern district more were seen, as follows, *Cymbidium nipponicum* f. *sagamiense*, *Alpinia japonica*, *Millettia japonica*, *Sarcandra glaber*, *Rhynchospermum verticillatum* ect.

It is thought that the decisive reason of these phenomena is based on the rapid rise of the winter temperature in recent years on the heating of Tokyo.